

Open-Base II 操作マニュアル

Ver. 6.1 2017/09/01
Ver. 7.1 2023/12/05

neo *GIS*

目次

1	はじめに	6
1-1	GIS 基本用語	6
1-2	図形と属性の関係	7
2	システムの機能一覧	8
3	ログイン画面	12
4	初期画面	13
5	GIS 基本機能	14
5-1	地図の拡大／縮小	14
5-2	地図の移動	15
5-3	地図の計測	16
6	図面切り替え	18
6-1	図面切り替え	18
6-2	2画面表示	19
6-3	写真図	19
6-4	背景地図（タイル画像）	20
6-5	背景レイヤ（WMS 画像）	22
7	地物の参照	23
7-1	吹き出し	24
7-2	単票	25
7-3	単票（複数から）	26
7-4	まとめて表示	27
7-5	添付ファイル参照	28
7-6	地物更新	29
7-7	地物登録	30
8	地物の検索	31
8-1	地物検索	31
8-2	住所検索	32
8-3	座標（緯度、経度）検索	33
9	地物の情報一覧	35
9-1	属性一覧	35
9-1-1	図面表示	35
9-1-2	属性表示	36
9-1-3	属性更新	36
9-1-4	リンク設定	36
9-1-5	リンク解除	37
9-1-6	図形入力	37
9-2	検索、表示	38
9-2-1	項目選択	38
9-2-2	並び替え	38
9-2-3	条件検索	39
9-2-4	コード変換	41
9-3	絞り込み（全文検索）	41
9-4	強調表示	42
9-5	選択表示	43
9-6	CSV 作成	44

1 0	地物の絞り込み.....	45
10-1	領域制限.....	46
10-2	図形選択制限.....	50
10-3	地図表示制限.....	52
1 1	印刷.....	53
11-1	ラスト印刷とSVG印刷.....	53
11-2	標準印刷.....	54
11-3	分割印刷.....	56
11-4	レイアウト印刷.....	58
11-4-1	印刷設定可能な情報.....	58
11-4-2	レイアウト可能な項目.....	58
1 2	凡例.....	62
1 3	レイヤON/OFF.....	63
1 4	レイヤグループ管理.....	64
14-1	操作メニュー説明.....	64
14-2	レイヤグループの追加.....	65
14-3	レイヤグループの削除.....	65
14-4	レイヤグループへのレイヤ登録.....	66
14-5	レイヤグループからのレイヤ削除.....	67
1 5	位置情報.....	68
1 6	データ切り出し.....	69
1 7	地物の登録.....	72
17-1	地物の登録、作図、図形編集の関係.....	72
17-2	ポリゴン登録.....	73
17-2-1	ポリゴン入力時の補助機能.....	75
17-2-2	ポリゴン入力後の補助機能.....	76
17-3	ポリゴン修正.....	79
17-4	ポリゴン削除.....	80
17-5	ライン登録.....	81
17-5-1	ライン入力時、入力後の補助機能.....	82
17-6	ライン修正.....	83
17-7	ライン削除.....	84
17-8	ポイント登録.....	85
17-8-1	ポイント入力時、入力後の補助機能.....	86
17-9	ポイント修正.....	87
17-10	ポイント削除.....	88
1 8	作図.....	89
18-1	作図機能.....	89
18-2	表示.....	90
18-3	入力.....	91
18-3-1	点入力.....	91
18-3-2	線入力.....	94
18-3-3	面入力.....	95
18-4	編集.....	97
18-4-1	点編集.....	97
18-4-2	線編集.....	98
18-4-3	面編集.....	99
18-4-4	添付画像.....	100

18-5	移動	101
18-5-1	点移動	101
18-5-2	線移動	102
18-5-3	面移動	103
18-6	レイヤ管理	104
18-7	ダウンロード	105
18-8	アップロード	106
19	図形編集	107
19-1	ポリゴン編集	108
19-2	ライン編集	115
19-3	ポイント編集	115
19-4	新規図形の入力	116
19-5	図形の移動	116
19-6	図形の回転	116
19-7	図形の拡大・縮小	117
19-8	図形の結合	117
19-9	図形の分割	118
19-10	図形の接触	120
19-11	共有点の移動	121
19-12	共有線分の修正	122
19-13	図形の削除	123
19-14	変更の取消	123
19-15	全変更の取消	123
19-16	変更内容の保存	123
20	登録図面	124
20-1	レイヤ設定	126
20-1-1	ポリゴン設定	127
20-1-2	ライン設定	129
20-1-3	シンボル設定	131
20-1-4	パターン/ライン/シンボル/カラー	133
20-2	図面登録 《ランク》	134
20-2-1	ランク設定	134
20-2-2	テンプレート作成	136
20-2-3	ランク表示と null、空白	137
20-2-4	複合ランク	138
20-3	属性表示	139
20-3-1	設定手順	139
20-3-2	オプション、その他	140
20-4	ラスター設定	142
20-5	属性制限設定	143
20-6	領域制限設定	145
20-7	印刷設定	148
20-8	索引図用登録	148
20-9	図面一覧の並び替え	149
21	ユーザ管理	150
22	画地計測	151
22-1	操作メニュー説明	151
22-2	分割線入力	156

22-3	筆入力.....	157
22-4	印刷	158
22-5	計測データ検索	160
2 3	名寄せ検索.....	162
2 4	グラフ表示.....	163
24-1	円グラフ	164
24-2	棒グラフ.....	166
24-3	積み上げ棒グラフ	168

1 はじめに

Open-BaseⅡの操作説明の前に、G I S (Geographic Information System : 地図情報システム) に関する用語、扱うデータの関係等の概要を説明します。

1-1 G I S基本用語

属性 : 通常のデータベースで扱う文字・数値情報を意味します。
図形データに対して「属性」と呼びます。

テーブル :

属性データの集合の呼び方。

- 例) 顧客テーブル (顧客マスタのテーブル)
- 目標物テーブル (目標物マスタのテーブル)
- 路線テーブル (路線マスタのテーブル)
- 駐車場テーブル (駐車場マスタのテーブル)

図形 : G I Sで扱う図形情報 (点、線、面) を属性データに対して「図形」と呼びます。
図形はそれぞれ以下の様に呼ばれます。

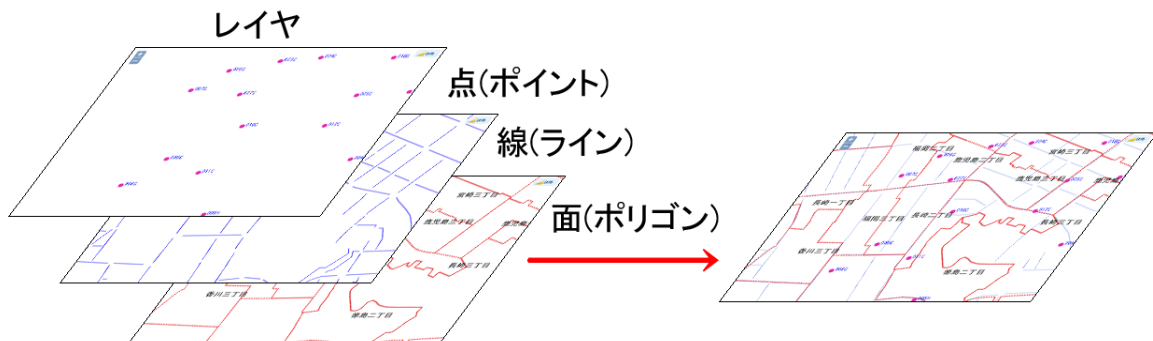
- 点 ポイント
- 線 ライン
- 面 ポリゴン

レイヤ : G I Sで扱う図形データの集合の呼び方。

- 例) 目標物レイヤ (目標物マスタのそれぞれの位置を表す点データ)
- 路線レイヤ (路線マスタのそれぞれの位置を表す線データ)
- 駐車場レイヤ (駐車場マスタのそれぞれの位置を表す面データ)

リンク : 属性と図形 (テーブルとレイヤ) が紐付けられていることを、リンクしていると言います。

- 例) 目標物テーブルと目標物レイヤはリンクしている。
- 路線テーブルと路線レイヤはリンクしている。
- 駐車場テーブルと駐車場レイヤはリンクしている。



地物 : G I Sで管理する対象です。通常は図形と属性を対で管理します。

- (例) 顧客 (顧客マスタと所在地ポイント)
- 筆 (課税マスタと筆ポリゴン)

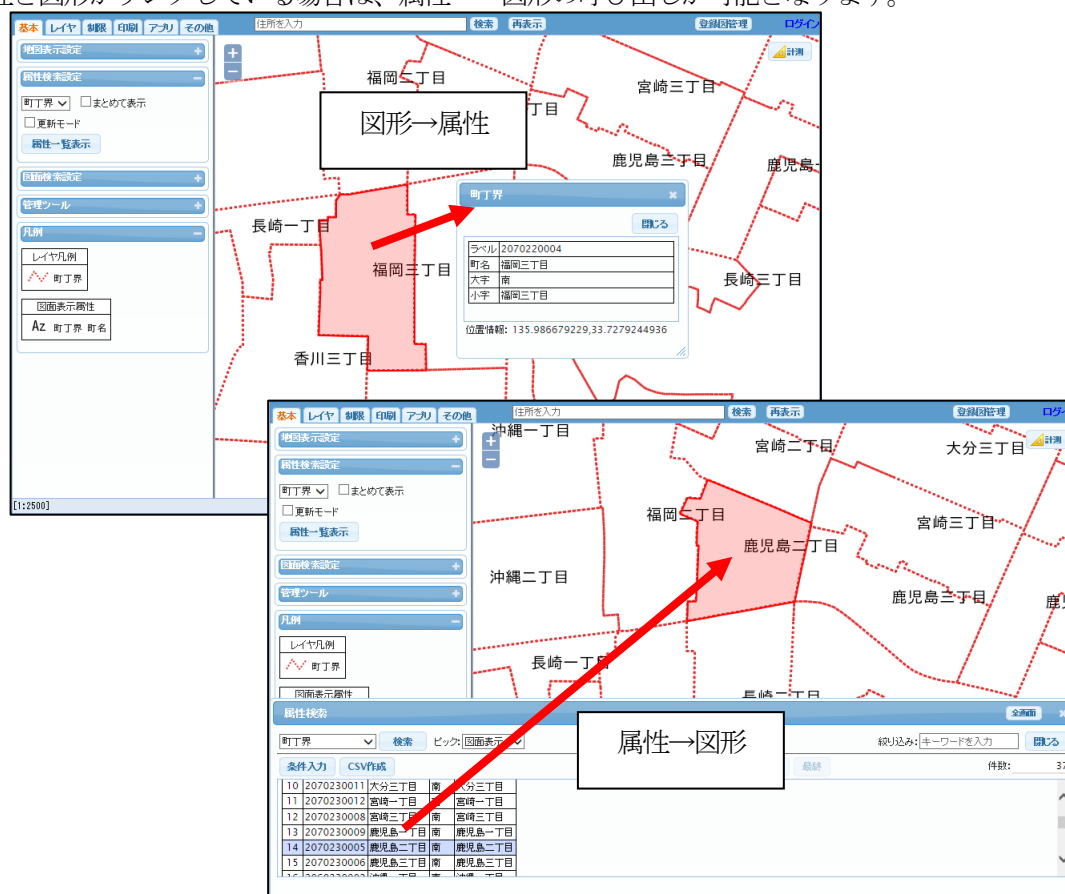
ピック：地物をマウスでクリックすることを、本マニュアルでは、「ピック」と呼びます。

リンク表示：

地物をその属性によって色分け表示したり、その属性によってシンボルを変えて表示することを、本マニュアルでは、リンク表示と呼びます。

1-2 図形と属性の関係

属性と図形がリンクしている場合は、属性 $\longleftrightarrow$ 図形の呼び出しが可能となります。



図形と属性とのリンクは1対1または1対nです。

図形と属性のリンクは必須ではありません。

背景レイヤ等、図形のみで属性とリンクしていないレイヤも存在します。

宛名マスタ等、属性のみで図形とリンクしていないテーブルも存在します。

G I Sは、リンクした図形と属性のデータベースを扱う情報処理システムとなります。

2 システムの機能一覧

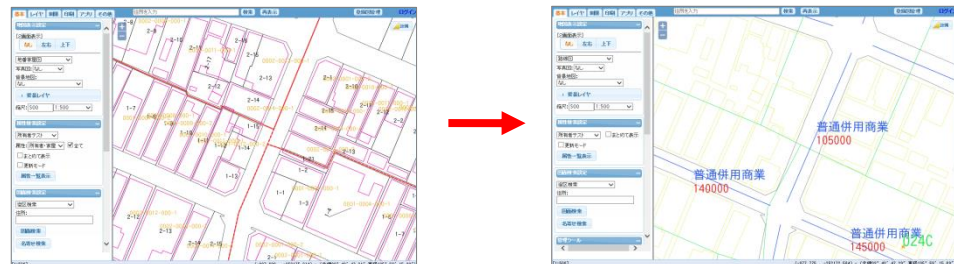
Open-Base IIは、大きく分けて以下の機能があります。

(注意) お客様のアプリケーション、環境によりすべての機能が実装されているわけではありません。

- ・GIS 基本機能 地図の拡大／縮小／移動を行ないます。
操作方法は 「5 GIS 基本機能」 を参照



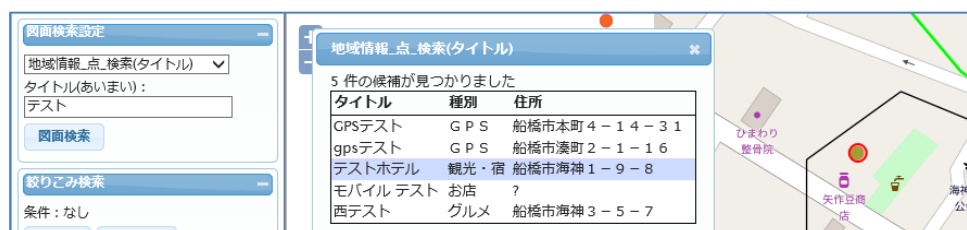
- ・図面切り替え 図面の切り替えを行ないます。
操作方法は 「6 図面切り替え」 を参照



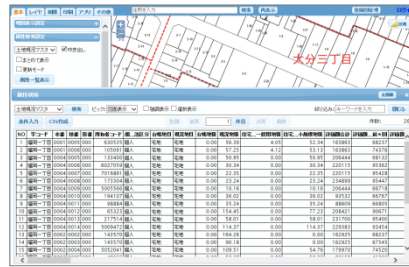
- ・地物の参照 地物の情報 (属性) 表示を行ないます。
操作方法は 「7 地物の参照」 を参照



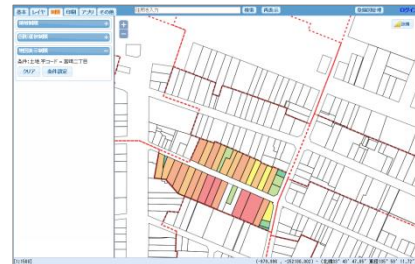
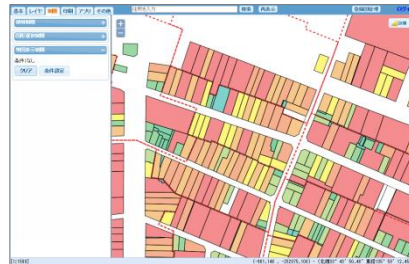
- ・地物の検索 住所検索、地物の所在地検索を行います。
操作方法は 「8 地物の検索」 を参照



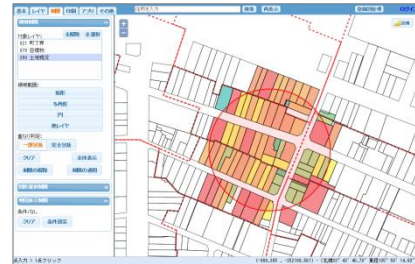
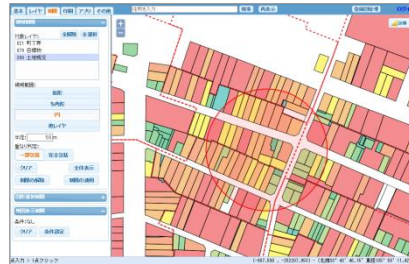
- ・地物の情報一覧 地物の属性の一覧表示（検索、CSV出力、他）を行ないます。
操作方法は 「9 地物の情報一覧」 を参照



- ・地物の絞り込み 表示する地物を属性の内容で絞り込みます。
操作方法は 「11-5 属性制限設定」 を参照

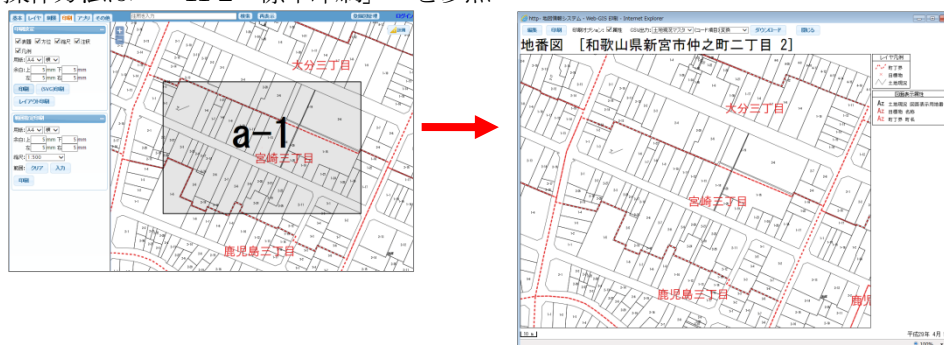


- 表示する地物をエリアで絞り込みます。
操作方法は 「11-6 領域制限設定」 を参照

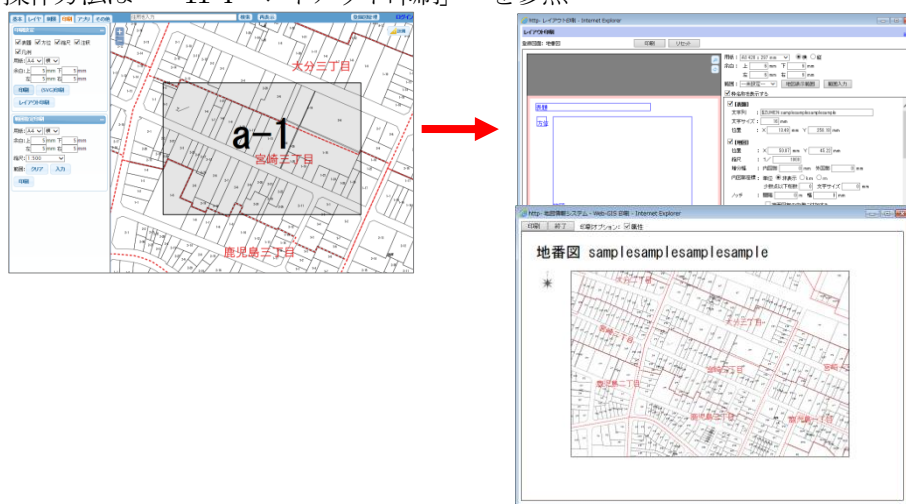


- 印刷

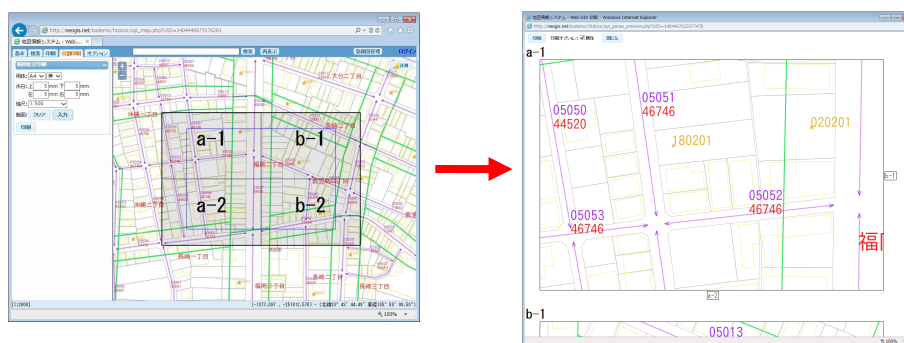
図面の印刷を行ないます。
操作方法は「11-2 標準印刷」を参照



任意のレイアウトで図面の印刷を行ないます。
操作方法は「11-4 レイアウト印刷」を参照



切り貼りして大きな紙地図を作成できる分割印刷を行ないます。
操作方法は「11-3 分割印刷」を参照



- 地物の登録

地物（図形、属性）を登録する機能です。

- 作図

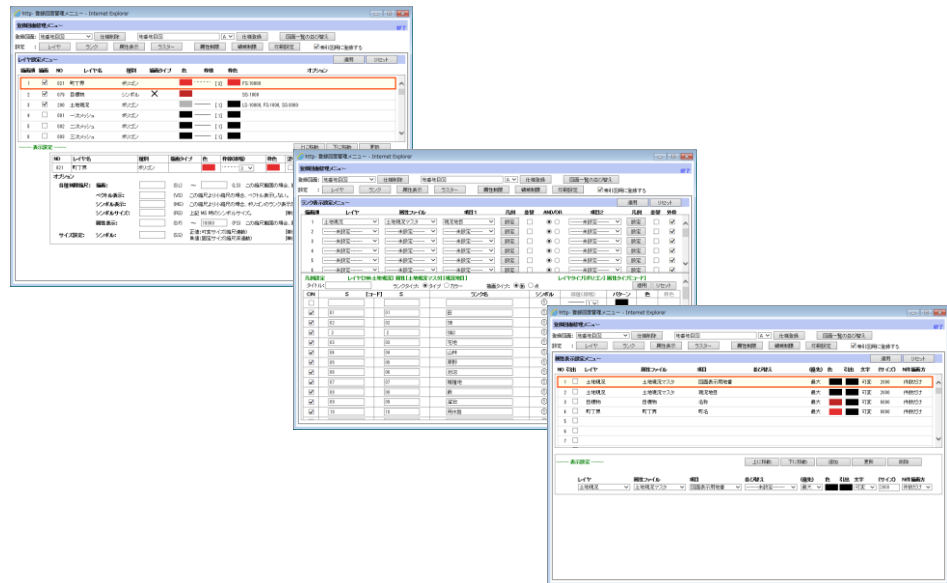
お絵かき機能です。
点、線、面のKMLを作成し、ダウンロード可能です。

- 図形編集

高度な図形編集機能です。

- 登録図面

表示する地物・表示方法(色塗り、シンボル表示等)を任意に設定可能です。
 設定した図面内容は、任意の名前で登録、呼び出し可能です。
 操作方法は「20 登録図面」を参照



3 ログイン画面

ブラウザのアドレスに、Open-Base II の URL を入力します。



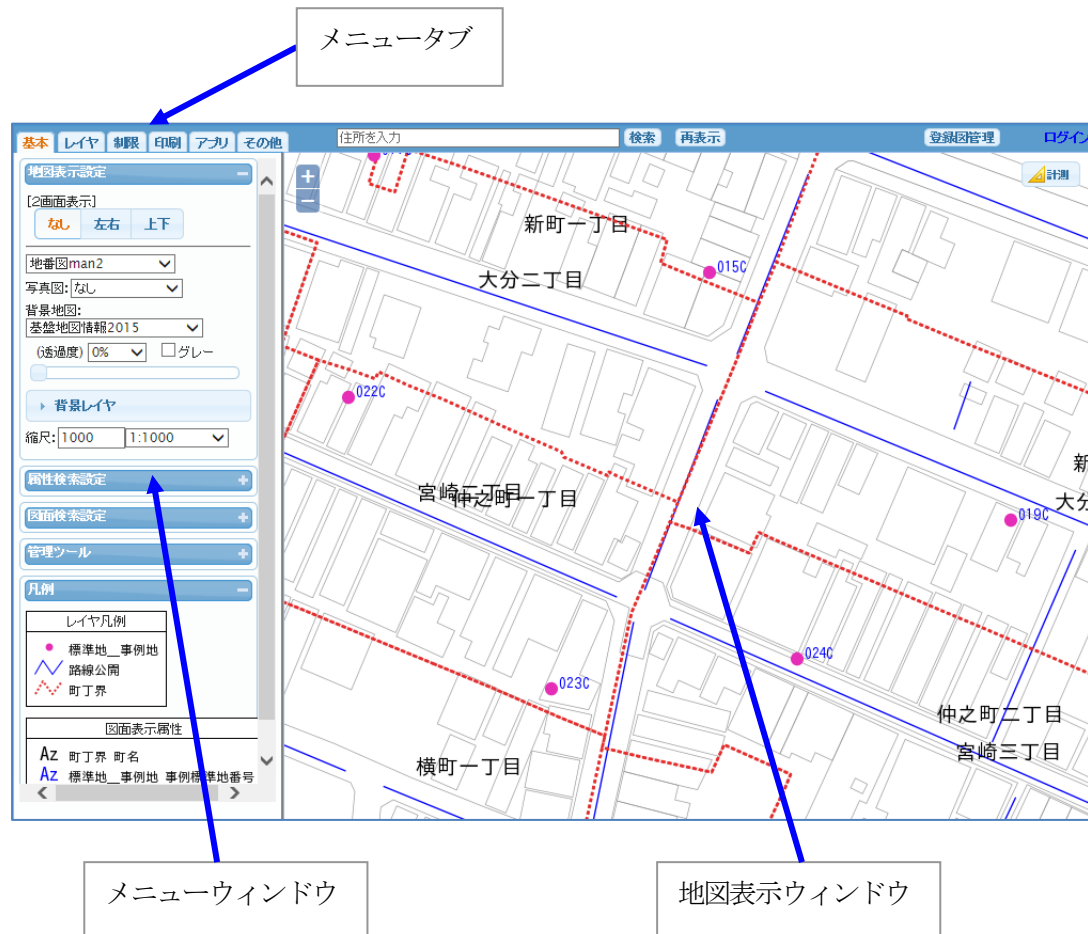
ログイン画面が表示されるので、通知済の「ユーザ ID」と「パスワード」を入力「ユーザ認証」ボタンをマウスでクリックします。

背景マップのチェックボックスは、後記の選択可能な「背景地図」と関連しています。

文字サイズは、ログイン後に表示される文字のサイズとなります。

4 初期画面

ログイン画面での認証が終わると、以下の初期画面が表示されます。



初期画面では、最初の登録図面が表示されます。

メニュータブ：

メニューウィンドウの切り替えを行います。

メニューウィンドウ：

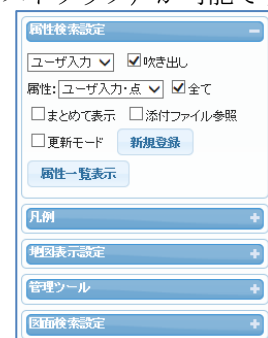
地図表示設定、属性検索設定、位置情報等の各種メニューが配置されています。

各グループは最小化と、表示順の入れ替え（タイトルバーのマウスドラッグ）が可能です。

地図表示ウィンドウ：

検索された図面が表示されます。

図面の属性表示でも使用します。

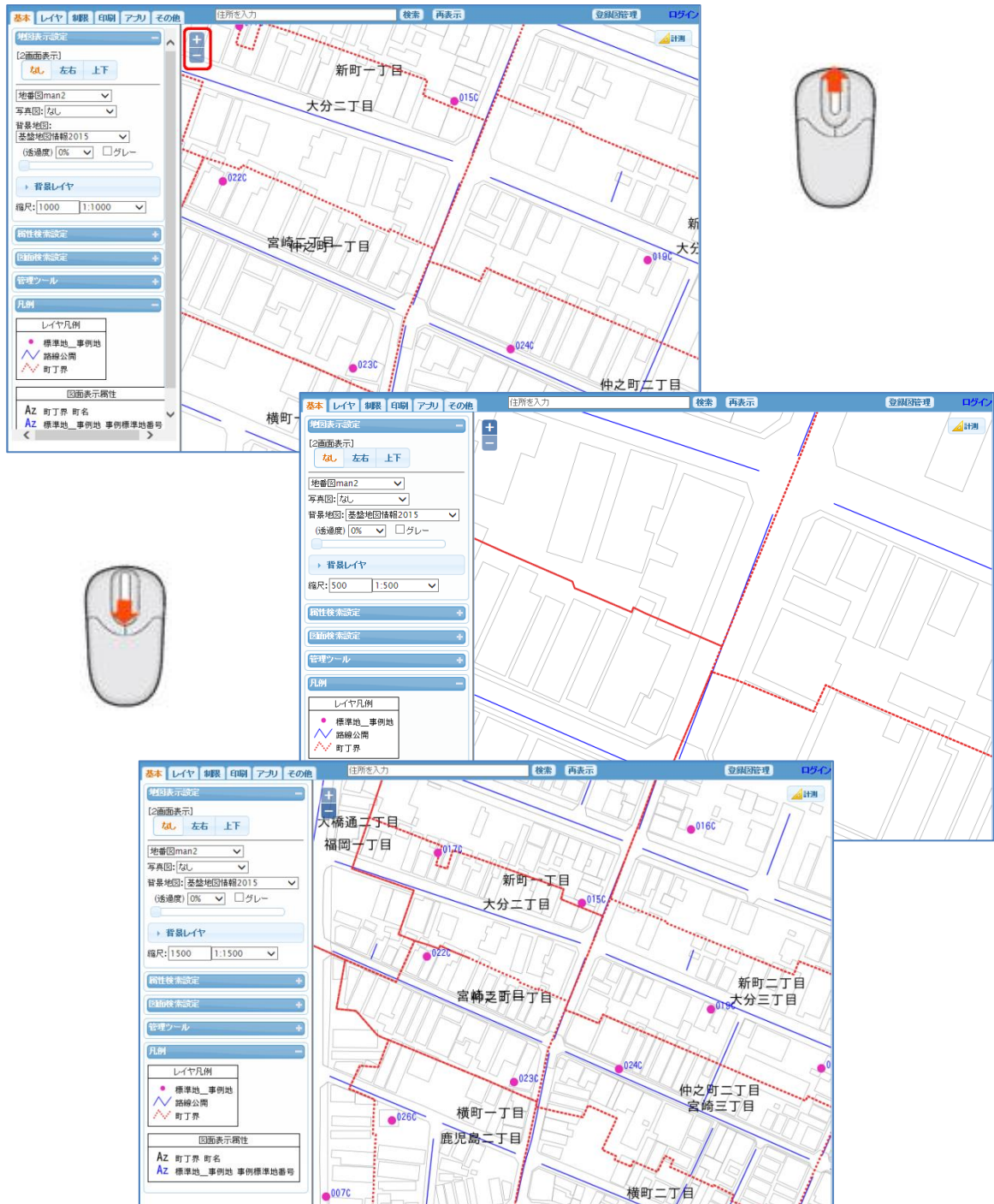


5 GIS 基本機能

地図の拡大／縮小／移動を行ないます。

5-1 地図の拡大／縮小

地図表示ウィンドウの左上の「+」クリック、もしくはマウスホイール上回転で地図の拡大を行ないます。
地図表示ウィンドウの左上の「-」クリック、もしくはマウスホイール下回転で地図の縮小を行ないます。

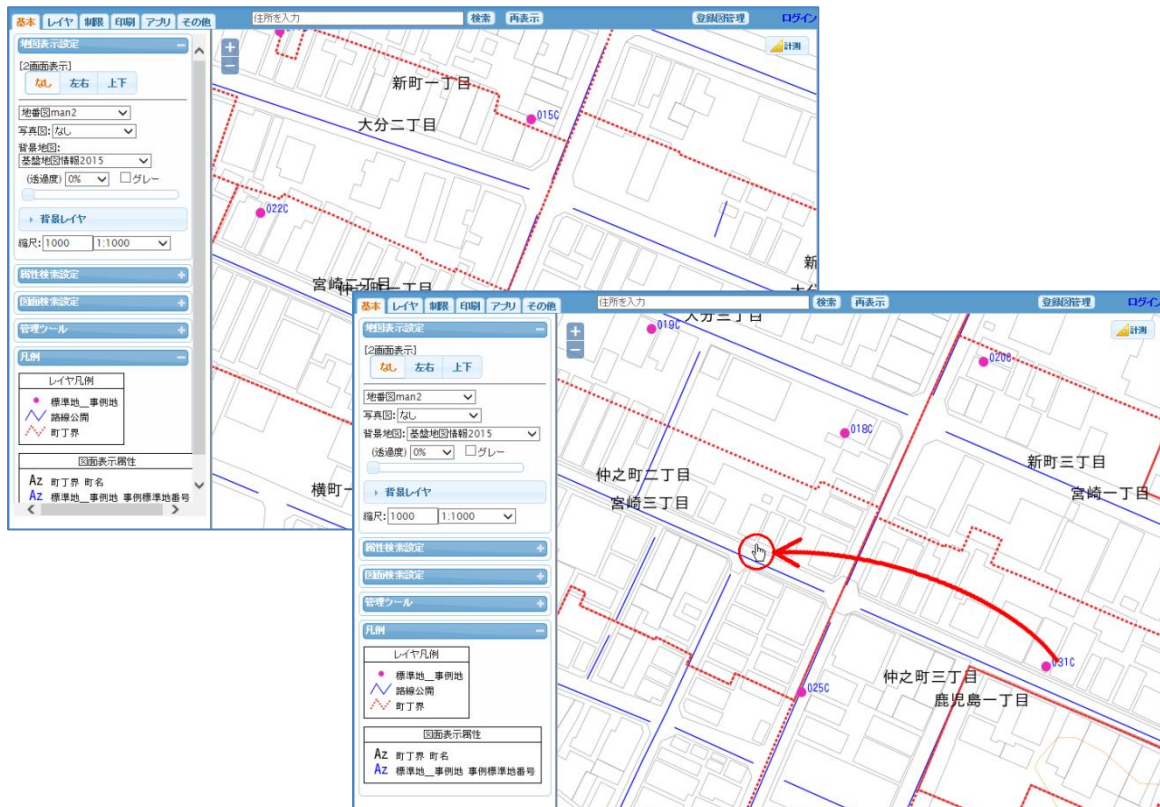


縮尺は背景地図「なし」の場合には「任意縮尺」が使用可能となります。
 後述の背景（タイル画像）を使用した場合には、縮尺は「レベル」表記となります。



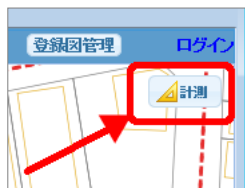
5-2 地図の移動

地図表示ウィンドウ上で、マウスドラッグで地図の表示位置の移動を行ないます。



5-3 地図の計測

地図表示ウィンドウ内の「計測」ボタンをクリックして、「距離・面積計測」ウィンドウを表示します。



地図表示ウィンドウで、距離、面積、角度の計測が可能です。



距離計測

「距離」ボタンをクリック後、マウスで線を入力します。

入力終了はダブルクリックです。

ブラウザの左下にガイダンスが表示されます。

線入力 > 3点クリック: 終了



面積計測

「面積」ボタンをクリック後、マウスで領域を入力します。

入力終了はダブルクリックです。

ブラウザの左下にガイダンスが表示されます。

面入力 > ダブルクリック: 終了



角度計測

「角度」 ボタンをクリック後、
マウスで線分（3点）を入力します。

ブラウザの左下にガイダンスが表示されます。

線入力 > ダブルクリック: 終了

6 図面切り替え

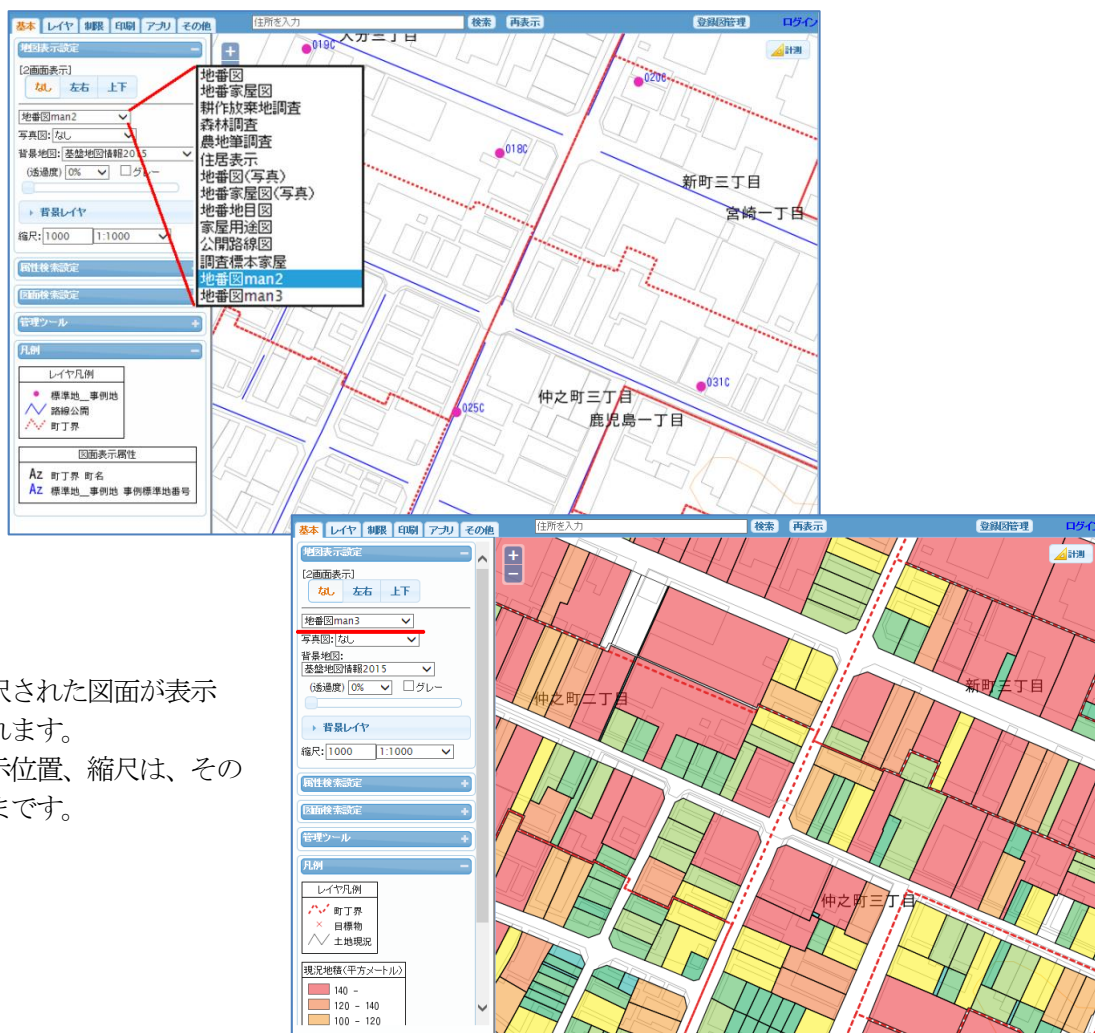
図面の切り替えを行ないます。

図面とは、表示する地物、表示方法（色、シンボル、パターン）、文字表示等をセットにして名前を付けたものです。

図面の登録、変更方法は、「20 登録図面」を参照願います。

6-1 図面切り替え

図面の一覧から図面を選択します。



選択された図面が表示されます。

表示位置、縮尺は、そのままです。

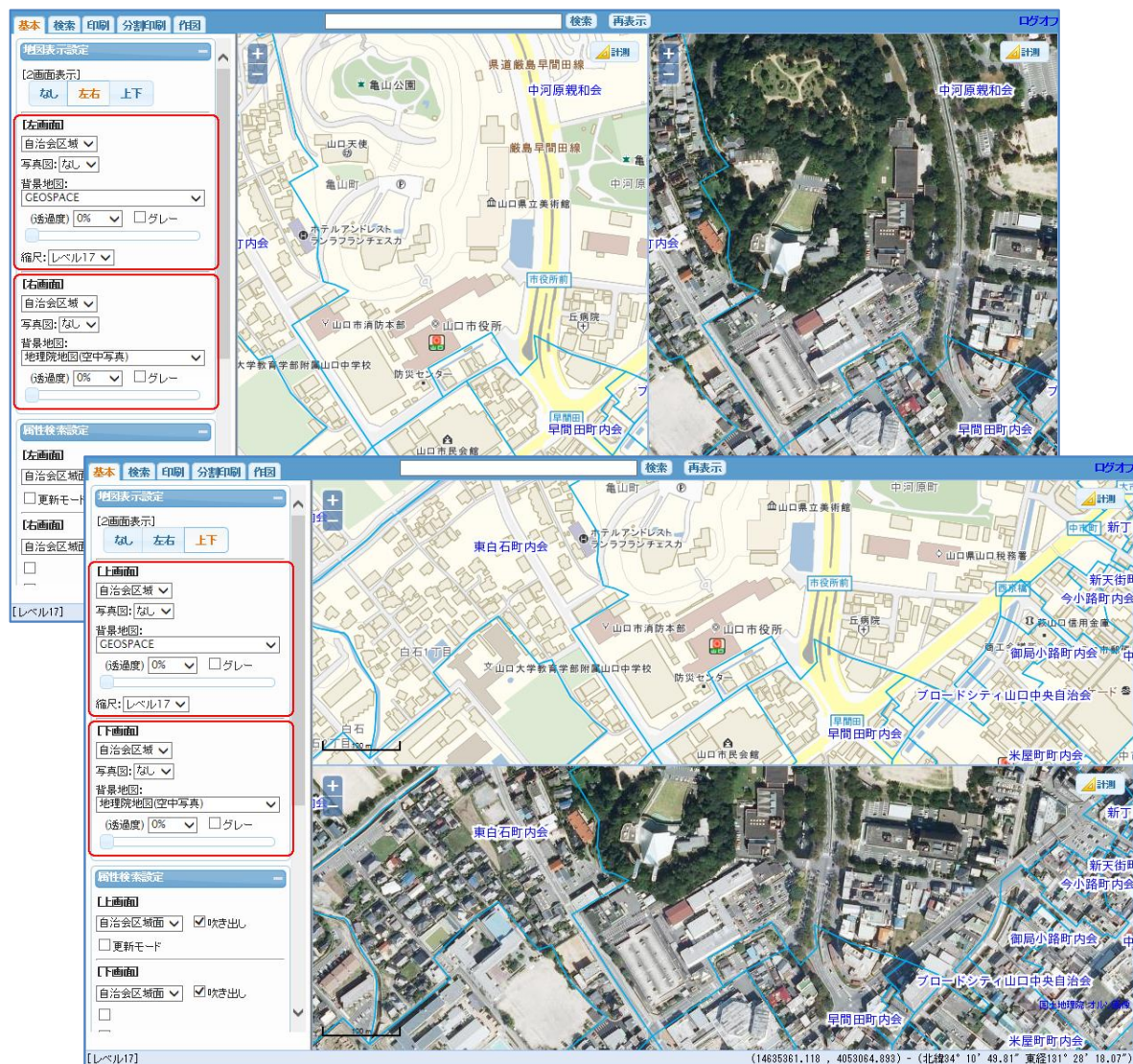
6-2 2画面表示

画面を2分割して表示します。

画面分割を「左右／上下」から選択します。

分割を中止する場合は、「なし」を選択します。

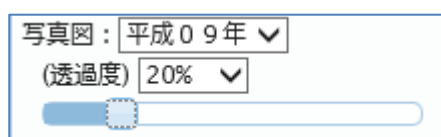
表示設定は、それぞれの画面に対して行うことが出来ますが、拡大縮小・移動は、分割画面は連動して動作します。



6-3 写真図

航空写真等、座標付きイメージを、背景として重ねて表示可能です。

透過度の指定も可能です。



6-4 背景地図（タイル画像）

背景地図として、OpenStreetMap、地理院地図、Google マップ等のタイル画像を表示可能です。

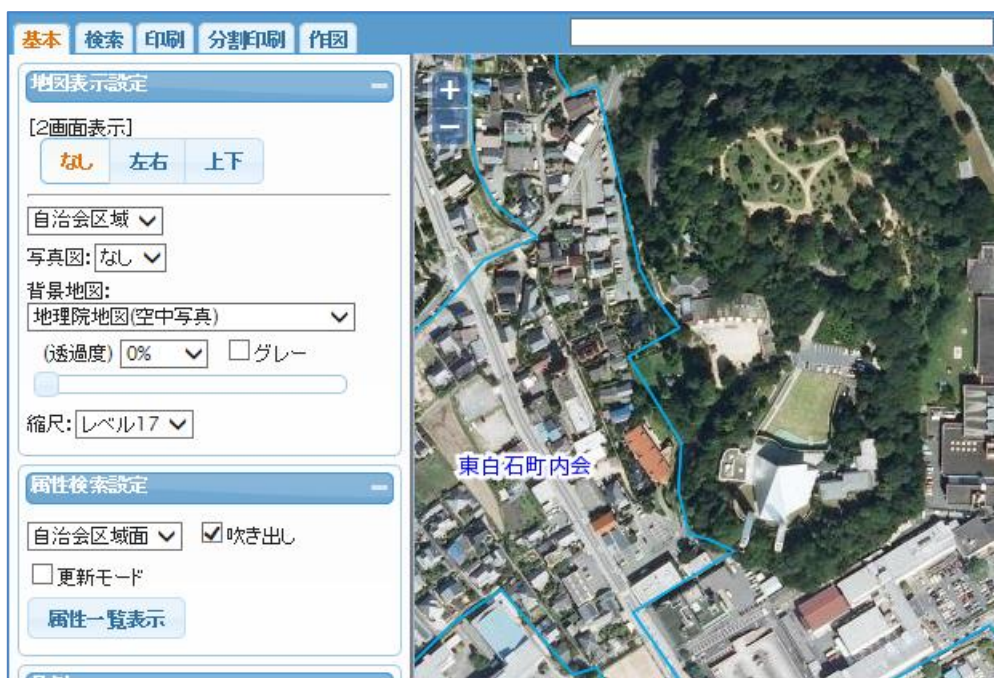
背景地図は透過度の指定、グレースケール表示も可能です。

タイル画像の背景を使用した場合には、縮尺は「レベル」表記となります。

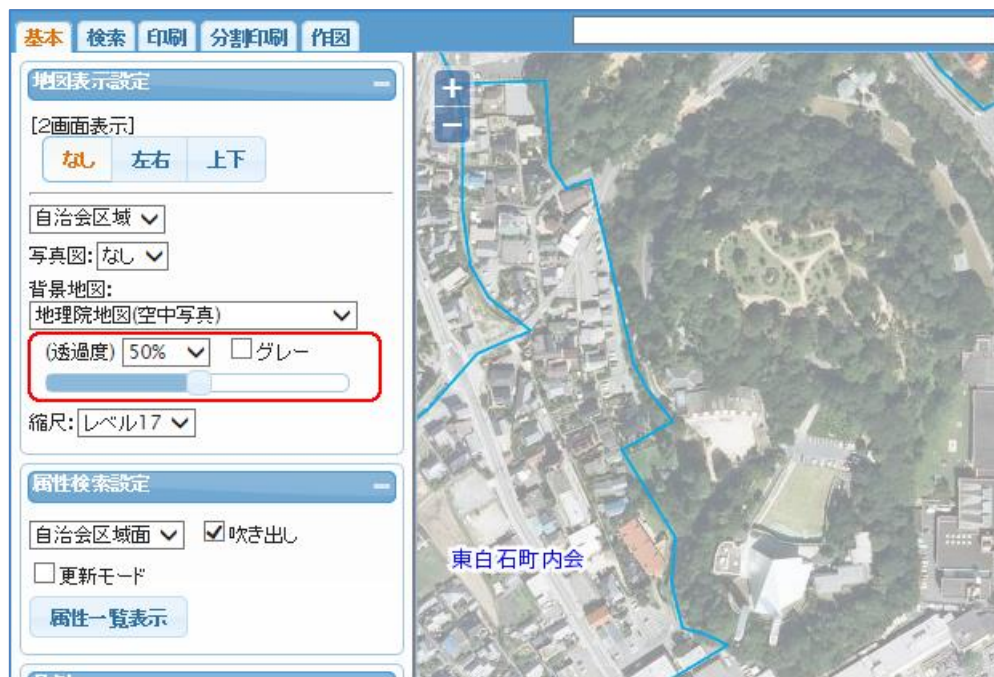
※タイル画像とは、特定縮尺ごとに画像を格子状に分割した画像群で、Web で使用される地図に多く用いられるものです。有償、無償があります。

有償： GEOSPACE CDS（NTT 空間情報(株)、Google マップ。。）

無償： OpenStreetMap、地理院地図



背景の透過度を変更



背景をグレースケールで表示



6-5 背景レイヤ (WMS 画像)

背景地図として、WMS 配信される地図画像を表示可能です。

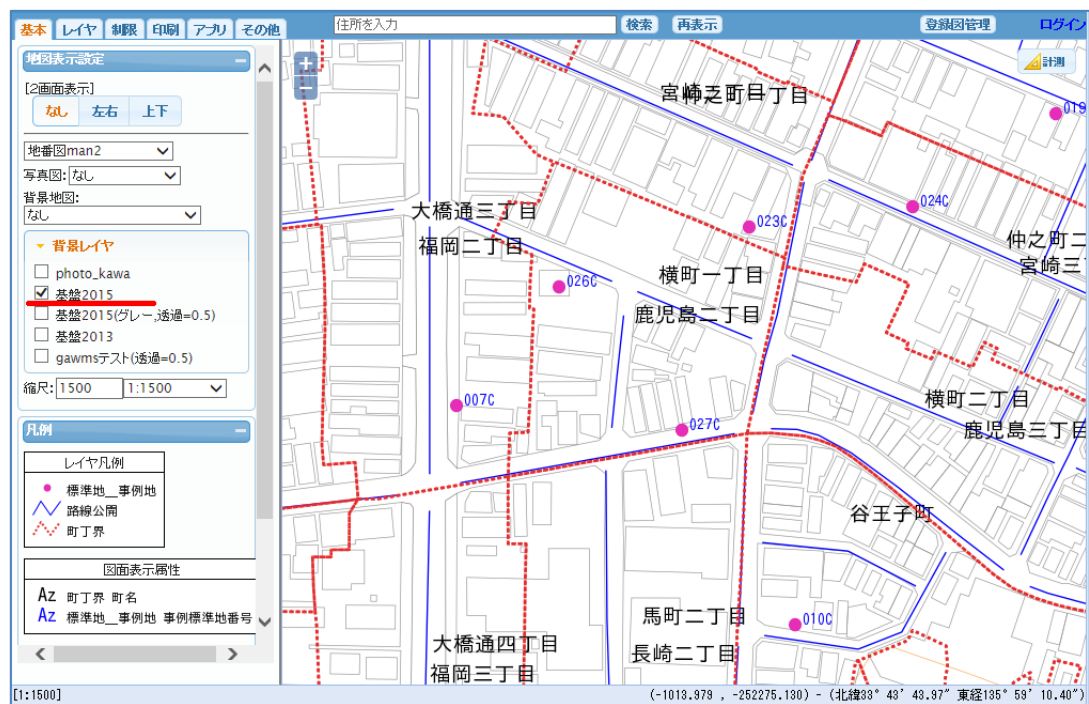
背景地図は透過度の指定、グレースケール表示も可能です。

WMS 画像の背景を使用した場合には、縮尺はタイル画像のように「レベル」表記に限定されません。

※WMSとは、タイル画像同様にクライアントからの要求に対して地図画像を配信するサービスですが、元々のベクトル地図を要求時に画像化して配信するために、任意の縮尺表示が可能となります。

サンプル

背景として WMS 基盤地図を表示



7 地物の参照

地物の情報（属性）の表示を行ないます。

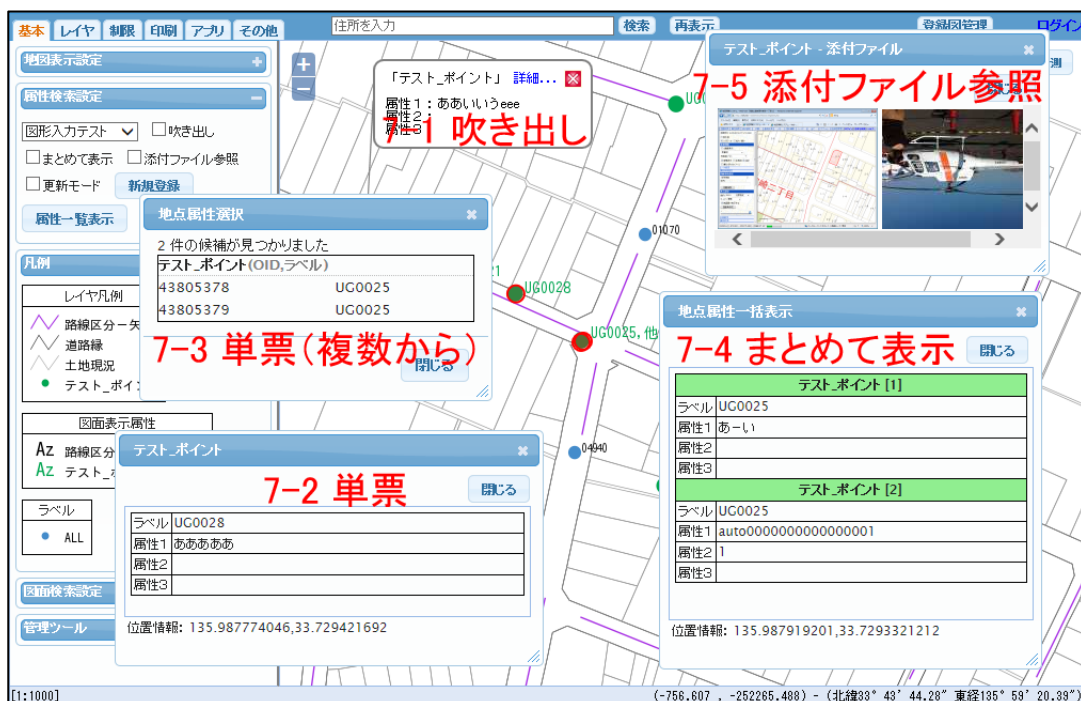
地図上に表示されている地物をマウスクリック(ピック)することにより情報が表示されます。

最初に、属性検索設定メニューで検索対象の属性ファイルを選択し、対象地物をピックします。



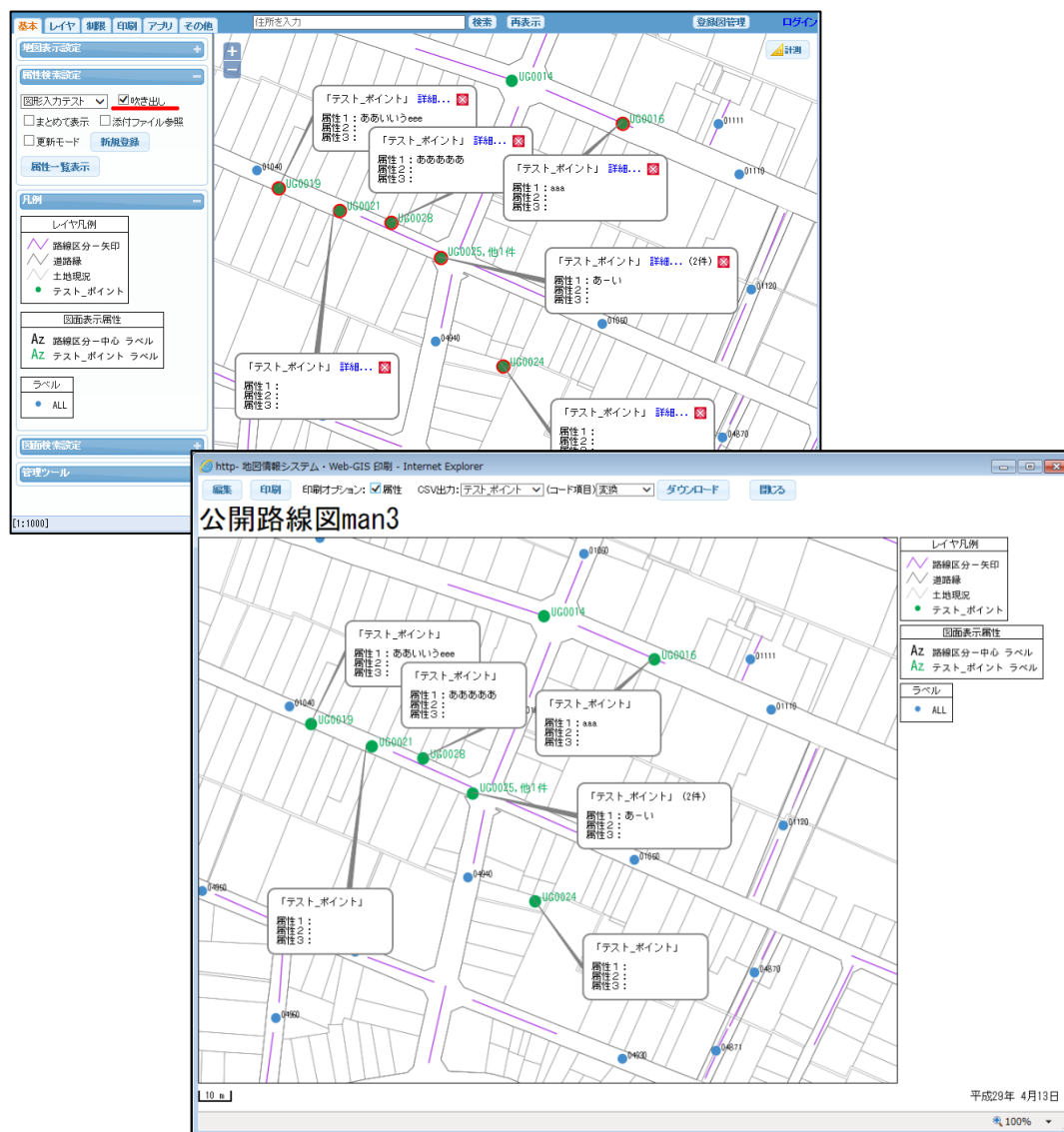
表示方法は以下の方法があります。

- 7-1 吹き出し
- 7-2 単票
- 7-3 単票（複数から）
- 7-4 まとめて表示
- 7-5 添付ファイル参照



7-1 吹き出し

「吹き出し」に☑が入っていると、マウスピックした地物の属性情報が吹き出し表示されます。
吹き出しは複数表示可能で、重なる場合はマウスで移動可能です。
吹き出しは、印刷も可能です。

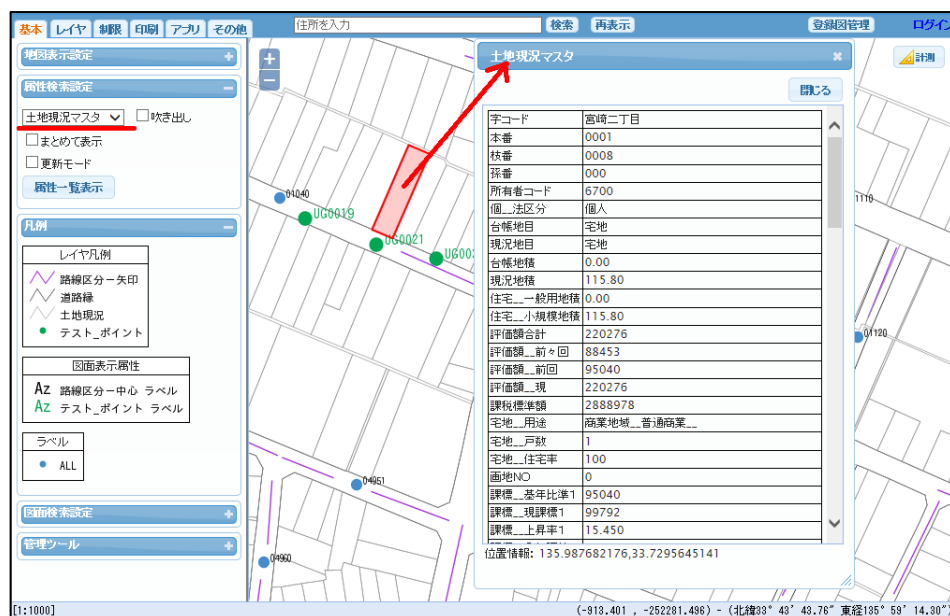


吹き出しの詳細クリックで「単票」表示が行われます。



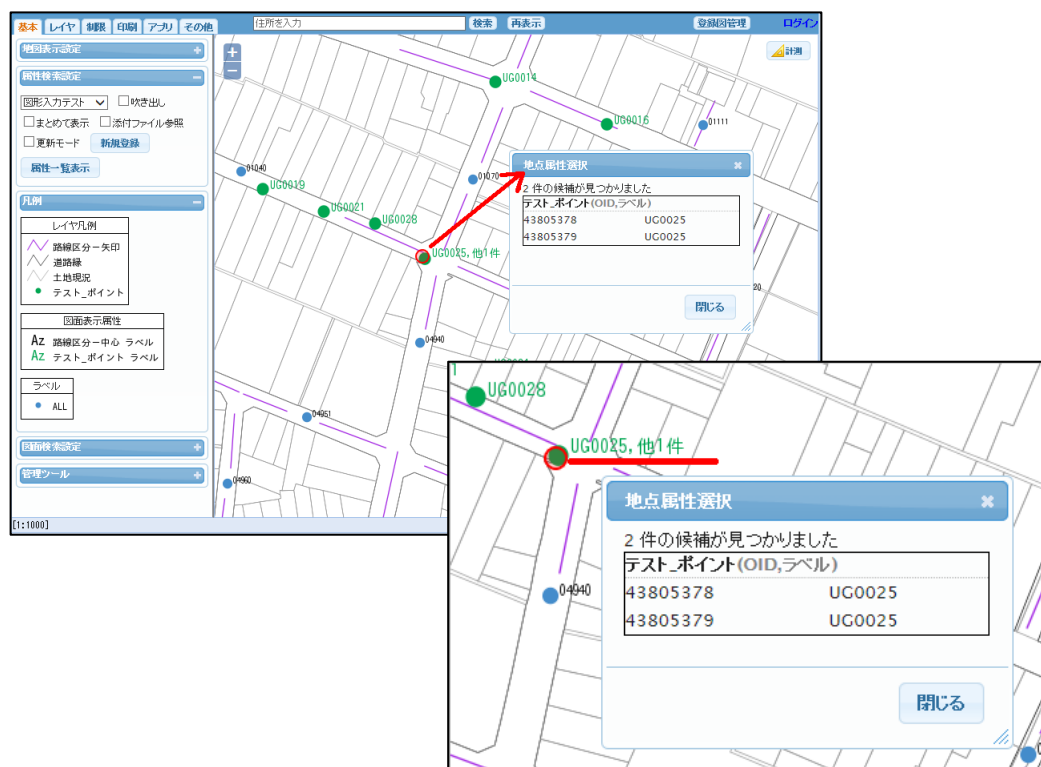
7-2 単票

「吹き出し」の☑を外すと、マウスピックした地物の属性情報が「単票」で表示されます。
属性にファイルが添付されていると単票内で表示され、クリックで新規タブ表示が行われます。

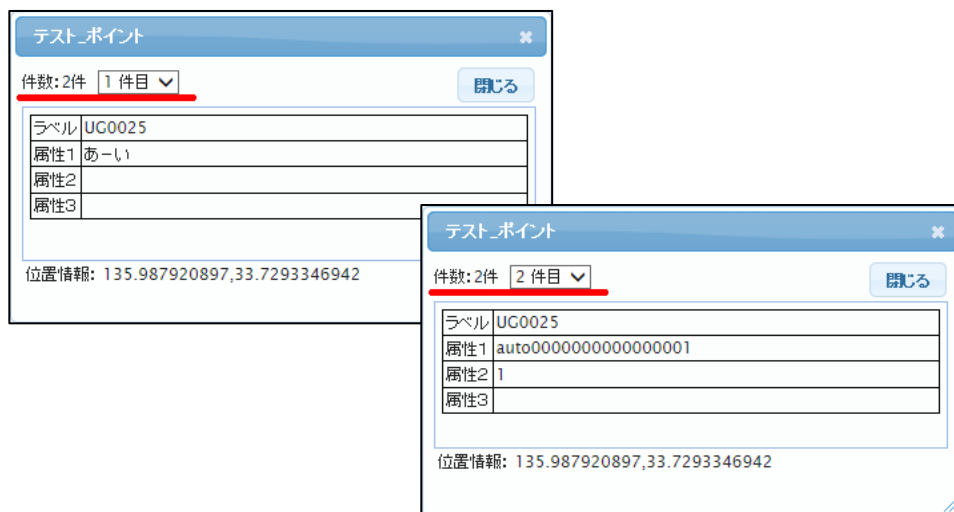


7-3 単票（複数から）

複数の属性が登録された地物の場合、対象を選択するウィンドウが表示されます。



上記の場合、単票は選択した属性の表示を行ないますが、n件目の指定表示で別属性も表示可能です。



7-4 まとめて表示

図形に複数の属性が登録されている場合、「まとめて表示」に☑が入っていると、地物の属性情報が単票内に一括して表示されます。

The screenshot shows a map interface with a sidebar on the left and a main map area. The sidebar has a '属性検索設定' (Attribute Search Settings) section with a checked 'まとめて表示' (Display Together) option. Two pop-up windows are shown on the right, each titled '地点属性一括表示' (Location Attribute Batch Display). The first window shows a single point 'テストポイント' with label 'UC0019'. The second window shows multiple points, with the first one labeled 'テストポイント [1]' and the second 'テストポイント [2]'. Red arrows point from labels to specific elements: '1 件登録' points to the first point on the map; 'n 件登録' points to a group of points; '1 件目' points to the first entry in the second pop-up; and '2 件目' points to the second entry in the second pop-up.

The screenshot shows the same map interface, but with different pop-up windows. The first pop-up window is titled 'まとめて表示' (Display Together) and shows a single point 'テストポイント' with label 'UC0019'. The second pop-up window is titled '単票表示' (Single Ticket Display) and shows a single point 'テストポイント' with label 'UC0019'. Red arrows point from labels to specific elements: 'まとめて表示' points to the first pop-up window; '単票表示' points to the second pop-up window; and '1 件目' points to the first entry in the second pop-up.

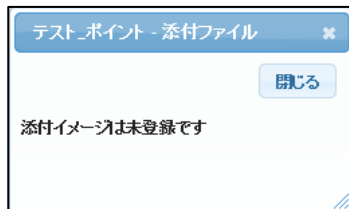
7-5 添付ファイル参照

「添付ファイル参照」に☑が入っていると、属性に添付ファイルがある場合、地図表示ウィンドウ上でマウスクリックすると、添付ファイルのみが表示されます。

「添付ファイル参照」の☑は、「吹き出し」と排他選択となっています。



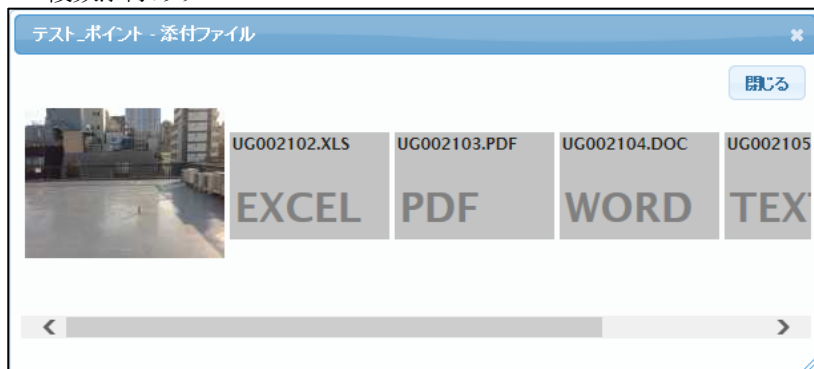
添付なし



添付あり



複数添付あり



7-6 地物更新

単票表示された属性情報は、「更新モード」に☑が入っていると「追加」「更新」「削除」が可能となります。

※ 地物の図形更新は、「17 地物の登録」を参照。



更新ウィンドウ

テストポイント	
追加	更新
削除	図形再入力
閉じる	
ラベル	UC0004
属性_文字	テスト
属性_数値	12345
属性_コード	02 属性B
登録者	neogis
登録日	2015-02-09
登録時間	17:19:10
経度	135.98761131600000
緯度	33.72996086820000
追加する添付ファイル: 参照...	
※対応形式: jpeg, gif, png, pdf, doc, xls, txt	
位置情報: 135.987611316, 33.7299608682	

文字、数値は、キーボードで入力します。

コード項目は、選択肢が表示されますので、マウスで選択入力可能です。

グレイアウトしている項目は、修正不可の項目です。

「参照」ボタンクリックで、添付するファイルを選択可能です。

「図形再入力」ボタンクリックで、図形の再入力も可能です。

「追加」ボタン：

表示中の情報をコピーして、その地物に、レコードを追加します。
この場合、一つの図形に複数の属性がリンクすることになります。



「更新」ボタン：

表示中の情報で、そのレコードを更新します。

「削除」ボタン： 地物の属性情報を削除します。
 図形と属性が1対1でリンクしている場合は、図形のみが残り、メニューが下図のように変わります。
 図形も削除する場合は、「図形削除」ボタンで削除します。
 図形と属性が1対n（nが2以上）の場合は、属性が1件削除されるのみで、メニューは下図のように変わりません。
 図形に対する属性が0件になった場合に、下図のメニューとなります。

注意： お客様の環境により、最後の属性が削除された時点で、自動的に図形も削除される設定になっている場合もあります。

7-7 地物登録

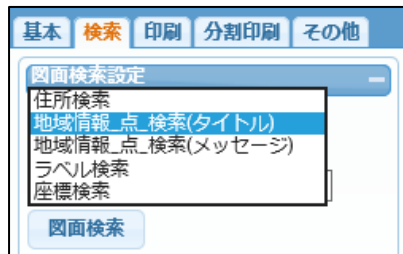
属性検索設定から、「新規登録」クリック後、地図表示ウィンドウ上の任意のポイントをクリックし、属性の登録を行います。

※ 地物の登録詳細は、「17 地物の登録」を参照。

地図表示ウィンドウへの図形入力方法は、（ポリゴン／ライン／ポイント）で異なります。

8 地物の検索

地物の検索には、地物の属性からの検索、住所検索、座標（緯度、経度）検索があります。
その他、自治体等のお客様で、地番データを提供頂ける場合は地番検索も可能です。



8-1 地物検索

地物の属性によって、地物を直接検索することが可能です。
管理している地物によりメニューが変わります。

下図は、地物のタイトルで検索しています。

例えば、“テスト”と入力して、「図面検索」ボタンをクリックすると、タイトルに“テスト”を含む候補一覧が表示されます。通常は「あいまい検索」の設定になっています。
一覧から目的の地物を選択すると、その地物が地図検索され地図の中心に表示されます。

検索結果が1件の場合は、一覧の表示はなく、直接地図検索されます。



8-2 住所検索

住所で検索することも可能です。

この機能はウィンドウ上部にも用意されています。



標準では、以下の住所データを使用しています。

- ・ 街区レベル位置参照情報

<http://nlftp.mlit.go.jp/isyj/index.html>

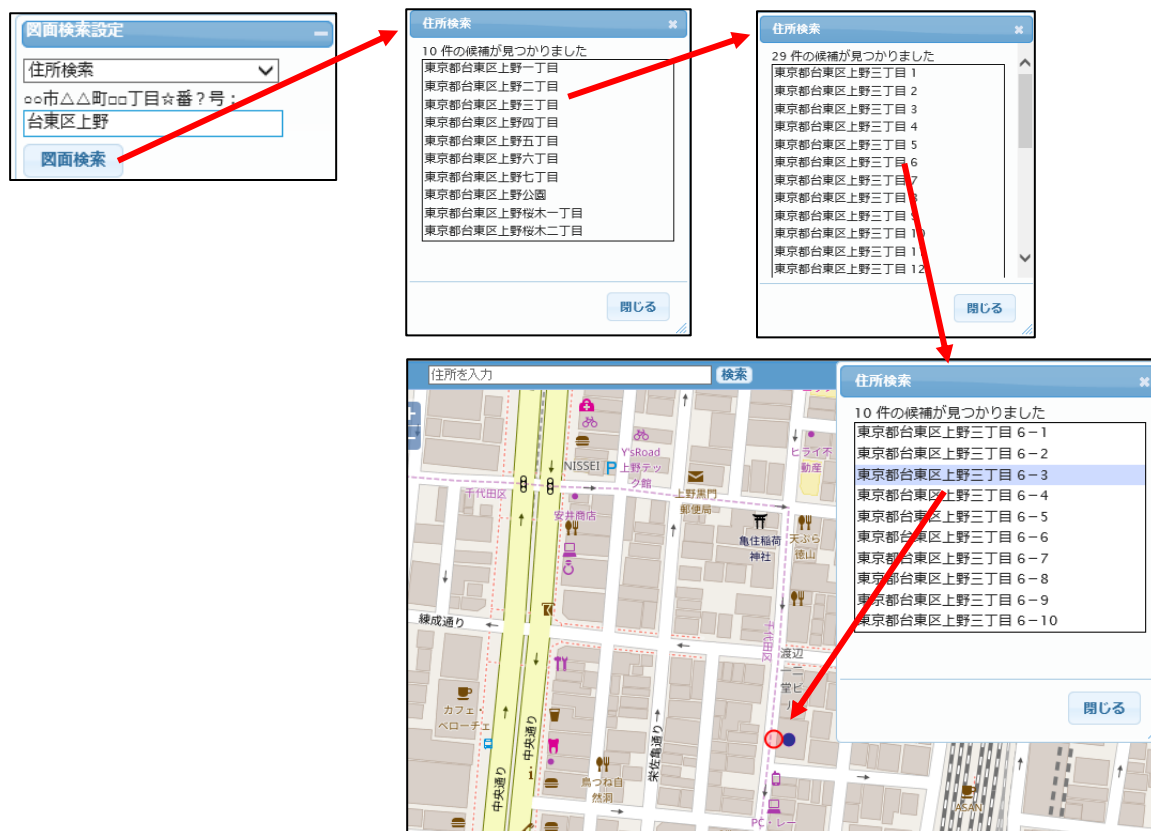
- ・ 電子国土基本図（地名情報）「住居表示住所」

http://www.gsi.go.jp/kihonjohochousa/jukyo_jusho.html

「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を複製したものである。

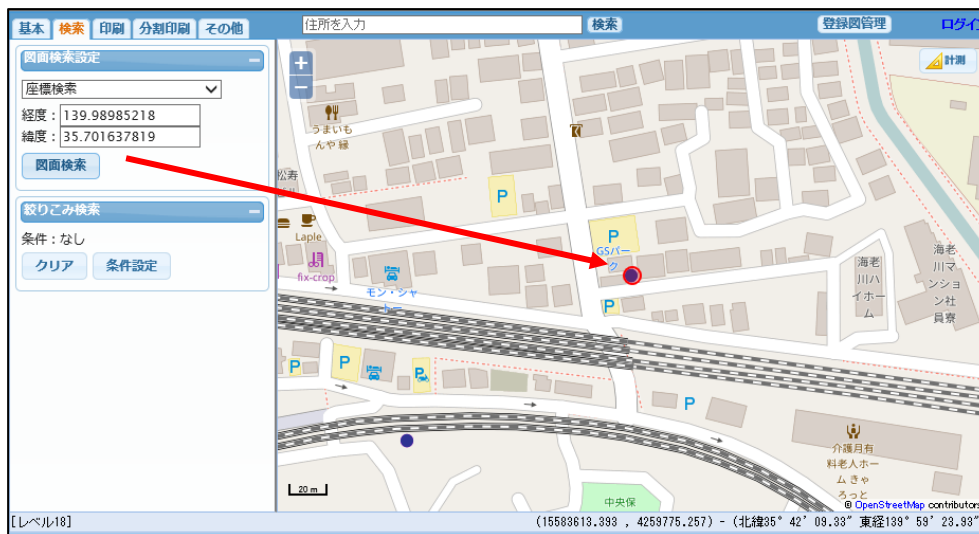
(承認番号 平 27 情複、 第 110 号)」

例えば、“台東区上野”と入力して図面検索」ボタンをクリックすると、下図のように何丁目、何番、何号と順々に一覧が更新され、最後の号を選択すると、その住所が地図検索され地図の中心に表示されます。



8-3 座標（緯度、経度）検索

緯度、経度の入力により、座標による検索も可能です。



8-4 地番検索

自治体等のお客様で、地番データを提供頂ける場合は地番検索も可能です。

図面検索設定

土地・地番検索

大字: 全て よみ

01 福岡

町丁界: 全て よみ

01* 未設定

図面表示用地番:

0-0

図面検索

名寄せ検索

かな入力

わ	ら	や	ま	は	な	た	さ	か	あ
り			み	ひ	に	ち	し	き	い
る	ゆ	む	ふ	ぬ	つ	す	く	う	
れ			め	へ	ね	て	せ	け	え
を	ろ	よ	も	ほ	の	と	そ	こ	お

「よみ」を選択することで、選択リストが、その読みで始まる大字、小字に絞りこまれます。
「全て」をクリックで、絞り込みは解除されます。

大字: 全て よみ

01 福岡

町丁界: 全て よみ

01* 未設定

図面表示用地番:

0-0

福岡一丁目

福岡二丁目

福岡三丁目

大字を選択すると、その大字内の小字リストが表示されます。

地番が既知の場合は、直接“1-1”等を入力し、「Enter」キー押下、または、「図面検索」ボタンのクリックで検索が開始され、見つければその地番が検索表示されます。

または、あいまい検索も使用可能です。

たとえば、“1*”と、アスタリスク（*）をつけて入力すると、地番が1で始まる一覧がポップアップ表示されますので、その中から対象の地番を選択すると、その地番が検索表示されます。リストは、最大100件までの表示となります。

The screenshot shows a software interface for land search. On the left is a sidebar titled '図面検索設定' (Map Search Settings) with the following options:

- 土地・地番検索 (Land/Parcel Search) - selected
- 大字: 全て (All) / よみ (Reading) - selected
- 01 (input) / 福岡 (Fukuoka) (dropdown)
- 町丁界: 全て (All) / よみ (Reading) - selected
- 01* (input) / 未設定 (Not set) (dropdown)
- 図面表示用地番: 0-0 (input)
- 1* (input)
- 図面検索 (Map Search) button
- 名寄せ検索 (Name Merge Search) button

On the right is a map showing a street grid with colored overlays. A search results window titled '土地・地番検索' (Land/Parcel Search) is overlaid on the map. It displays '12 件の候補が見つかりました' (12 candidates found) and a table of results.

字コード	図面表示用地番	所有者コード	現況地目	現況地積
福岡二丁目	1-1	91	宅地	193.19
福岡二丁目	1-2	89	宅地	157.82
福岡二丁目	1-3	90	宅地	269.76
福岡二丁目	1-4	87	宅地	518.21
福岡二丁目	1-5	88	宅地	311.20
福岡三丁目	1-1	432	宅地	182.00
福岡三丁目	1-2	435	宅地	465.02
福岡三丁目	1-3	433	宅地	323.64
福岡三丁目	1-4	439	宅地	258.06
福岡三丁目	1-5	442	宅地	320.74
福岡三丁目	1-6	438	宅地	268.32

At the bottom right of the results window is a button labeled '閉じる' (Close).

9 地物の情報一覧

地物の属性の一覧を表示し、属性の検索、CSV 出力等を行ないます。

これらの処理は、属性検索ウィンドウで行います。

属性検索設定メニューから「属性一覧表示」ボタンのクリックで、属性検索ウィンドウが起動します。

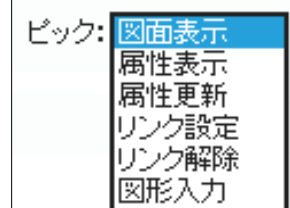
9-1 属性一覧

対象ファイルを選択し、「検索」ボタンクリックで一覧が表示されます。

属性の条件検索等、いろいろな機能がありますが、まずは、結果リストのレコード選択により実現している機能を説明します。

ピック：結果リストのレコードを選択したときの動作を指定します。

- 図面表示 : 選択レコードの図形を表示します。
- 属性表示 : 選択レコードを更新不可で単票表示します。
- 属性更新 : 選択レコードを更新可で単票表示します。
- リンク設定 : 選択レコードと図形をリンクします。
- リンク解除 : 選択レコードを図形のリンクを解除します。
- 図形入力 : 既存図形とのリンクではなく、新規に図形を作成しリンクします。



9-1-1 図面表示

検索リストをマウスで選択すると、その地物が地図上で検索表示されます。

The screenshot shows the '属性検索' (Attribute Search) window. The top part displays a map with various points and lines. The bottom part is a table of search results. A red arrow points from the record with NO 04370 in the table to its location on the map.

NO	ラベル	解析単位	道路性質	幅員	舗装	商店街	歩道	連続性	アーケード	一方通行	歩行者専用	バス路線	状態番号	駅名称	駅距離	中
1	04361	普通住宅	その他	3.0	砂利、防塵	無し	歩道無し	行き止まり	アーケード無し	一方通行無し	歩行者専用無し		1033	JRネオ駅	557	JF
2	04370	普通住宅	その他	2.2	砂利、防塵	無し	歩道無し	行き止まり	アーケード無し	一方通行無し	歩行者専用無し		1033	JRネオ駅	583	JF
3	04571	普通住宅	その他	2.1	砂利、防塵	無し	歩道無し	行き止まり	アーケード無し	一方通行無し	歩行者専用無し		0953	JRネオ駅	813	JF
4	04680	普通住宅	その他	1.2	砂利、防塵	無し	歩道無し	行き止まり	アーケード無し	一方通行無し	歩行者専用無し		0953	JRネオ駅	684	JF
5	04700	普通住宅	その他	5.0	砂利、防塵	無し	歩道無し	行き止まり	アーケード無し	一方通行無し	歩行者専用無し		10053	JRネオ駅	856	JF

9-1-2 属性表示

検索リストをマウスで選択すると、その地物が単票表示されます。

属性表示

ラベル	04571
解析単位	普通住宅
道路性質	その他
幅員	2.1
舗装	砂利、防塵
商店街	無し
歩道	歩道無し
連続性	行き止まり
アーケード	アーケード無し
一方通行	一方通行無し
歩行者専用	歩行者専用無し
バス路線	
伏線番号	0953
駅名称	JRネオ駅
駅距離	813
中心駅名称	JRネオ駅
中心駅距離	813
バス停名称	バス停6
バス停距離	70
市役所名称	ネオ市役所
市役所距離	662
出張所名称	東ネオ支所
出張所距離	5487
小学校名称	市立秋田小学校
位置情報	135.988928898,33.727901438

9-1-3 属性更新

検索リストをマウスで選択すると、その地物が更新モードで単票表示されます。

9-1-4 リンク設定

地物の属性を図形にリンクさせます。

地物の属性を他の図形にリンク変更する場合も使用します。

対象属性を一覧から選択し、リンクさせる図形をクリックすることによりリンクが行われます。

リンク設定

NO	ラベル	属性_文字	属性_数値	属性_コード	登録者	登録日	登録時間	経度	緯度
1	UC0001	Nvmbnnnn		属性C	neogis	2014-06-13	13:56:23	135.98862556399999	33.72907506750000
2	UC0000	点検テスト	123.560	属性A	neogis	2013-08-31	16:05:40	135.98794233800001	33.72974349180000
3	UC0002	ああああああ		属性A	neogis	2014-10-15	16:42:02	139.87696576977100	35.82882809222990
4	UC0003				neogis	2015-01-26	22:36:52	135.98828273999999	33.72966556440000
5	UC0005	テスト			neogis	2017-05-10	19:03:25	135.98784057600000	33.72988061780000

9-1-5 リンク解除

地物の属性と図形のリンクを解除します。

対象属性を一覧から選択するだけです。

リンク解除後、図形とのリンク項目(下図の場合、ラベル)が、null となり、解除が確認されます。

属性検索

テストポイント▼

検索

ピック: リンク解除▼

条件入力

CSV作成

先頭

NO	ラベル	属性_文字	属性_数値	属性_コード	登録者	登録日	登録時間	経度	緯度
1	UG0001	Nvnbbnnn		属性C	neogis	2014-06-13	13:56:23	135.98862556399999	33.72907506750000
2	UG0000	点検テスト	123.560	属性A	neogis	2013-08-31	16:05:40	135.98794233800001	33.72974349180000
3	UG0002	ああああああ		属性A	neogis	2014-10-15	16:42:02	139.87696576977100	35.82882809222990
4	UG0003				neogis	2015-01-26	22:36:52	135.98828273999999	33.72966556440000
5		テスト			neogis	2017-05-10	19:03:25	135.98784057600000	33.72988061780000

9-1-6 図形入力

既存図形とのリンクではなく、新規に図形を作成しリンクします。

地物の属性を新規の図形にリンク変更する場合も使用します。

対象属性を一覧から選択し、マウスで図形を入力します。

属性一覧表示

図面検索設定

土地・地番検索▼

大字: 全て よみ

01 福岡▼

町丁界: 全て よみ

01* 未設定▼

属性検索									
テストポイント▼		検索	ピック: <u>図形入力</u> ▼						
条件入力		CSV作成							先頭
NO	ラベル	属性_文字	属性_数値	属性_コード	登録者	登録日	登録時間	経度	緯度
1	UG0001	Nvnbbnnn		属性C	neogis	2014-06-13	13:56:23	135.98862556399999	33.72907506750000
2	UG0000	点検テスト	123.560	属性A	neogis	2013-08-31	16:05:40	135.98794233800001	33.72974349180000
3	UG0002	ああああああ		属性A	neogis	2014-10-15	16:42:02	139.87696576977100	35.82882809222990
4	UG0003				neogis	2015-01-26	22:36:52	135.98828273999999	33.72966556440000
5	UG0006	テスト			neogis	2017-05-10	19:03:25	135.98784057600000	33.72988061780000

9-2 検索、表示

「属性検索」一覧の「条件入力」ボタンクリックで「検索条件入力」ウィンドウが表示されます。



表示されるウィンドウでは「項目選択」「並び替え」「検索条件」「変換方法」の設定が可能です。

9-2-1 項目選択

検索リストの表示順を指定します。

並び替える項目を、左のリストから選択すると、右のリストに追加されます。

その際に項目の「昇順／降順」を選択しておくか、リストに追加後の項目を選択し、「変更」クリックで「昇順／降順」を変更することが出来ます。

右のリストの順列を入れ替える場合は、「順序変更」に☑を入れると、ボタンが表示され、順列変更が可能となります。

9-2-2 並び替え

検索リストの表示順を指定します。

表示する項目を、左のリストから選択すると、右のリストに追加されます。

右のリストの順列を入れ替える場合は、「順序変更」に☑を入れると、ボタンが表示され、順列変更が可能となります。

9-2-3 条件検索

検索条件を論理式で指定します。

項目定義がコードの場合、直接入力以外に該当コード一覧から選択することが出来ます。

コード定義に「よみ」が設定されている場合、選択リストをその読みで始まるコードのみに絞り込み可能です。

項目定義が値の場合(コードでない場合)、「定数・コード値」で直接入力します。

「他項目」を選択すると、他項目との比較が可能です。

「データ選択」を選択すると、項目定義がコードまたは値であってもテーブルに含まれる値のリストが、選択リストとして表示されます。

※ リストの生成限界は 100 件までとなっています。

コード項目の生成リスト

「定数・コード値」選択の際のリストと異なり「全て／よみ」機能はありません。

定数項目の生成リスト

設定の手順は、「項目」を選択 → 「比較演算子」を選択 → 「定数・コード・他項目」を選択／入力 → 「条件式のセット」をクリック とすることで、リストの検索条件が決定します。

検索条件は、「and／or／（）」を用いた式を設定することも可能です。
設定された検索条件は、一覧表示ウィンドウの下に表示されます。

注意！

データベースの世界では、データの値として” ブランク ”と” null ”（値が入っていない）は、明確に区別されます。

条件検索等でも、null は、明示的に指定しない限り、条件から外されます。

null を検索したい場合は、何も入力せずに条件式のセットボタンをクリックします。

すると、下図のように、“coalesce(CAST(状類番号 AS text), '') = ''” のような式が自動入力されます。

これは、“状類番号が、null または、ブランクのもの” という条件となります。

9-2-4 コード変換

検索リストのコード項目の変換方法を指定します。

無変換
変換省略

コード項目: 変換

- 変換 : 対応するコード名称を表示します。
 無変換 : レコードのデータをそのまま表示します。
 変換省略 : 対応するコード名称を省略形で表示します。

9-3 絞り込み（全文検索）

単純な検索機能として、キーワードによる全文検索(全項目検索)機能も提供しています。

「絞り込み」に、検索キーワードを入力して **Enter** キー、または、「検索」ボタンクリックで実行されます。

属性検索															全画面	
土地現況マスタ		検索	ピック: 図面表示		絞り込み: キーワードを入力										閉じる	
条件入力		CSV作成		先頭		前頁		1		件目		次頁		最終		件数: 548
NO	字コード	本番	枝番	孫番	所有者コード	個_法区分	台帳地目	現況地目	台帳地積	現況地積	一般用地積	小規模地積	評価額合計	課税標準額	用途	戸数
1	熊本二丁目	0003	0008	000	501	個人	宅地	宅地	0.00	345.10	0.00	94.47	27972	286272	商業地域_普通商業...	1
2	徳島一丁目	0070	0002	000	483	個人	宅地	宅地	0.00	66.25	0.00	99.17	19177	197453	住宅地域_普通住宅...	1
3	熊本二丁目	0002	0001	000	3	個人	宅地	宅地	0.00	156.62	0.00	153.35	38954	641241	商業地域_普通商業...	1
4	福岡二丁目	0002	0008	000	166	個人	宅地	宅地	0.00	144.70	0.00	47.68	61598	2629100	商業地域_普通商業...	1
5	福岡一丁目	0003	0002	000	17	個人	宅地	宅地	0.00	103.75	0.00	59.27	30399	231168	商業地域_普通商業...	1
6	福岡一丁目	0003	0003	000	16	個人	宅地	宅地	0.00	110.87	0.00	54.76	66589	2130837	商業地域_普通商業...	1
7	大分二丁目	0001	0012	000	97	個人	宅地	宅地	0.00	185.00	0.00	103.04	44103	594461	商業地域_普通商業...	1
8	大分二丁目	0002	0002	000	58	法人	宅地	宅地	0.00	212.34	0.00	0.00	41897	4550392	商業地域_普通商業...	0

例えば、「福岡」と入力して実行すると、

下図のように、福岡一丁目、福岡二丁目と、「福岡」を含むレコードのみが選択されます。

属性検索															全画面	
土地現況マスタ		検索	ピック: 図面表示		絞り込み: 福岡										閉じる	
条件入力		CSV作成		先頭		前頁		1		件目		次頁		最終		件数: 51
NO	字コード	本番	枝番	孫番	所有者コード	個_法区分	台帳地目	現況地目	台帳地積	現況地積	一般用地積	小規模地積	評価額合計	課税標準額	用途	戸数
1	福岡二丁目	0002	0008	000	166	個人	宅地	宅地	0.00	144.70	0.00	47.68	61598	2629100	商業地域_普通商業...	1
2	福岡一丁目	0003	0002	000	17	個人	宅地	宅地	0.00	103.75	0.00	59.27	30399	231168	商業地域_普通商業...	1
3	福岡一丁目	0003	0003	000	16	個人	宅地	宅地	0.00	110.87	0.00	54.76	66589	2130837	商業地域_普通商業...	1
4	福岡三丁目	0002	0001	000	370	個人	宅地	宅地	0.00	300.46	0.00	98.18	57757	547351	商業地域_普通商業...	1
5	福岡三丁目	0002	0009	000	252	個人	宅地	宅地	0.00	507.63	0.00	23.53	57179	129867	商業地域_普通商業...	2
6	福岡三丁目	0002	0007	000	190	個人	宅地	宅地	0.00	234.25	0.00	0.00	57179	4082990	商業地域_普通商業...	0
7	福岡三丁目	0002	0006	000	191	個人	宅地	宅地	0.00	324.83	0.00	0.00	57179	6675105	商業地域_普通商業...	0
8	福岡三丁目	0002	0005	000	2	個人	宅地	宅地	0.00	158.25	0.00	99.90	54909	529476	商業地域_普通商業...	1

※ これは、コード項目、値項目、すべてで検索されます。

※ 上記で、用途に、「。。福岡。。」という文字が入っていても検索されます。

9-4 強調表示

条件検索後、強調表示に☑を入れることで、検索された地物のみを地図上に強調表示します。

基本 レイヤ 制限 印刷 アプリ その他 住所を入力 検索 再表示 登録図管理 ログイン

地図表示設定
[2画面表示]
なし 左右 上下
公開路線図man2
写真図: なし
背景地図: なし
背景レイヤ
縮尺: 5000 1:5000

属性検索設定
路線個別要因 ☐ まとめて表示
☐ 更新モード
属性一覧表示

属性検索
路線個別要因 検索 ピック: 図面表示 ☐ 強調表示 ☐ 選択表示 絞り込み: キーワードを入力 開く

条件入力 CSV作成 先頭 前頁 1 件目 次頁 最終 件数: 48

NO	ラベル	解析単位	道路性質	幅員	舗装	商店街	歩道	連続性	アーケード	一方通行	歩行者専用	バス路線	状態番号	駅名称	駅距離	中
1	04361	普通住宅	その他	3.0	砂利、防塵	無し	歩道無し	行き止まり	アーケード無し	一方通行無し	歩行者専用無し		1033	JRネオ駅	557	JF
2	04370	普通住宅	その他	2.2	砂利、防塵	無し	歩道無し	行き止まり	アーケード無し	一方通行無し	歩行者専用無し		1033	JRネオ駅	583	JF
3	04571	普通住宅	その他	2.1	砂利、防塵	無し	歩道無し	行き止まり	アーケード無し	一方通行無し	歩行者専用無し		0953	JRネオ駅	813	JF
4	04680	普通住宅	その他	1.2	砂利、防塵	無し	歩道無し	行き止まり	アーケード無し	一方通行無し	歩行者専用無し		0953	JRネオ駅	684	JF
5	04700	普通住宅	その他	5.0	砂利、防塵	無し	歩道無し	行き止まり	アーケード無し	一方通行無し	歩行者専用無し		0953	JRネオ駅	856	JF

[条件] 舗装 = '00'

検索結果のみを強調

基本 レイヤ 制限 印刷 アプリ その他 住所を入力 検索 再表示 登録図管理 ログイン

地図表示設定
[2画面表示]
なし 左右 上下
公開路線図man2
写真図: なし
背景地図: なし
背景レイヤ
縮尺: 5000 1:5000

属性検索設定
路線個別要因 ☐ まとめて表示
☐ 更新モード
属性一覧表示

属性検索
路線個別要因 検索 ピック: 図面表示 ☒ 強調表示 ☐ 選択表示 絞り込み: キーワードを入力 開く

条件入力 CSV作成 先頭 前頁 1 件目 次頁 最終 件数: 48

NO	ラベル	解析単位	道路性質	幅員	舗装	商店街	歩道	連続性	アーケード	一方通行	歩行者専用	バス路線	状態番号	駅名称	駅距離	中
1	04361	普通住宅	その他	3.0	砂利、防塵	無し	歩道無し	行き止まり	アーケード無し	一方通行無し	歩行者専用無し		1033	JRネオ駅	557	JF
2	04370	普通住宅	その他	2.2	砂利、防塵	無し	歩道無し	行き止まり	アーケード無し	一方通行無し	歩行者専用無し		1033	JRネオ駅	583	JF
3	04571	普通住宅	その他	2.1	砂利、防塵	無し	歩道無し	行き止まり	アーケード無し	一方通行無し	歩行者専用無し		0953	JRネオ駅	813	JF
4	04680	普通住宅	その他	1.2	砂利、防塵	無し	歩道無し	行き止まり	アーケード無し	一方通行無し	歩行者専用無し		0953	JRネオ駅	684	JF
5	04700	普通住宅	その他	5.0	砂利、防塵	無し	歩道無し	行き止まり	アーケード無し	一方通行無し	歩行者専用無し		0953	JRネオ駅	856	JF

[条件] 舗装 = '00'

9-5 選択表示

条件検索後、選択表示に☑を入れることで、検索された地物のみの属性表示、ランク表示が行われます。
※ この機能は地物に対して、対象の属性で属性表示、ランク表示している場合のみ有効です。

属性検索

路線個別要因: ☐ 検索 ☐ ピック: ☐ 図面表示 ☐ 強調表示 ☒ 選択表示

絞り込み: キーワードを入力

条件入力 CSV作成

NO	ラベル	解析単位	道路性質	幅員	舗装	商店街	歩道	連続性	アーケード	一方通行	歩行者専用	バス路線	状態番号	駅名称	駅距離	中
1	04361	普通住宅	その他	3.0	砂利、防塵	無し	歩道無し	行き止まり	アーケード無し	一方通行無し	歩行者専用無し		1033	JRネオ駅	557	JF
2	04370	普通住宅	その他	2.2	砂利、防塵	無し	歩道無し	行き止まり	アーケード無し	一方通行無し	歩行者専用無し		1033	JRネオ駅	583	JF
3	04571	普通住宅	その他	2.1	砂利、防塵	無し	歩道無し	行き止まり	アーケード無し	一方通行無し	歩行者専用無し		0953	JRネオ駅	813	JF
4	04680	普通住宅	その他	1.2	砂利、防塵	無し	歩道無し	行き止まり	アーケード無し	一方通行無し	歩行者専用無し		0953	JRネオ駅	684	JF
5	04700	普通住宅	その他	5.0	砂利、防塵	無し	歩道無し	行き止まり	アーケード無し	一方通行無し	歩行者専用無し		0953	JRネオ駅	856	JF

[条件] 舗装 = '00'

検索結果のみを表示

属性検索

路線個別要因: ☐ 検索 ☐ ピック: ☐ 図面表示 ☐ 強調表示 ☒ 選択表示

絞り込み: キーワードを入力

条件入力 CSV作成

NO	ラベル	解析単位	道路性質	幅員	舗装	商店街	歩道	連続性	アーケード	一方通行	歩行者専用	バス路線	状態番号	駅名称	駅距離	中
1	04361	普通住宅	その他	3.0	砂利、防塵	無し	歩道無し	行き止まり	アーケード無し	一方通行無し	歩行者専用無し		1033	JRネオ駅	557	JF
2	04370	普通住宅	その他	2.2	砂利、防塵	無し	歩道無し	行き止まり	アーケード無し	一方通行無し	歩行者専用無し		1033	JRネオ駅	583	JF
3	04571	普通住宅	その他	2.1	砂利、防塵	無し	歩道無し	行き止まり	アーケード無し	一方通行無し	歩行者専用無し		0953	JRネオ駅	813	JF
4	04680	普通住宅	その他	1.2	砂利、防塵	無し	歩道無し	行き止まり	アーケード無し	一方通行無し	歩行者専用無し		0953	JRネオ駅	684	JF
5	04700	普通住宅	その他	5.0	砂利、防塵	無し	歩道無し	行き止まり	アーケード無し	一方通行無し	歩行者専用無し		0953	JRネオ駅	856	JF

[条件] 舗装 = '00'

9-6 CSV 作成

検索表示一覧データを CSV ファイルに出力する機能です。
ファイルはサーバからダウンロードします。

The screenshot shows the application interface with a map and a data table. The table has columns: NO, ラベル, 駅名, 駅位置, 道路性質, 幅員, 舗装, 商店街, 歩道, 連続性, アーケード, 一方通行, 歩行者専用, バス路線, 駅番号, 駅名称, 駅距離, 中心駅名称, 中心. The table contains 5 rows of data. A red arrow points from the 'CSV作成' button in the table to a confirmation dialog.

NO	ラベル	駅名	駅位置	道路性質	幅員	舗装	商店街	歩道	連続性	アーケード	一方通行	歩行者専用	バス路線	駅番号	駅名称	駅距離	中心駅名称	中心
1	04710	普通住宅	その他	3.5	砂利、防塵	無し	歩道無し	区画街路	アーケード無し	一方通行無し	歩行者専用無し	0953	JRネオ駅	765	JRネオ駅			
2	04750	併用住宅	歩道	6.1	砂利、防塵	無し	歩道無し	区画街路	アーケード無し	一方通行無し	歩行者専用無し	0272	JRネオ駅	620	JRネオ駅			
3	05590	普通住宅	その他	1.8	砂利、防塵	無し	歩道無し	区画街路	アーケード無し	一方通行無し	歩行者専用無し	0063	JRネオ駅	1104	JRネオ駅			
4	05591	普通住宅	その他	2.2	砂利、防塵	無し	歩道無し	区画街路	アーケード無し	一方通行無し	歩行者専用無し	0063	JRネオ駅	1143	JRネオ駅			
5	05760	普通住宅	その他	0.0	砂利、防塵	無し	歩道無し	区画街路	アーケード無し	一方通行無し	歩行者専用無し	0743	JRネオ駅	1715	JRネオ駅			

確認

CSVデータを作成します。よろしいですか？

OK キャンセル

Vデータダウンロード

CSVファイル作成 完了

データ件数 : 4317 件
ファイルサイズ: 2.88 MB

ダウンロード

閉じる

10 地物の絞り込み

表示する地物を、属性、図形で絞り込みます。
絞り込みの方法は、以下があります。

- メニューから

領域制限	表示する地物を図形（領域）で絞り込みます。
図形選択制限	選択した地物のみを表示します。
地図表示制限	表示する地物を、属性条件で絞り込みます。

- 登録画面から

属性制限	表示する地物を属性の内容で絞り込みます。 操作方法は 「20-5 属性制限設定」 を参照
------	---

領域制限	表示する地物を図形（領域）で絞り込みます。 操作方法は 「20-6 領域制限設定」 を参照
------	--

注意：絞り込みは「属性表示」、「ランク表示」、「属性一覧表示」に反映されます。

図形（領域）による絞り込み

属性（条件）による絞り込み

10-1 領域制限

表示する地物を図形（領域）で絞り込みます。

図形での絞り込みは、「領域制限」メニューから行います。

また、「20-6 領域制限設定」でも使用することが出来ます。この場合領域制限を図面として登録可能となります。

ここでは「領域制限」メニューからの操作を説明します。

表示地物に対して、「領域」の制限を設定します。

次に、ウィンドウの説明を行います。

- ① ③の対象レイヤリストの全選択解除を行います
- ② ③の対象レイヤリストの全選択を行います
- ③ 領域制限を設定するレイヤを指定します

- ④ 領域の指定方法を、「矩形・多角形・円・他レイヤ」から選択します

- ⑤ ④で指定した範囲が、③のレイヤに含まれる判定を決定します
 - 「一部包含」：図形が一部でも含まれていれば含まれていると判定する
 - 「完全包含」：図形が完全に含まれていないと含まれていると判定しない

- ⑥ 設定した領域のクリアを行います
- ⑦ 設定した領域を、地図表示ウィンドウ全体で表示します
- ⑧ 領域制限を取り消します
- ⑨ 領域制限を適用します

設定手順

- ③に領域制限を行うレイヤを選択します。

対象レイヤ:	全解除	全選択
021 町丁界		
079 目標物		
200 土地現況		
220 家屋現況		

- ④で領域範囲の選択を行います
サンプルは円：半径 40m を設定

領域範囲:
矩形
多角形
円
他レイヤ

半径: 40m

「矩形」の場合は、ブラウザ左隅のガイドに従って入力します。

領域範囲:
矩形
多角形
矩形入力 > クリック&ドラッグ
他レイヤ

「多角形」はポイントをマウスクリックで入力し、終了はダブルクリックを行います。

領域範囲:
矩形
多角形
面入力 > ダブルクリック:終了 "u":アンドゥ "r":リドゥ "Esc":再入力
他レイヤ

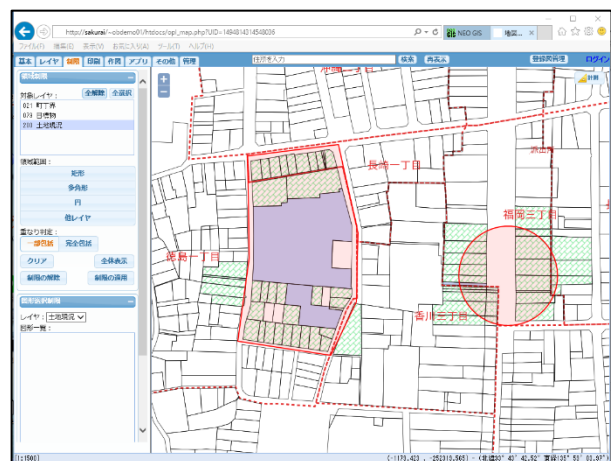
「他レイヤ」の場合は、該当レイヤを表示の「他レイヤ」から選択します。

領域範囲:
矩形
多角形
円
他レイヤ

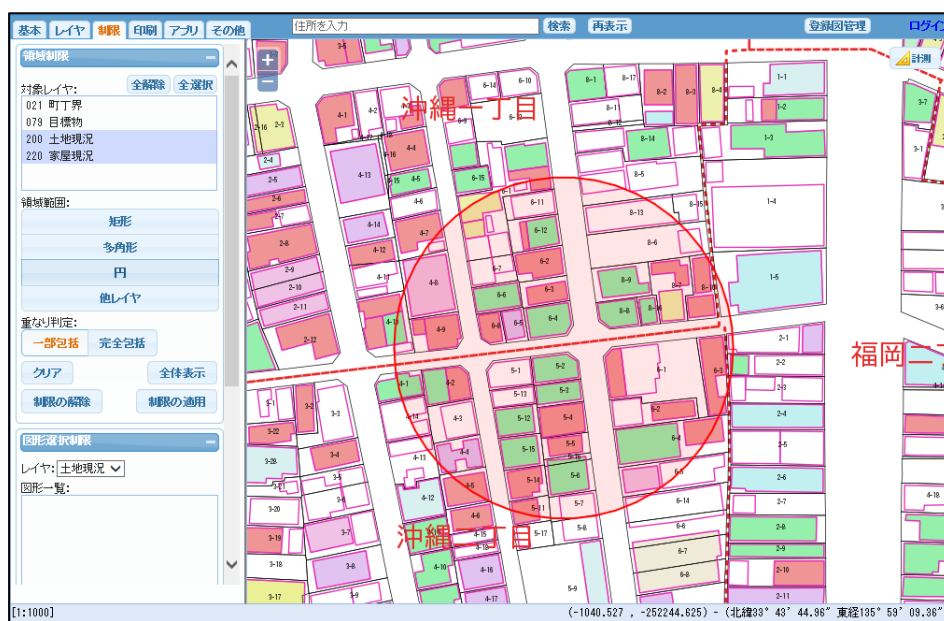
他レイヤ:

021 町丁界
200 土地現況
220 家屋現況

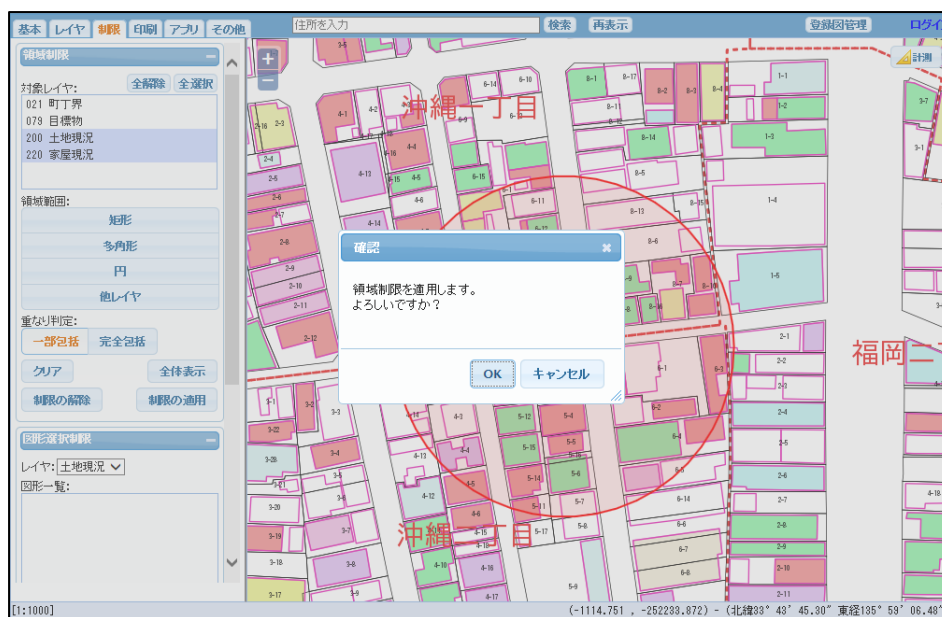
※ 領域の入力は、複数指定を行うことも可能です。



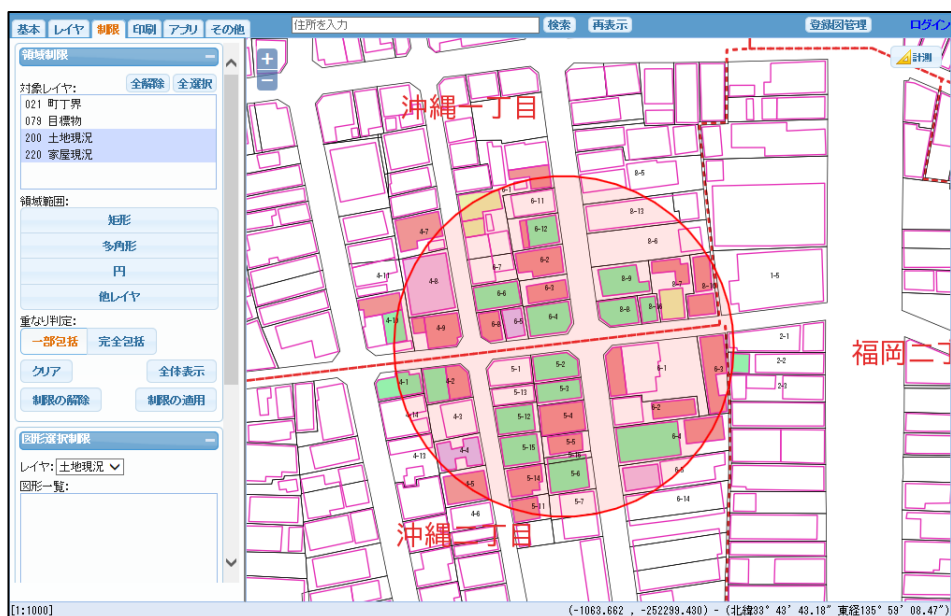
- 地図表示ウィンドウをクリックすると、半径 40m の円が設定されます。



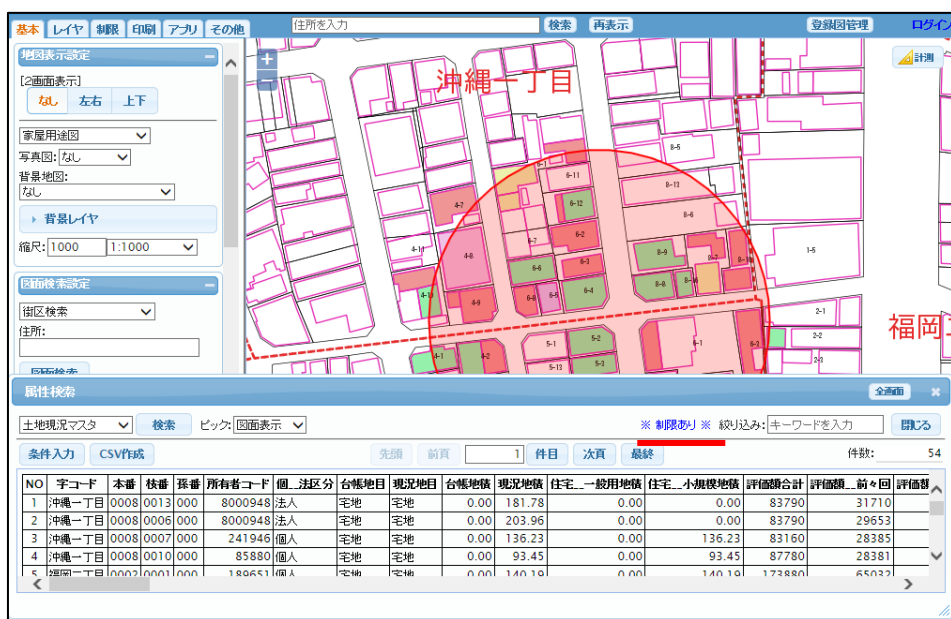
- ⑤の重なり判定を選択し、⑨の制限の適用をクリックします。
確認表示に対して「OK」をクリックします。



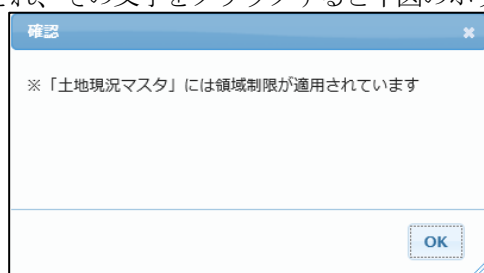
- ・領域制限が土地と家屋に設定された例です。
家屋の色塗りと、地番の表示が制限図形に掛かった物のみが表示されます。



- ・属性検索を行うと、制限がかかったデータのみが検索対象となります。



「※ 制限あり ※」と表示され、その文字をクリックすると下図のポップアップが表示されます。

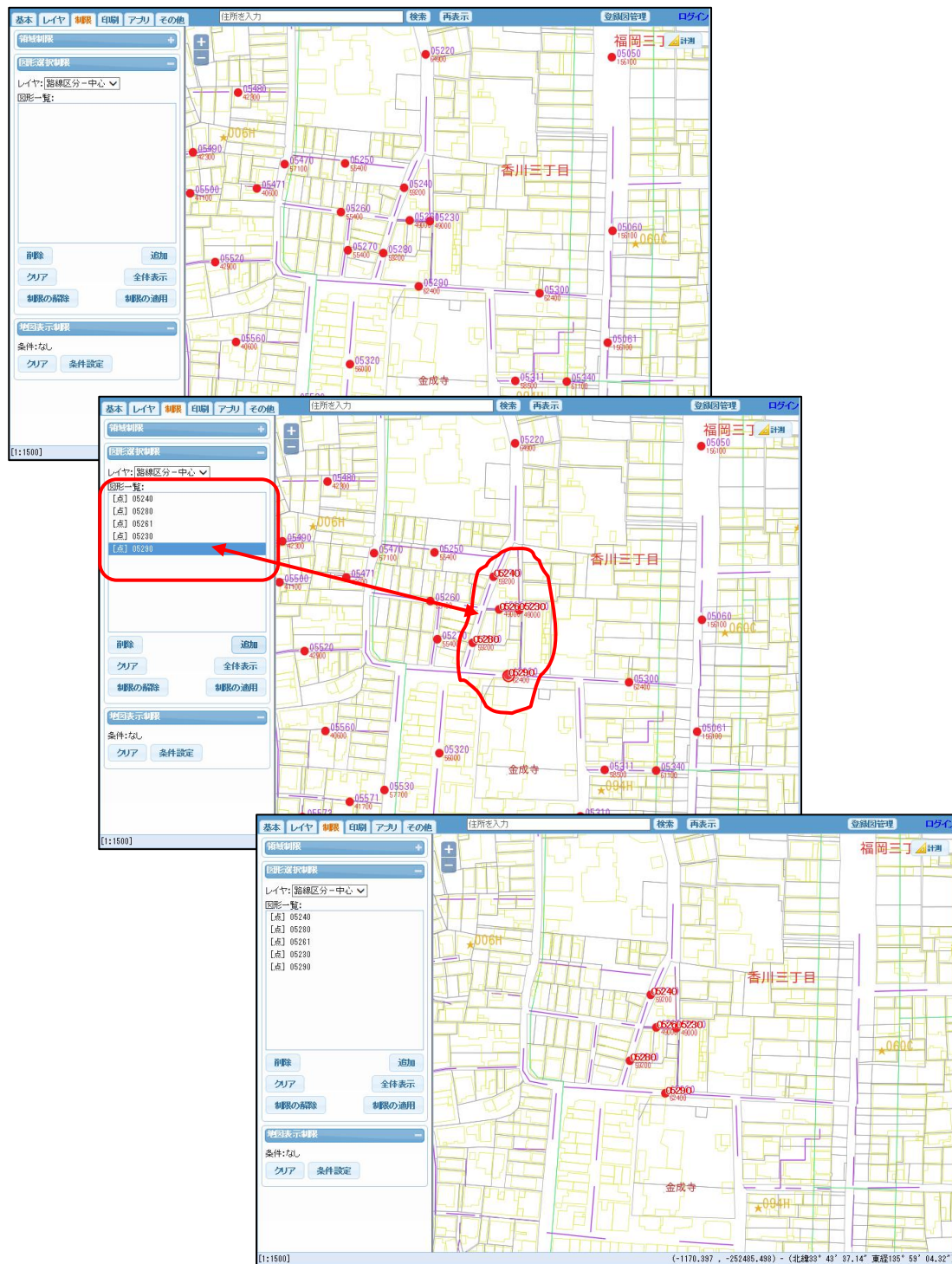


10-2 図形選択制限

選択した地物のみを表示します。

地物をマウスで直接指定する制限方法です。

制限の設定を行うレイヤから図形をマウスポックで選択し「制限の適用」クリックで、「図形一覧」にある地物のみが表示されます。



※ この制限は、前述の「10-1 領域制限」と、OR（または）の関係で適用されます。

ウィンドウの説明



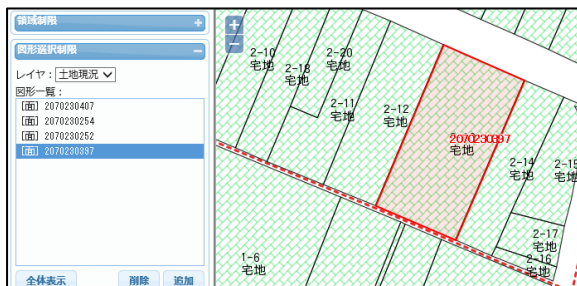
- レイヤ : 制限の設定を行うレイヤを選択します。
レイヤリストには表示中のレイヤが表示されます。
- 図形一覧 : 選択された図形の一覧が表示されます。
「追加」「削除」で増減します。
- 削除 : 「図形一覧」から、選択した図形を削除します。
- 追加 : 選択した図形を「図形一覧」に追加します。
- クリア : 「図形一覧」を全件削除します。
- 全体表示 : 「図形一覧」の図形を全件教示する様に、地図表示を自動調整します。
- 制限の解除 : 制限の解除を行います。
- 制限の適用 : 制限の適用を行います。

設定手順

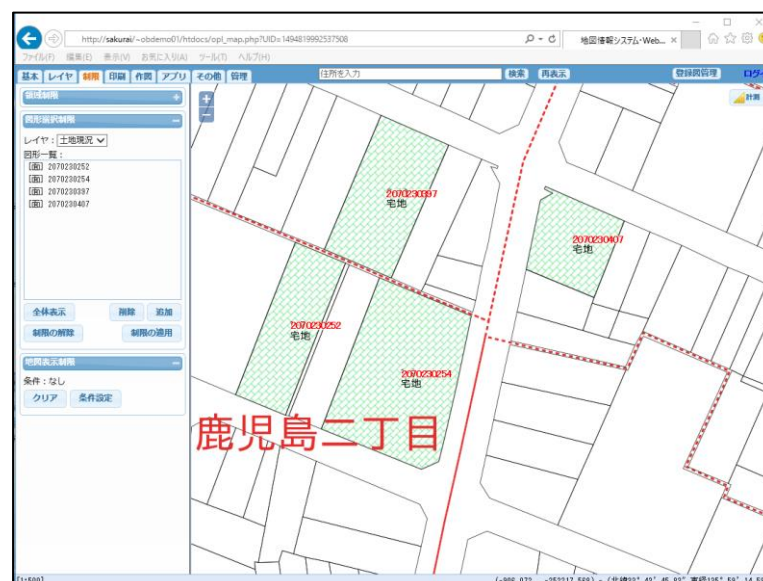
- レイヤを選択します。



- 「追加」ボタンをクリックして、対象地物をマウスで選択します。
選択するたびに、図形一覧に、その地物の図形ラベルが追加されます。



- 「制限の適用」ボタンクリックで、制限が適用されます。



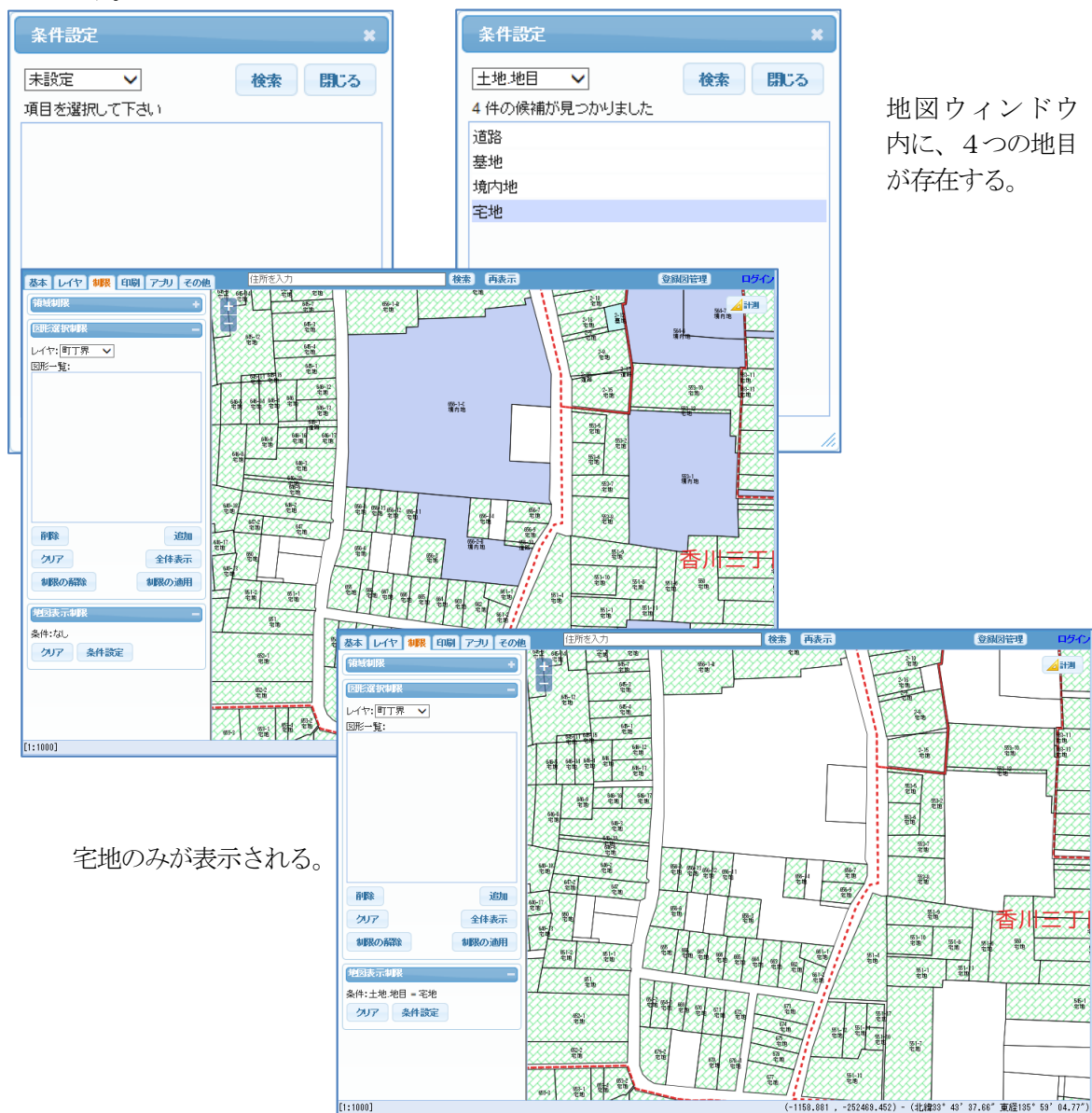
10-3 地図表示制限

表示する地物を、属性条件で絞り込みます。
特によく使用するのである属性条件を簡単に設定できる機能です。
事前に設定が必要となります。

事前に設定された条件により使用可能となるため、登録図面によっては使用することが出来ません。



「条件設定」クリックで表示されたウィンドウから、設定を行う項目を選択し、候補から対象を選択すると制限が有効となります。
リストに表示される候補は、その時点で地図表示ウィンドウに表示されている地物内に存在するデータのみとなります。



地図ウィンドウ
内に、4つの地目
が存在する。

1 1 印刷

各種図面を印刷する機能です。
印刷機能は3種類用意しています。

- ・標準印刷
- ・分割印刷
- ・レイアウト印刷

11-1 ラスタ印刷とSVG印刷

印刷方法は2種類存在します。それぞれの特徴は以下です。

ラスタ印刷： 地図表示ウィンドウと同様のイメージで印刷します。
背景地図として、OpenStreetMap、地理院地図、Google マップ等のタイル画像も印刷可能です。この場合、縮尺はレベルとなります。

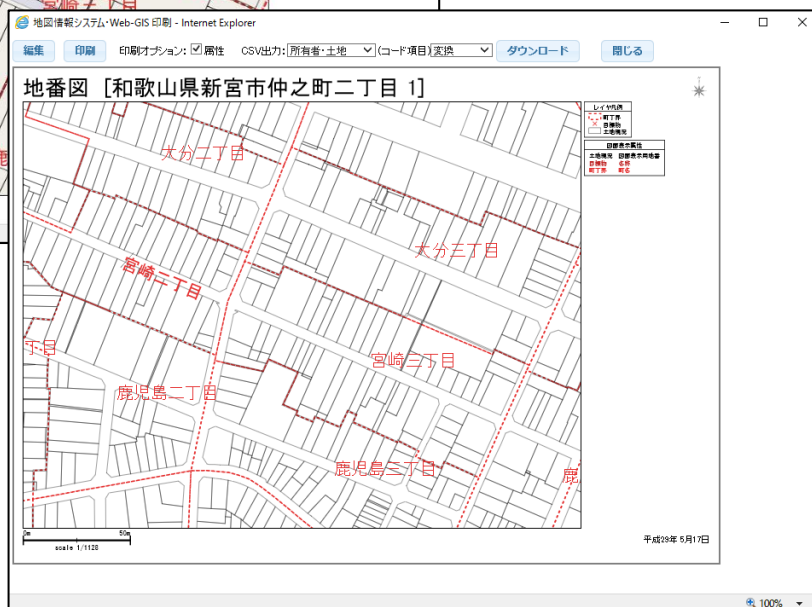
SVG印刷： 地物をSVG形式というベクタで描画し印刷します。
ベクタなので、線分、文字が鮮明となります。
背景地図として、タイル画像は印刷できません。
任意の縮尺での印刷も可能です。

※ ラスタ、ベクタの概念説明は、ここでは行いません。



ラスタ

SVG (ベクタ)



11-2 標準印刷

現在表示中の地図の中心点から、現在の縮尺で、選択された用紙に入る領域が印刷されます。
ラスタ印刷、SVG印刷、両方同じ操作となります。

印刷設定

☒ 表題 ☒ 方位 ☒ 縮尺 ☒ 注釈
☐ 凡例

用紙: A4 横

余白: 上 5 mm 下 5 mm
左 5 mm 右 5 mm

「印刷」ボタン : ラスタ印刷

「(SVG)印刷」ボタン : ベクタ印刷

修飾 : チェックボックスの☑により、表題、方位、縮尺、注釈、凡例の有無を指定可能です。

※ 方位はSVG印刷のみが有効です

用紙 : B4/A4/A3/A2/A1/A0、および、縦/横 が選択可能です。

余白 : 上下左右の余白を、mm で指定可能です。

印刷 : ボタンクリックで印刷プレビュー画面（下図）を表示します。



「編集」クリックで、表題と凡例の編集が可能となり、「編集終了」で印刷待機となります。



印刷領域内の表示データを、csv形式で出力することが可能です。
紙地図と地物リストをペアで持ち出す現地調査等で有効です。



背景地図を表示している場合、印刷時に背景を同時に印刷することが出来ます。

「編集」モードの際には地図の操作が可能となり、マウスによる、「拡大／縮小／移動」が可能です。
※ マウスによる、「拡大／縮小／移動」は、ラスト印刷時のみの機能となります。



11-3 分割印刷

切り貼りして大きな紙地図を作成できる分割印刷を行ないます

これにより、A4、A3 プリンターしかない場合でも、A1、A0 大の紙地図を作成することが可能となります

※ この印刷はラスタ印刷となります。



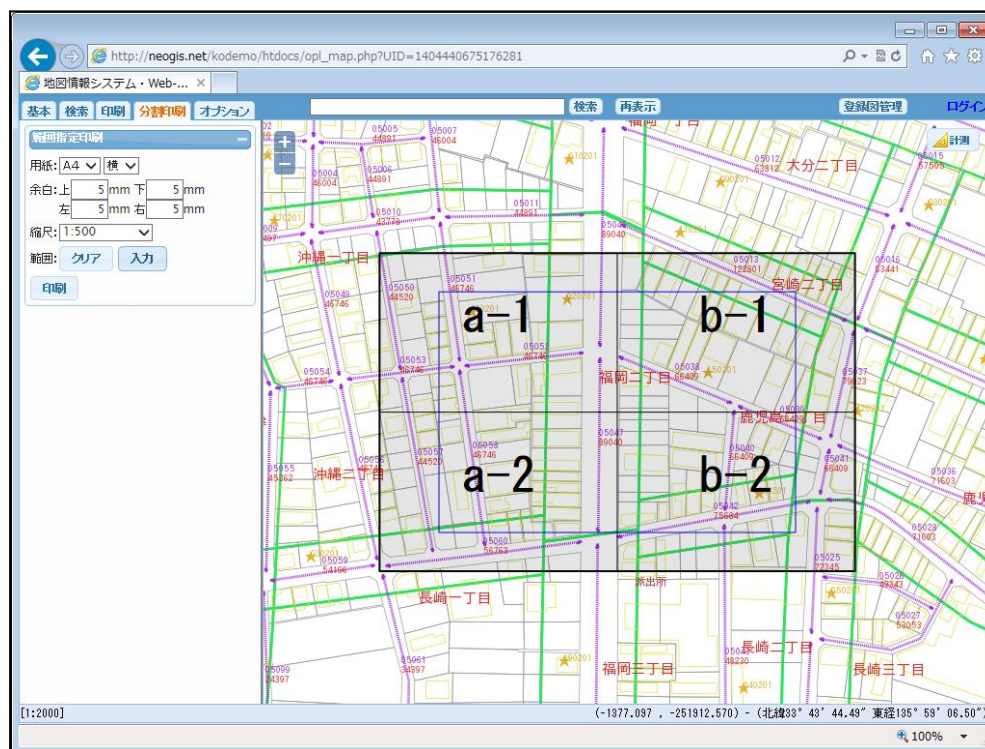
用紙 : B4/A4/A3/A2/A1/A0、および、縦/横 が選択可能です。

余白 : 上下左右の余白を、mm で指定可能です。

縮尺 : 印刷図面の縮尺を指定します。

クリア : 印刷範囲をクリアします。

入力 : 地図表示ウィンドウで、マウスを使用して印刷したい範囲をドラッグします。
指定用紙、縮尺から、その範囲を含む印刷枚数が計算され、地図表示ウィンドウに表示されます。下図では4枚の印刷となります。



印刷プレビュー画面内

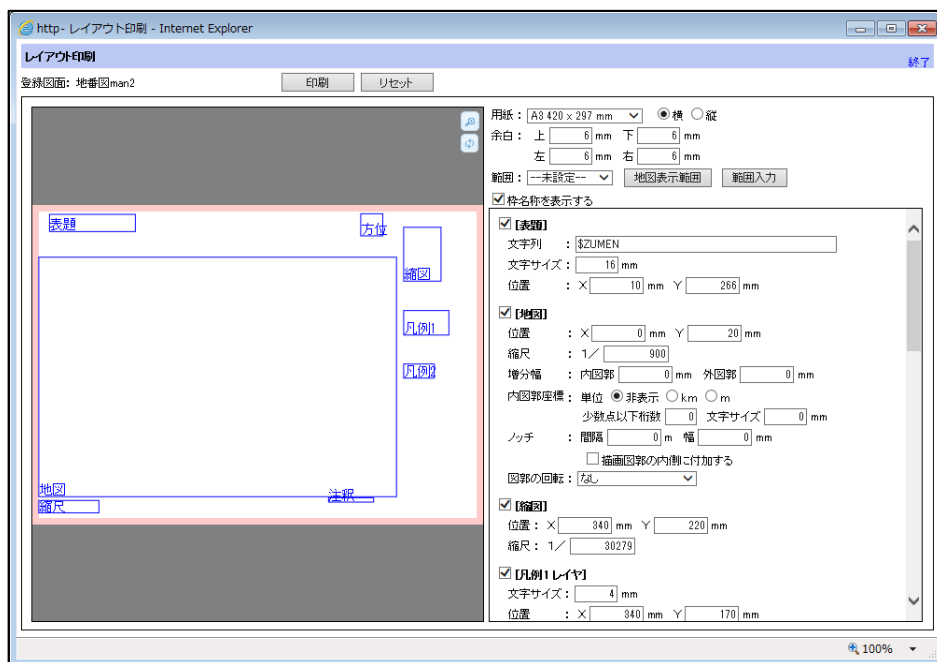
閉じる： 印刷プレビュー画面を閉じます。

11-4 レイアウト印刷

凡例、縮図、地図等を、任意にレイアウトして印刷する機能です。

※ この印刷はベクタ印刷となります。

「レイアウト印刷」 クリックで印刷設定を行うウィンドウが表示されます。



各項目の位置は数値入力も可能ですが、レイアウト画面上でマウスドラッグでも可能です。

ここで項目の設定を行ない、印刷となります。

背景地図を表示している場合、「レイアウト印刷」では表示レイヤのみが印刷対象となり、背景は印刷されません。

11-4-1 印刷設定可能な情報

- 用紙サイズ、および縦／横
- 余白
- 印刷枠

例えば、図郭等定型サイズのレイヤを指定すると、その図郭番号指定で印刷が可能となります。

11-4-2 レイアウト可能な項目

☒ 【表題】
文字列 : \$ZUMEN
文字サイズ : 16 mm
位置 : X 10 mm Y 266 mm

- 表題

印刷図の表題です。

\$ZUMEN は予約語で、登録図面名に置き換わります。

☒ **【縮図】**
 位置：X mm Y mm
 縮尺：1/

☒ **【凡例1 レイヤ】**
 文字サイズ： mm
 位置：X mm Y mm

☒ **【凡例2 属性】**
 文字サイズ： mm
 位置：X mm Y mm

☐ **【凡例3 ランク・種別(家屋現況マスタ)】**
 文字サイズ： mm
 位置：X mm Y mm

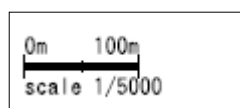
☐ **【凡例4 ランク・宅地_用途(土地現況マスタ)】**
 文字サイズ： mm
 位置：X mm Y mm

- ・縮図
索引図の指定です。
 - ・凡例1 レイヤ
レイヤの凡例です。
 - ・凡例2 属性
属性表示の凡例です。
- ※ ランク表示等をしている場合は、凡例が増えます。

☒ **【縮尺】**
 タイプ： ☒ A ☐ B
 距離： ☐ 10m ☒ 50m ☐ 100m ☐ 500m
☐ 1km ☐ 5km ☐ 10km
 文字サイズ： 縮尺値 mm 距離 mm
 位置：X mm Y mm

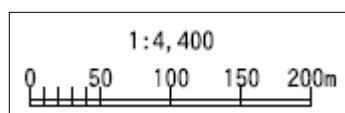
☒ **【方位】**
 タイプ： ☐ A ☒ B
 長さ： mm
 角度： (N=0.0)
 位置：X mm Y mm

- ・縮尺
タイプA

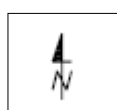


距離、文字サイズも指定可能です。

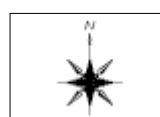
タイプB



- ・方位
タイプA



タイプB



12 凡例

凡例は表示図面の切り替えと連動して表示されます。

地図表示設定

[2画面表示]

なし 左右 上下

公開路線図 ▼

写真図: なし ▼

背景地図: なし ▼

縮尺: 1500 1:1500 ▼

凡例

レイヤ凡例

- ✓ 状況類似区分
- × 目標物
- ★ 標準地__事例地
- ☆ 路線区分
- △ 土地現況
- ▽ 家屋現況

図面表示属性

- Az 標準地__事例地 事例標準地番号
- Az 路線区分 路線番号
- Az 目標物 名称
- Az 町丁界 町名
- Az 路線区分 路線価格

地図表示設定

[2画面表示]

なし 左右 上下

住民情報登録 ▼

写真図: なし ▼

背景地図: なし ▼

縮尺: 1500 1:1500 ▼

凡例

レイヤ凡例

- △ 町丁界
- × 目標物
- △ 土地現況
- ▽ 家屋現況
- 住民情報

図面表示属性

- Az 町丁界 町名
- Az 目標物 名称
- Az 住民情報 タイトル

また、表示縮尺による表示非表示のコントロールと連動して、凡例表示も変更されます。

地図表示設定

[2画面表示]

なし 左右 上下

地番家屋図 ▼

写真図: なし ▼

背景地図: なし ▼

縮尺: 2000 1:2000 ▼

凡例

レイヤ凡例

- △ 町丁界
- × 目標物
- △ 土地現況
- 家屋現況

図面表示属性

- Az 目標物 名称
- Az 町丁界 町名

地図表示設定

[2画面表示]

なし 左右 上下

地番家屋図 ▼

写真図: なし ▼

背景地図: なし ▼

縮尺: 1500 1:1500 ▼

凡例

レイヤ凡例

- △ 町丁界
- × 目標物
- △ 土地現況
- 家屋現況

図面表示属性

- Az 土地現況 図面表示用地番
- Az 目標物 名称
- Az 町丁界 町名

1.3 レイヤON/OFF

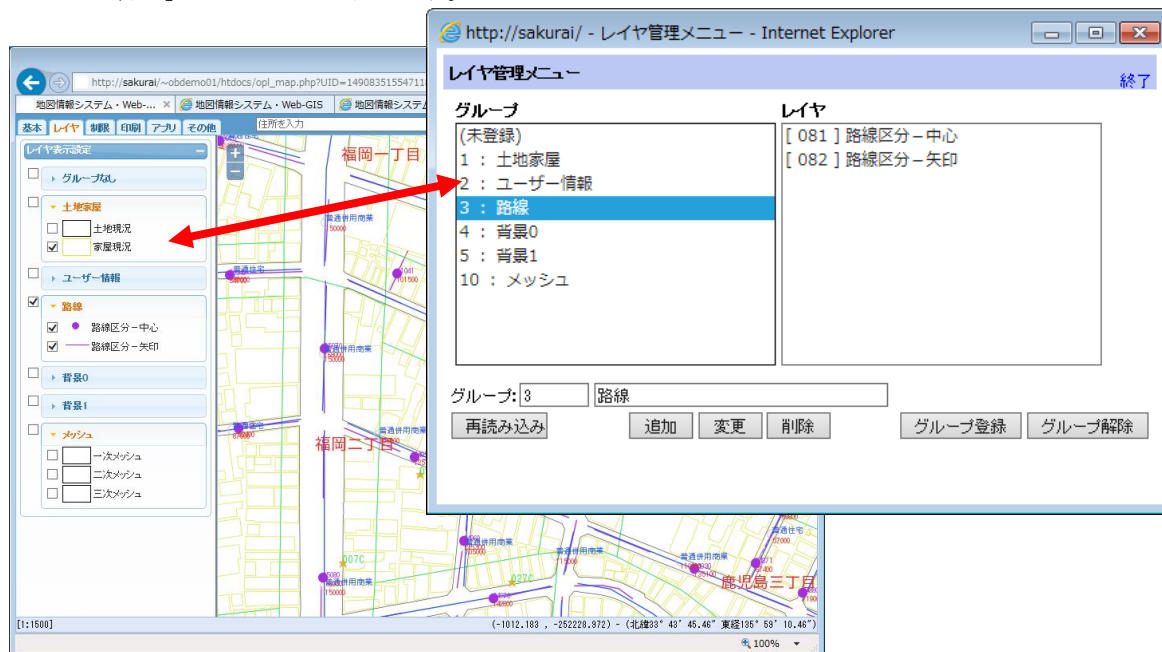
地図表示ウィンドウに表示しているレイヤの、表示／非表示を切り替えることが可能です。
呼び出した図面に設定されたレイヤ以外の、システムで利用できるレイヤの表示／非表示も可能です。

レイヤをグループとして管理している場合は、グループとしての表示切り替えが可能です。
レイヤのグループ化は、「1.4 レイヤグループ管理」を参照。



14 レイヤグループ管理

レイヤをグループとして管理するための管理メニューです。
グループ化により、レイヤON/OFFもグループで可能となります。
「レイヤ管理」ボタンから起動します。



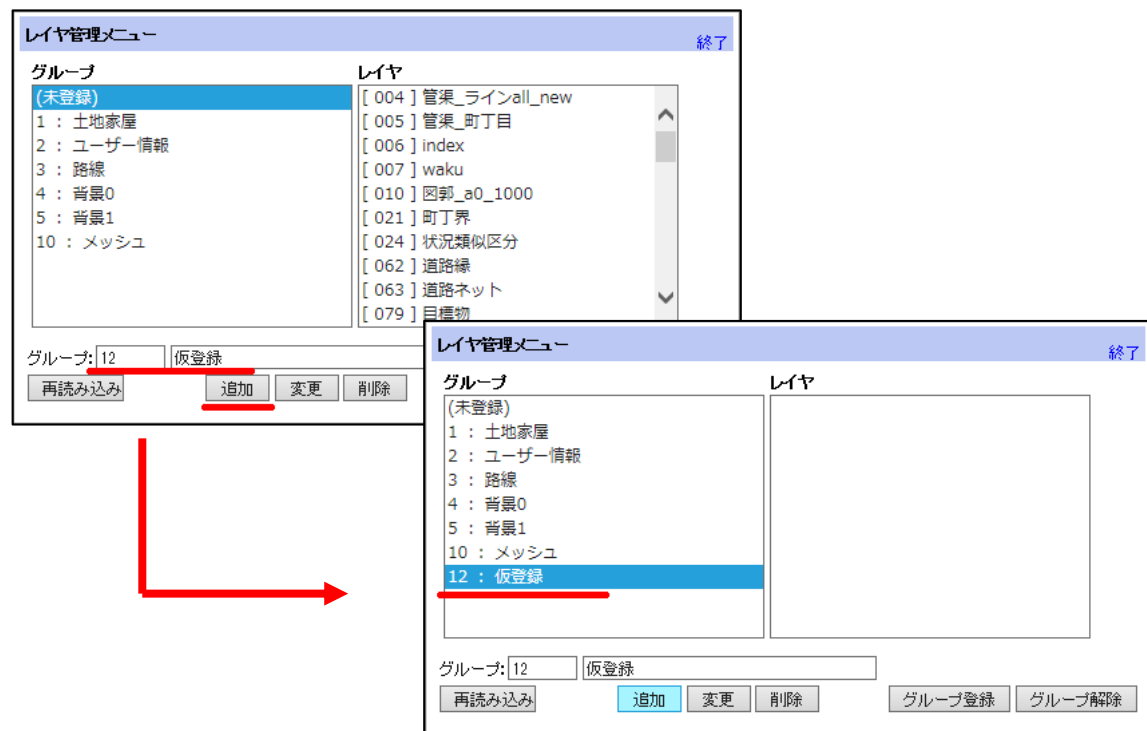
14-1 操作メニュー説明



- ① 登録済みのレイヤグループのリストを表示します。
グループとして登録されたレイヤは、(未登録)の一覧には表示されません。
- ② グループ内のレイヤリストが表示されます。
- ③ グループのIDを数値で指定します。
- ④ グループの名称を指定します。
- ⑤ グループリストを再読み込みします。
- ⑥ ③④で指定したグループを追加します。
- ⑦ ①で選択し③④で修正したグループの変更を行います。
- ⑧ ①で選択したグループを削除します。
- ⑨ グループに②の選択レイヤを登録します。
- ⑩ グループから②の選択レイヤを削除します。

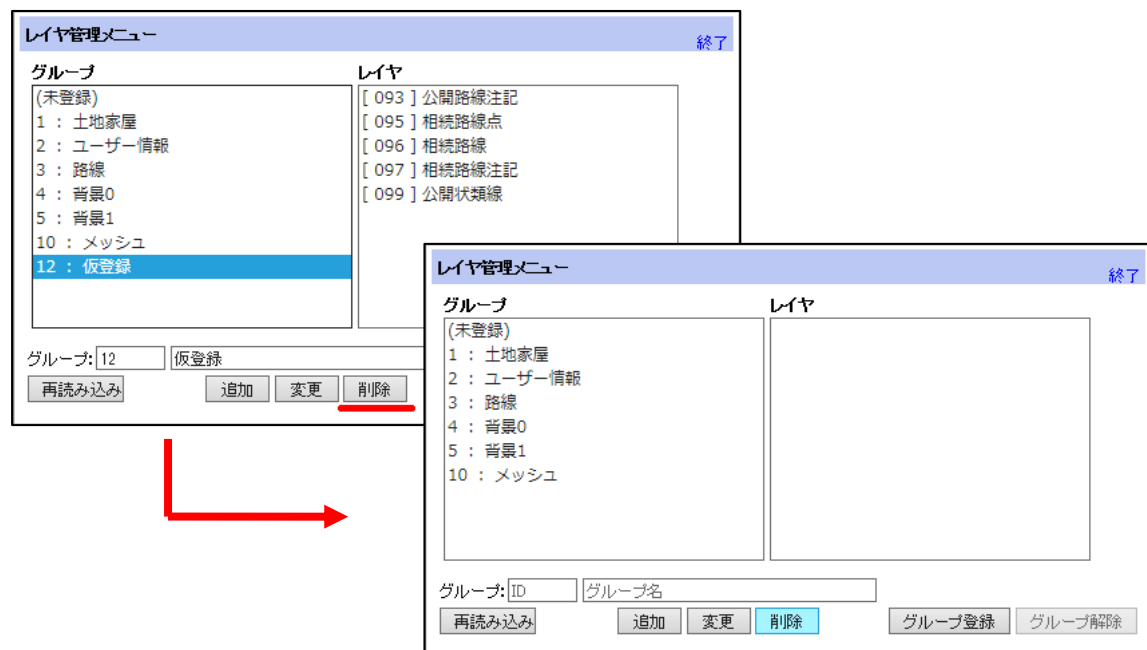
14-2 レイヤグループの追加

グループIDと名称を入力し、「追加」ボタンクリックでグループリストに新しいグループが追加されます。



14-3 レイヤグループの削除

対象のグループをリストから選択し、「削除」ボタンクリックでグループが削除されます。



14-4 レイヤグループへのレイヤ登録

(未登録) リストから登録するレイヤを選択し、「グループ登録」ボタンクリックで、登録先のグループを選択すると、レイヤの登録が行われます。

例) 12 : 仮登録 グループへ、[095] [096] [097] レイヤを登録します

レイヤ管理メニュー

グループ	レイヤ
(未登録)	[079] 目標物
1 : 土地家屋	[080] 標準地__事例地
2 : ユーザー情報	[091] 公開路線点
3 : 路線	[092] 路線公開
4 : 背景0	[093] 公開路線注記
5 : 背景1	[095] 相続路線点
10 : メッシュ	[096] 相続路線
12 : 仮登録	[097] 相続路線注記
	[099] 公開伏線
	[100] 画地計測

グループ: ID グループ名

再読み込み 追加 変更 削除 グループ登録 グループ解除

確認

グループを選択して下さい

12 : 仮登録

OK キャンセル

レイヤ管理メニュー

グループ	レイヤ
(未登録)	[095] 相続路線点
1 : 土地家屋	[096] 相続路線
2 : ユーザー情報	[097] 相続路線注記
3 : 路線	
4 : 背景0	
5 : 背景1	
10 : メッシュ	
12 : 仮登録	

グループ: 12 仮登録

再読み込み 追加 変更 削除 グループ登録 グループ解除

14-5 レイヤグループからのレイヤ削除

グループリストから対象グループを選択し、削除するレイヤを一覧から選択後「グループ解除」ボタンクリックで、グループからレイヤの解除が行われます。

例) 12 : 仮登録 グループから、[300] 地価公示 レイヤを削除します

レイヤ管理メニュー 終了

グループ	レイヤ
(未登録)	[093] 公開路線注記
1 : 土地家屋	[095] 相続路線点
2 : ユーザー情報	[096] 相続路線
3 : 路線	[097] 相続路線注記
4 : 背景0	[099] 公開状態線
5 : 背景1	[300] 地価公示
10 : メッシュ	
12 : 仮登録	

グループ: 12 仮登録

再読み込み 追加 変更 削除 グループ登録 グループ解除

確認

グループ [12 : 仮登録] から
1 個のレイヤを登録解除します
よろしいですか?

OK キャンセル

レイヤ管理メニュー 終了

グループ	レイヤ
(未登録)	[093] 公開路線注記
1 : 土地家屋	[095] 相続路線点
2 : ユーザー情報	[096] 相続路線
3 : 路線	[097] 相続路線注記
4 : 背景0	[099] 公開状態線
5 : 背景1	
10 : メッシュ	
12 : 仮登録	

グループ: 12 仮登録

再読み込み 追加 変更 削除 グループ登録 グループ解除

1 5 位置情報

地図表示ウィンドウの位置情報を表示することが出来ます。

▼ 位置情報

クリア

現在地

地点情報の取得

ストリートビュー

クリア : 表示された位置情報を消去します。

現在地 : 主にタブレット等の GPS による現在地の情報を表示します。
PC ブラウザの表示では、正確な情報とはなりません。

PC

▼ 位置情報

クリア

現在地

地点情報の取得

地点情報

住所: 東京都江東区白河四丁目 9-2 付近

経度: 139° 48' 31.68"

緯度: 35° 41' 02.40"

地理院地図の標高: 2.8m

位置情報

緯度: 35.684

経度: 139.8088

緯度・経度の誤差: 22686

高度:

高度の誤差:

方角:

速度:

取得時刻: 2017/03/29 10:27:51

コンパス

方位:

方位の誤差:

タブレット

▼ 位置情報

クリア

現在地

地点情報の取得

ストリートビュー

地点情報

住所: 東京都台東区上野三丁目 6-3 付近

経度: 139° 46' 23.54"

緯度: 35° 42' 14.55"

地理院地図の標高: 3.5m

位置情報

緯度: 35.70404212912303

経度: 139.77320600130406

緯度・経度の誤差: 65

高度: 16.367294311523438

高度の誤差: 16.32492118687905

方角:

速度:

取得時刻: 2017/03/29 11:40:14

コンパス

方位: 306.81674575805664

方位の誤差: 31

地点情報の取得 : 地図表示ウィンドウのポイントピックで、その地点の情報を表示します。

▼ 位置情報

クリア

現在地

地点情報の取得

ストリートビュー

地点情報

住所: 和歌山県新宮市仲之町一丁目 1 付近

経度: 135° 59' 15.86"

緯度: 33° 43' 45.41"

地理院地図の標高: 8m

ストリートビュー : 地図表示ウィンドウのポイントピックで、
その地点の GoogleStreetView をポップアップ表示します。

16 データ切り出し

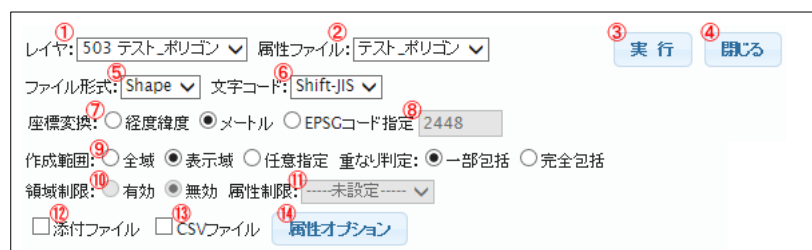
地図表示ウィンドウに表示中の地物データを、指定のファイル形式で切り出すことが出来ます。
選択したレイヤデータを指定条件で切り出し、ダウンロードを行います。

出力形式は以下の2形式です。

- KML : 地理空間情報の表示の管理などを目的とした情報をXMLで記述するものです。
Google Earth、Google Maps で扱える形式として有名です。
- Shape : G I S業界では標準と言える形式です。多くのG I Sで取り込み可能です。



操作部分説明



- ① 表示中の図面から切り出し可能なレイヤー一覧が表示されます。
- ② ①の選択レイヤにリンクした属性ファイルが選択可能です。
「未設定」から属性ファイルを選択すると、
⑫⑬⑭のオプションが使用可能です。
- ③ 切り出し処理の実行を行います。
- ④ 切り出し処理のウィンドウを閉じます。
- ⑤ 出力ファイル形式を「Shape」と「KML」から選択します。
- ⑥ 出力文字コードを選択します。

属性ファイル: -----未設定----- ▼

- ⑦ 座標変換方法の設定を行います。
- ⑧ EPSG コードの場合に設定を行います。
- ⑨ 切り出し範囲の指定を行います。
- ⑩ 図面に領域制限が適用されている場合に、切り出し時に制限の有効／無効の設定を行います。
- ⑪ 図面に属性制限が適用されている場合に、切り出し時に制限の有効／無効の設定を行います。
- ⑫ ②で選択した属性ファイルに添付ファイルがある場合に出力を行います。
- ⑬ ②で選択した属性ファイルを CSV で出力します。
- ⑭ ②で選択した属性ファイルの出力条件を設定します。

⑤で KML を選択した場合、⑦の設定が以下の様に切り替わります。

- ⑮ 出力形状を、面／線／点から選択します。
選択形状により、出力指定が変更されます。

ファイル	点	KML
形状:	面	線色:

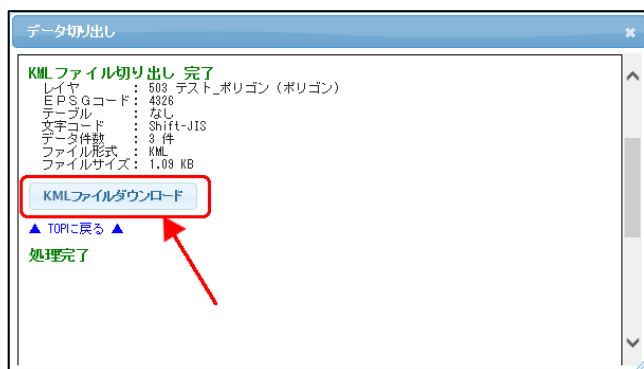
レイヤ:	503 テスト_ポリゴン	属性ファイル:	-----未設定-----	
ファイル形式:	KML	文字コード:	Shift-JIS	
⑮ 形状:	面	線色:	既定	
	線幅:	2	透過度:	50%
	面色:	既定	透過度:	50%
		☒ 塗りつぶし	☒ 外形線	
作成範囲:	☐ 全域 ☒ 表示域 ☐ 任意指定			
重なり判定:	☒ 一部包括 ☐ 完全包括			
領域制限:	☐ 有効 ☒ 無効			
属性制限:	-----未設定-----			

レイヤ:	503 テスト_ポリゴン	属性ファイル:	-----未設定-----	
ファイル形式:	KML	文字コード:	Shift-JIS	
⑮ 形状:	線	線色:	既定	
	線幅:	2	透過度:	50%
作成範囲:	☐ 全域 ☒ 表示域 ☐ 任意指定			
重なり判定:	☒ 一部包括 ☐ 完全包括			
領域制限:	☐ 有効 ☒ 無効			
属性制限:	-----未設定-----			

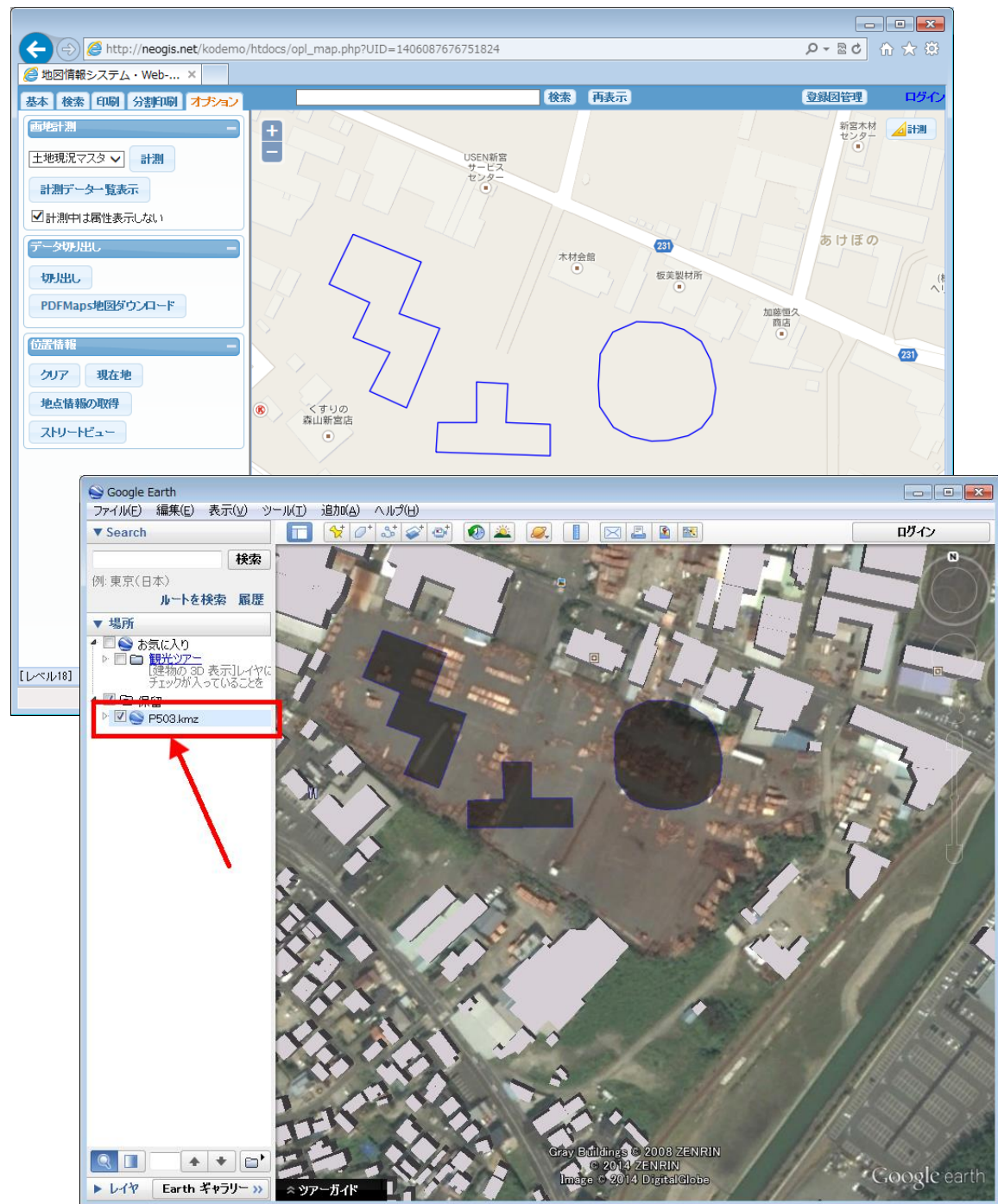
レイヤ:	503 テスト_ポリゴン	属性ファイル:	-----未設定-----
ファイル形式:	KML	文字コード:	Shift-JIS
⑮ 形状:	点	アイコン色:	赤
作成範囲:	☐ 全域 ☒ 表示域 ☐ 任意指定		
重なり判定:	☒ 一部包括 ☐ 完全包括		
領域制限:	☐ 有効 ☒ 無効		
属性制限:	-----未設定-----		

対象レイヤがポリゴンの場合、出力形状は面／線／点が指定可能で、
 対象レイヤがラインの場合、出力形状は線／点が指定可能です。
 対象レイヤがポイントの場合、出力形状は点のみが指定可能です。

切り出し実行を行うと、完了メッセージに続いてファイルダウンロードボタンが表示されます。
 ボタンクリックで、ファイルのダウンロードが可能です。



作成した切り出しファイルが KML の場合、Google Earth で読み込むことで簡単に確認が可能です。



17 地物の登録

地物（図形、属性）を登録する機能です。
特に図形の入力方法に関して説明します。
ポリゴン（面）、ライン（線）、ポイント（点）、それぞれで説明します。

17-1 地物の登録、作図、図形編集の関係

この機能は、後述の「18 作図」、「19 図形編集」とよく似た機能です。それぞれの違いを説明します。

「17 地物の登録」

地物の図形、属性を同時に登録する機能です。
登録された地物は、本システムのデータベースに登録され、
通常データ（属性ファイル、レイヤ）として扱われます。



「18 作図」

これは、本システムの図面を背景として、点、線、面のKMLを作成する機能です。
お絵かきの機能です。

作成したKMLは、ダウンロードし個人で管理します。
本システムのデータベースには登録されません。

地図として表示する場合は、そのKMLを本システム
にアップロードします。

又は、Google Earth でも表示可能です。



「19 図形編集」

地物の図形を登録する機能です。

「17 地物の登録」の図形に特化した高機能版です。

例えば、座標による正確な登録も可能です。

また、面に関しては、分割、結合、共有線分の編集等、細かな編集も可能です。



17-2 ポリゴン登録

属性ファイルを選択後、「新規登録」をクリックします。
マウスクリックで、ポリゴンの頂点を入力します。



この時、ブラウザの左下に表示されているのが入力のガイドになります。

ダブルクリックで入力終了（確定）

キーボードから "u" でアンドゥ（前のポイント入力の取り消し）

キーボードから "r" でリドゥ（前のポイント入力の取り消しをやり直し）

"Esc" キーで再入力（最初から）

※注意

このキーボード入力補助は IE8 では動作しません。

入力終了で属性の入力ウィンドウが表示されます。



属性を入力後、「追加」ボタンクリックで図形と属性の登録が完了します。

テスト_ポリゴン

追加 --図形処理選択-- 閉じる

ラベル SYSGID3

属性1 テスト

属性2 123

属性3 0 属性A

追加する添付ファイル: D:\demo\photo\eyes0 参照...

※対応形式: jpeg, gif, png, pdf, doc, xls, txt, mp4, webm, ogv

位置情報: 135.98807709,33.7296269375

確認

テスト_ポリゴンの登録が正常終了しました

OK

追加：一図形に複数の属性を
リンクさせるときに使用。

更新：属性の再更新。

削除：登録した地物の削除。

図形編集選択：登録した図形の編集。

閉じる：ウィンドウを閉じる。

テスト_ポリゴン

追加 更新 削除 --図形処理選択-- 閉じる

ラベル UC0034

属性1 テスト

属性2 123

属性3 01 属性A

--更新対象選択-- 変更 削除 追加

追加する添付ファイル: 参照...

※対応形式: jpeg, gif, png, pdf, doc, xls, txt, mp4, webm, ogv

位置情報: 135.988077107,33.729626917

17-2-1 ポリゴン入力時の補助機能

ポリゴン入力時の補助として、以下の機能を使用可能です。

この機能は、地図を平面直角座標で表示している場合のみ有効となります。

- | | | |
|---|---------|------------------------|
| ① | XY座標 | 座標直接入力 |
| ② | 相対座標 | 現在の点からの相対座標を指定して点入力 |
| ③ | 角度・距離 | 現在の点からの絶対角度、距離を指定して点入力 |
| ④ | 相対角度・距離 | 現在の点からの相対角度、距離を指定して点入力 |

座標入力

相対角度・距離 ▼

XY座標
相対座標
角度・距離
相対角度・距離

距離 : m 追加

上の場合に追加可

- ① XY座標 座標直接入力
- 座標（平面直角座標）を直接入力します。

座標入力

XY座標 ▼

X : Y : 追加

- ② 相対座標 現在の点からの相対座標を指定して点入力
- 現在の点からの距離（メートル）を指定します。

座標入力

相対座標 ▼

X : Y : 追加

※ 座標数が1点以上の場合に追加可

- ③ 角度・距離 現在の点からの絶対角度、距離を指定して点入力
- 現在の点からの絶対角度（上が90度。反時計回り）、距離を指定します。

座標入力

角度・距離 ▼

角度 : 距離 : m 追加

※ 座標数が1点以上の場合に追加可

- ④ 相対角度・距離 現在の点からの相対角度、距離を指定して点入力
現在の点からの相対角度（線の延長が0度。反時計回り）、距離を指定します

座標入力

相対角度・距離 ▼

入力完了

入力中止

角度 : 距離 : m

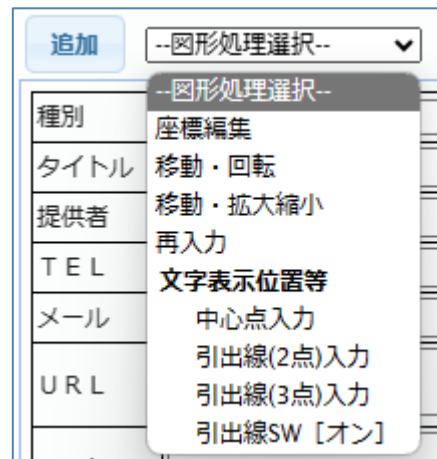
追加

※ 座標数が 2 点以上の場合に追加可

17-2-2 ポリゴン入力後の補助機能

ポリゴン入力後の補助機能として、以下の機能を使用可能です。

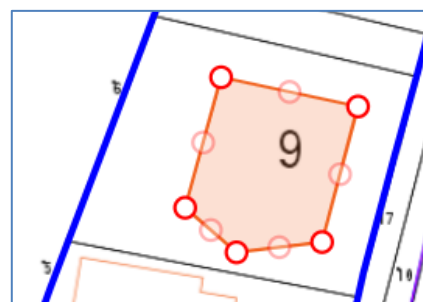
- | | |
|-----------|-------------------|
| ① 座標編集 | 図形上の各頂点、中点をマウスで修正 |
| ② 移動・回転 | 図形全体を移動、または、回転 |
| ③ 移動・拡大縮小 | 図形全体を移動、または、拡大縮小 |
| ④ 再入力 | 図形全体の再入力 |
- また、図形上に属性を表示する場合の、文字表示位置も入力可能となります。
- | | |
|-----------------|-----------------------|
| ⑤ 中心点入力 | 引出線を使用しない場合の文字表示位置の入力 |
| ⑥ 引き出し線（2点）入力 | 引出線を2点で入力 |
| ⑦ 引き出し線（3点）入力 | 引出線を3点で入力 |
| ⑧ 引き出し線 SW [オン] | 引出線の表示／非表示設定 |



- ① 座標編集 図形上の各頂点、中点をマウスで修正
図形形状の各頂点、中点に現れる○をマウスで操作し編集します。

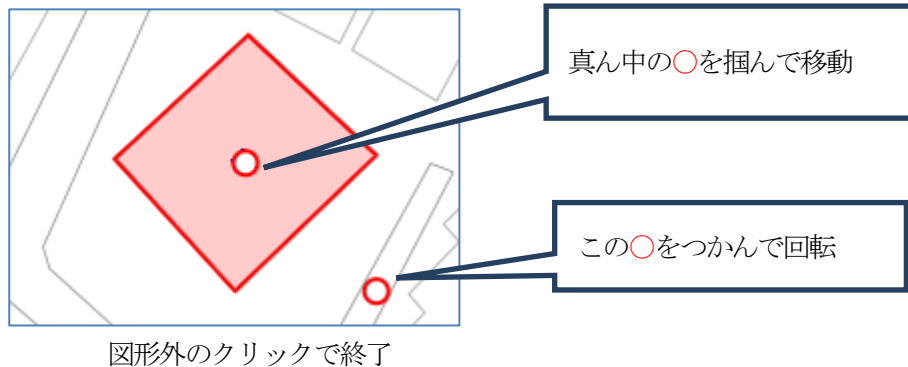
マウスで編集
○のドラッグ : 点移動
○内で"Del" : 点削除

図形外のクリックで終了



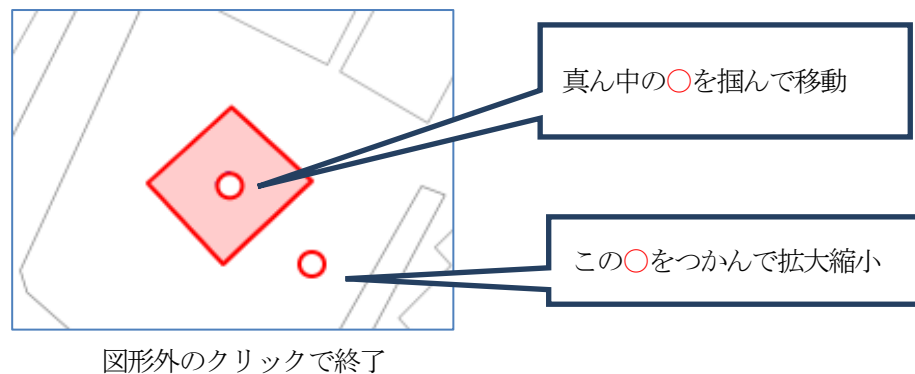
② 移動・回転

図形全体を移動、または、回転
○をマウスで操作し移動、回転を行います。



③ 移動・拡大縮小

図形全体を移動、または、拡大縮小
○をマウスで操作し移動、拡大縮小を行います。

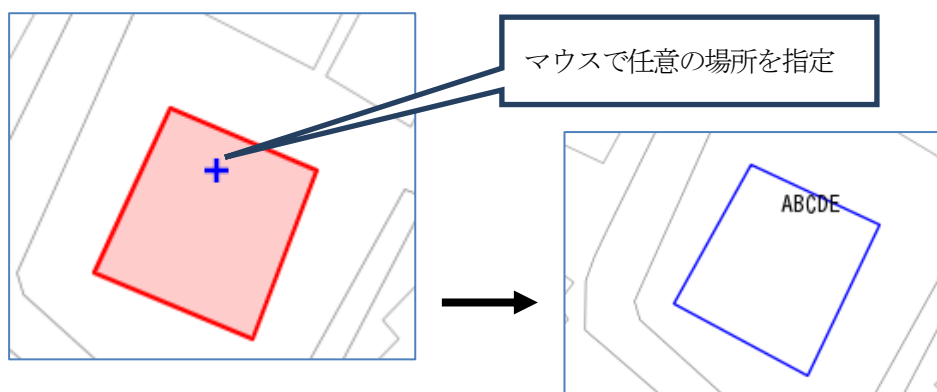


④ 再入力

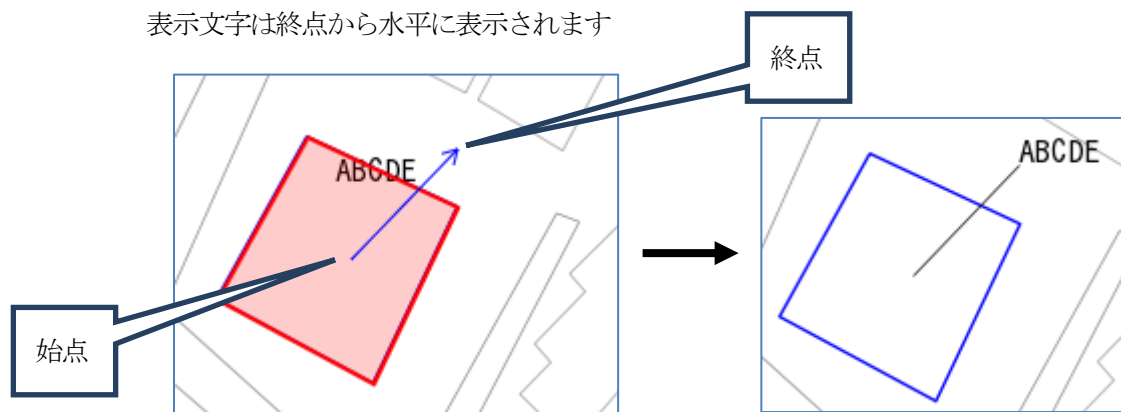
図形全体の再入力
図形を最初から再入力します。
この時は、「[17-2-1 ポリゴン入力時の補助機能](#)」は使用できません。

⑤ 中心点入力

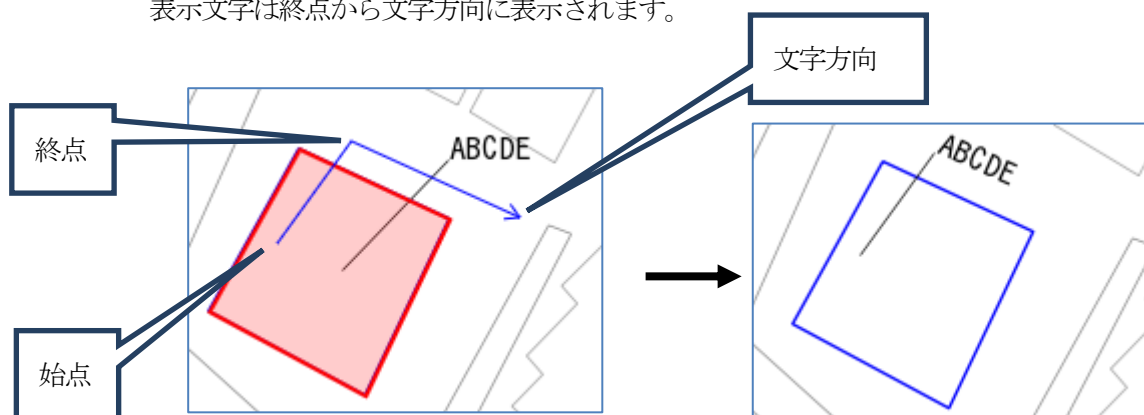
引出線を使用しない場合の文字表示位置の入力
引出線を使用しない場合の文字表示位置は、デフォルトでは、ポリゴンの重心点となります。
この機能で、重心点以外を指定可能となります。マウスで指定します。



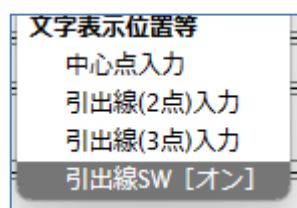
- ⑥ 引き出し線（2点）入力 引出線を2点で入力
引出線を2点（始点、終点）で指定します。
表示文字は終点から水平に表示されます



- ⑦ 引き出し線（3点）入力 引出線を3点で入力
引出線を3点（始点、終点、文字方向）で指定します。
表示文字は終点から文字方向に表示されます。

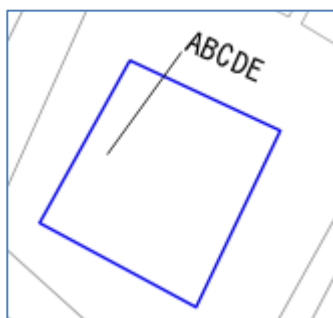


- ⑧ 引き出し線 SW [オン] 引出線の表示／非表示設定
引出線の表示／非表示を指定します。

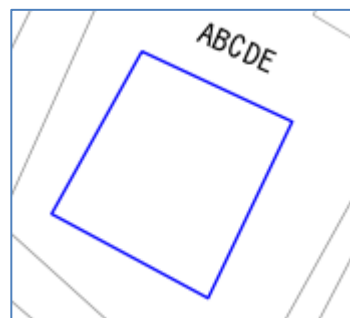


メニューは現状を表しています。
左図は、引出線表示の状態です。
この時点でメニューを選択すると、
引出線非表示となります。
オン／オフのトグルスイッチとなっています。

オン（表示）



オフ（非表示）



17-3 ポリゴン修正

登録後の地物を修正する場合は、「更新モード」に☑を入れ、対象属性ファイルを選択後、対象図形をマウスクリックで選択し、表示された属性ウィンドウから「図形処理選択」を選択して行います。

修正方法は、「[17-2-2 ポリゴン入力後の補助機能](#)」と同様です。

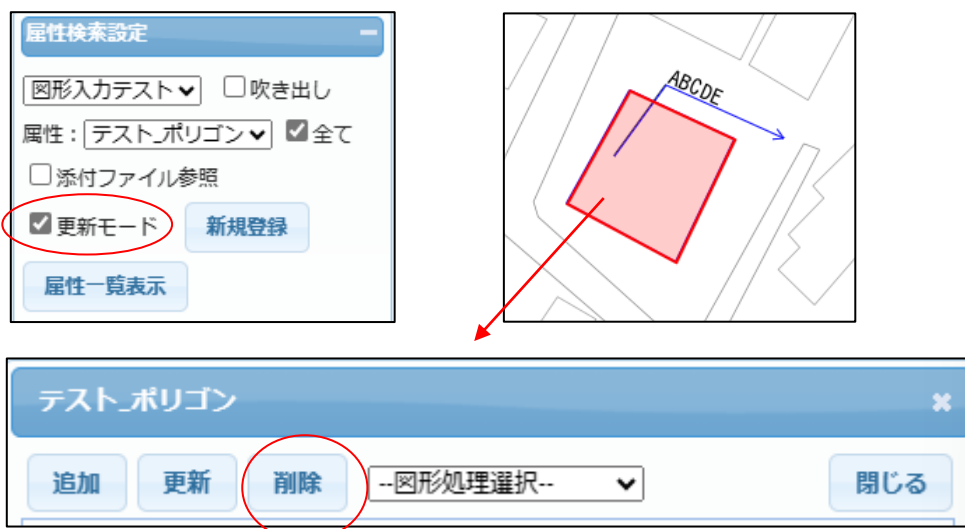


修正終了は、ポリゴンの外をマウスクリックすると属性ウィンドウが表示されるので、「更新」ボタンクリックで修正完了です。

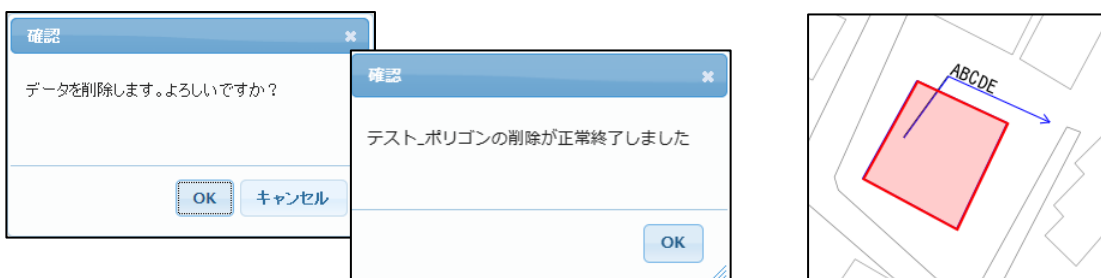
属性ウィンドウで、属性の修正も可能です。

17-4 ポリゴン削除

登録後の地物を削除する場合は、「更新モード」に☑を入れ、対象属性ファイルを選択後、対象ポリゴンをマウスクリックで選択し、表示された属性ウィンドウから「削除」をクリックします。



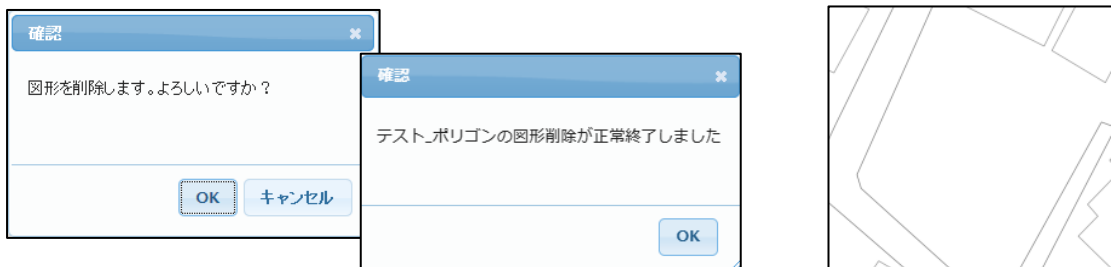
データを削除しますかの問いに「OK」クリックで、まず属性データが削除されます。



続いて「図形削除」をクリックします。



図形を削除しますかの問いに「OK」クリックで、図形が削除されます。



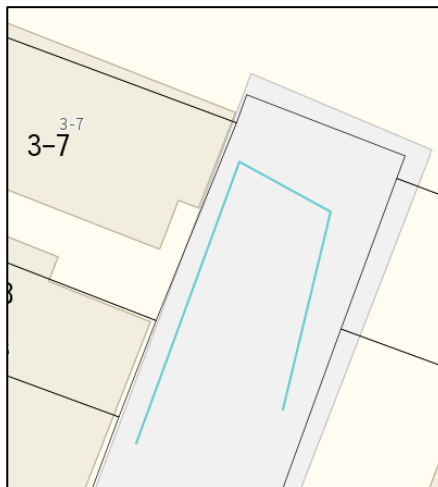
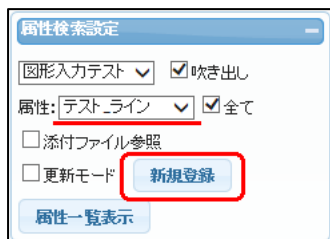
以上のように、図形削除は「属性」→「図形」と順に削除する必要があります。

属性のみを削除しますと、図形が残ってしまいます。

1つの図形に複数の属性がリンクすることを想定していますので、この操作方法となっています。

17-5 ライン登録

属性ファイルを選択後、「新規登録」をクリックします。
マウスクリックで、ラインの頂点を入力します。



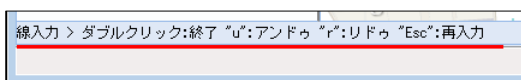
この時、ブラウザの左下に表示されているのが入力のガイドになります。

ダブルクリックで入力終了（確定）

キーボードから "u" でアンドゥ（前のポイント入力の取り消し）

キーボードから "r" でリドゥ（前のポイント入力の取り消しをやり直し）

"Esc" キーで再入力（最初から）



※注意

このキーボード入力補助は IE8 では動作しません。

入力終了で属性の入力ウィンドウが表示されます。



テスト_ライン

追加

--図形処理選択--

閉じる

ラベル	SYSNGID5		
属性 1			
属性 2			
属性 3			▼

追加する添付ファイル: 参照...

※対応形式 : jpeg, gif, png, pdf, doc, xls, txt, mp4, webm, ogv

位置情報 : 135.989170224,33.730291729

属性を入力後、「追加」ボタンクリックで図形と属性の登録が完了します。

テスト_ライン

追加 --図形処理選択-- 閉じる

ラベル SYSNGID5

属性1 テストライン

属性2 999

属性3 01 属性A

追加する添付ファイル: D:\demo\photo\eyes0 参照...

※対応形式: jpeg, gif, png, pdf, doc, xls, txt, mp4, webm, ogv

位置情報: 135.989170224,33.730291729

確認

テスト_ラインの登録が正常終了しました

OK

追加：一図形に複数の属性を
リンクさせるときに使用。

更新：属性の再更新。

削除：登録した地物の削除。

図形編集：登録した図形の編集。

閉じる：ウィンドウを閉じる。

テスト_ライン

追加 更新 削除 --図形処理選択-- 閉じる

ラベル UG0035

属性1 テストライン

属性2 999

属性3 01 属性A

--更新対象選択-- 変更 削除 追加

追加する添付ファイル: 参照...

※対応形式: jpeg, gif, png, pdf, doc, xls, txt, mp4, webm, ogv

位置情報: 135.989170241,33.7302917085

17-5-1 ライン入力時、入力後の補助機能

ライン入力時、入力後の補助として、ポリゴン同様の機能を使用可能です。
下記を参照願います。

[「17-2-1 ポリゴン入力時の補助機能」](#)

[「17-2-2 ポリゴン入力後の補助機能」](#)

17-6 ライン修正

登録後の地物を修正する場合は、「更新モード」に☑を入れ、対象属性ファイルを選択後、対象図形をマウスクリックで選択し、表示された属性ウィンドウから「図形処理選択」を選択して行います。

修正方法は、ラインの場合も、「[17-2-2 ポリゴン入力後の補助機能](#)」と同様です。



修正終了は、ラインの外をマウスクリックすると属性ウィンドウが表示されるので、「更新」ボタンクリックで修正完了です。

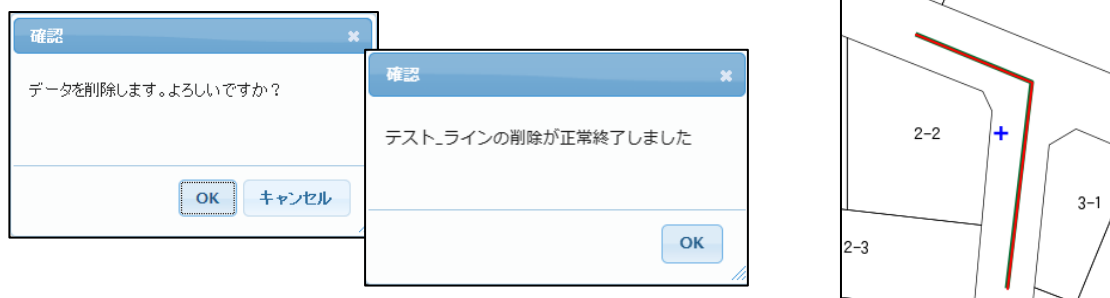
属性ウィンドウで、属性の修正も可能です。

17-7 ライン削除

登録後の地物を削除する場合は、「更新モード」に☑を入れ、対象属性ファイルを選択後、対象ラインをマウスクリックで選択し、表示された属性ウィンドウから「削除」をクリックします。



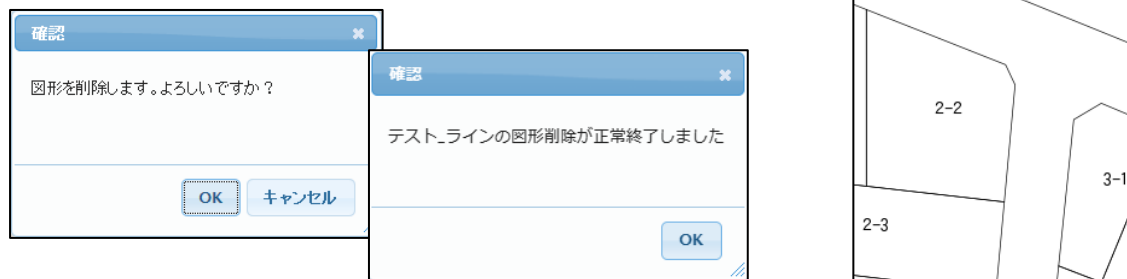
データを削除しますかの問いに「OK」クリックで、まず属性データが削除されます。



続いて「図形削除」をクリックします。



図形を削除しますかの問いに「OK」クリックで、図形が削除されます。



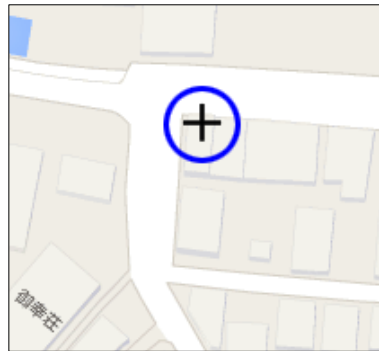
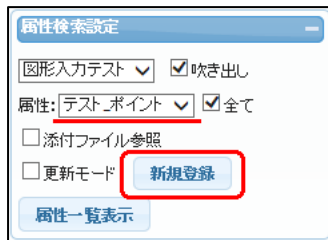
以上のように、図形削除は「属性」→「図形」と順に削除する必要があります。

属性のみを削除しますと、図形が残ってしまいます。

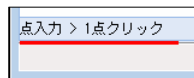
1つの図形に複数の属性がリンクすることを想定していますので、この操作方法となっています。

17-8 ポイント登録

属性ファイルを選択後、「新規登録」をクリックします。
マウスクリックで、ポイントを入力します。



この時、ブラウザの左下に表示されているのが入力のガイドになります。
ポリゴン・ラインと異なり、ポイントはクリックすることで入力終了（確定）となります。



入力終了で属性の入力ウィンドウが表示されます。



テストポイント	
追加	--図形処理選択--
ラベル	SYSNGID6
属性1	
属性2	
属性3	
追加する添付ファイル: 参照...	
※対応形式: jpeg, gif, png, pdf, doc, xls, txt, mp4, webm, ogv	
位置情報: 135.989253975,33.7302974469	

属性を入力後、「追加」ボタンクリックで図形と属性の登録が完了します。

追加：一図形に複数の属性を
リンクさせるときに使用。

更新：属性の再更新。

削除：登録した地物の削除。

図形編集選択：登録した図形の編集。

閉じる：ウィンドウを閉じる。

17-8-1 ポイント入力時、入力後の補助機能

ポイント入力時、入力後の補助として、ポリゴン同様の機能を使用可能です。
下記を参照願います。

[「17-2-1 ポリゴン入力時の補助機能」](#)

[「17-2-2 ポリゴン入力後の補助機能」](#)

ただし、ポイントの場合、機能は右図に限定
されます。

17-9 ポイント修正

登録後の地物を修正する場合は、「更新モード」に☑を入れ、対象属性ファイルを選択後、対象図形をマウスクリックで選択し、表示された属性ウィンドウから「図形処理選択」を選択して行います。

修正方法は、ポイントの場合も、「[17-2-2 ポリゴン入力後の補助機能](#)」と同様です。



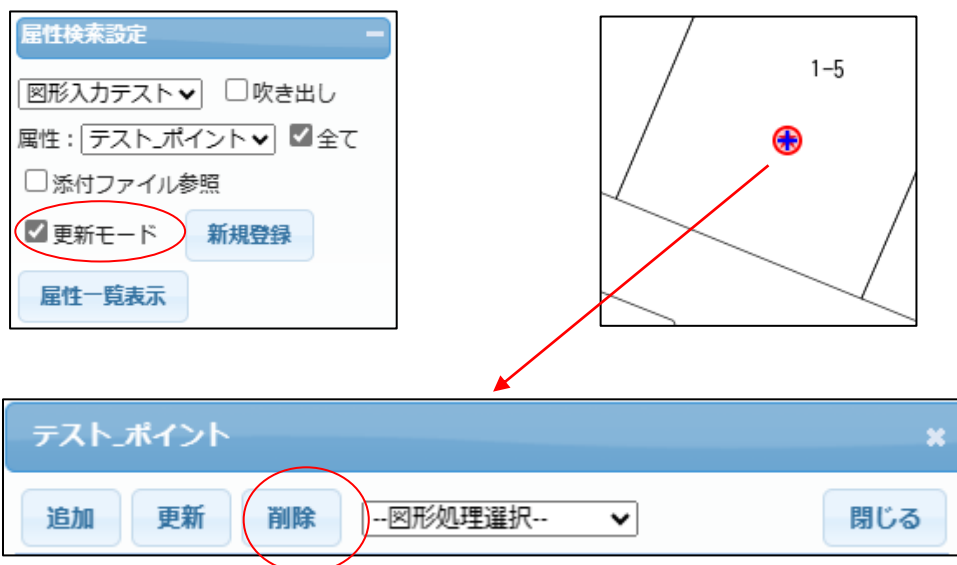
図形の編集は、ポイントの場合、再入力のみとなります。

マウスで修正後の位置をクリックすると属性ウィンドウが表示されるので、「更新」ボタンクリックで修正完了です。

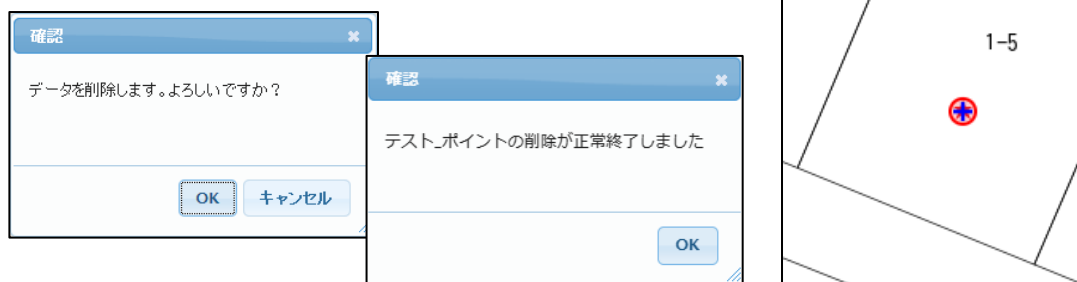
属性ウィンドウで、属性の修正も可能です。

17-10 ポイント削除

登録後の地物を削除する場合は、「更新モード」に☑を入れ、対象属性ファイルを選択後、対象ポイントをマウスクリックで選択し、表示された属性ウィンドウから「削除」をクリックします。



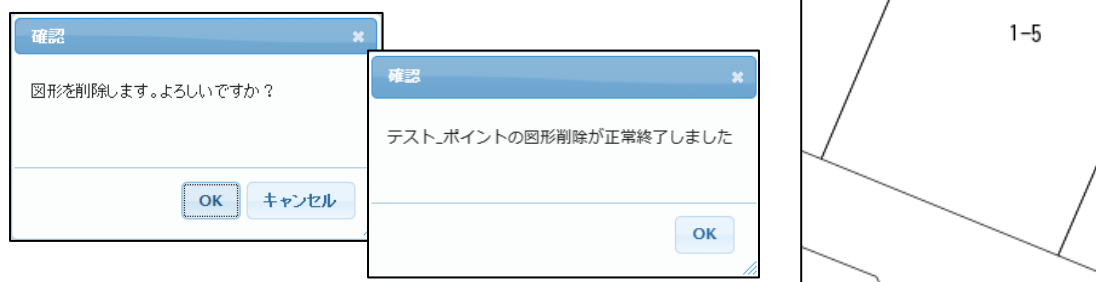
データを削除しますかの問いに「OK」クリックで、まず属性データが削除されます。



続いて「図形削除」をクリックします。



図形を削除しますかの問いに「OK」クリックで、図形が削除されます。



以上のように、図形削除は「属性」→「図形」と順に削除する必要があります。

属性のみを削除しますと、図形が残ってしまいます。

1つの図形に複数の属性がリンクすることを想定していますので、この操作方法となっています。

18 作図

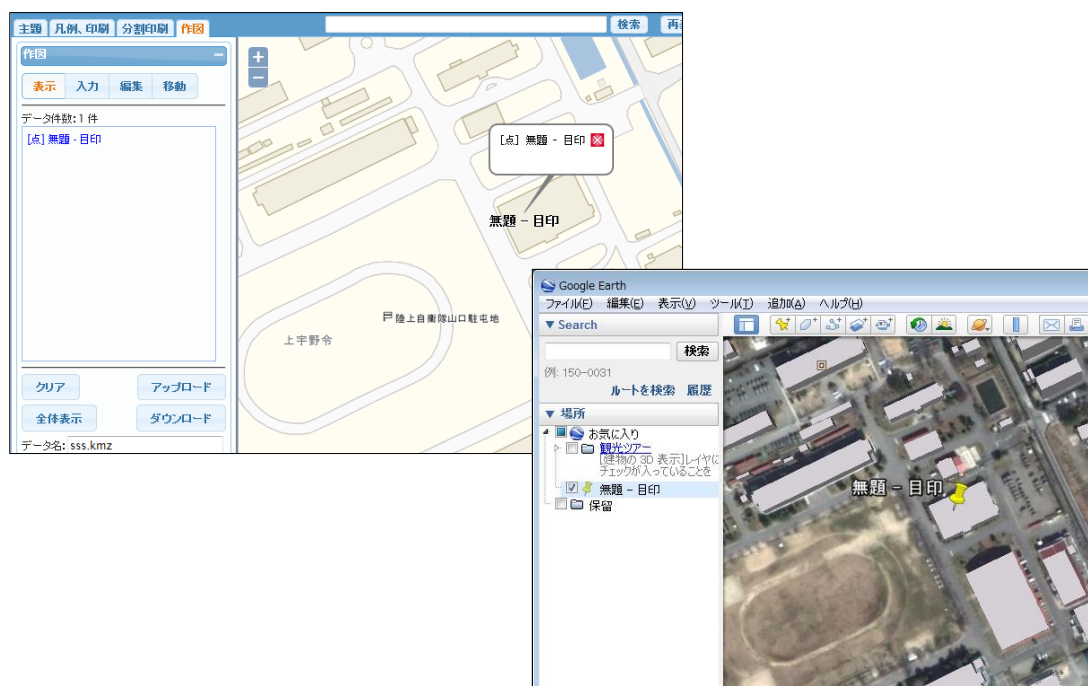
本システムの図面を背景として、点、線、面のKMLを作成する機能です。お絵かきの機能です。作成したKMLは、ダウンロードし個人で管理します。本システムのデータベースには登録されません。地図として表示する場合は、そのKMLを本システムにアップロードします。又は、Google Earth でも表示可能です。また、オプションにより、レイヤ管理も可能です。

18-1 作図機能

「作図」タブの、「作図」から、作図を行います。
提供される作図機能は、点・線・面の入力編集と入力図形の情報編集機能です。

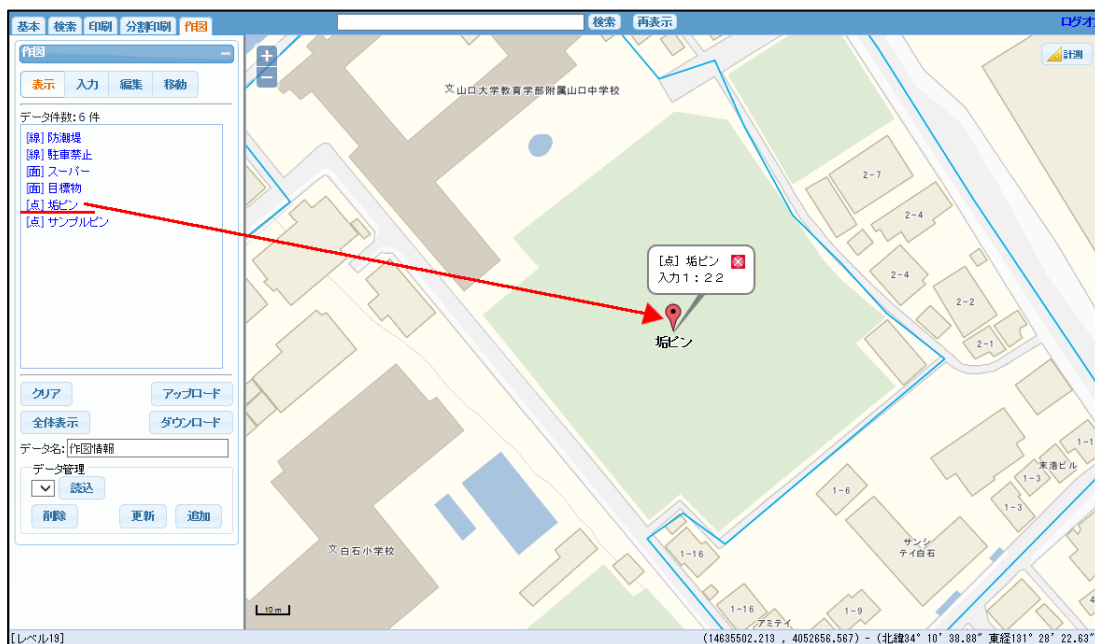


入力した情報は、KML 形式のファイルでダウンロードすることが出来ます。
ダウンロードした KML ファイルは、アップロードすることで再度編集することが出来ます。
ユーザーが GoogleEarth 等で別途作成した KML ファイルを使用することも可能です。

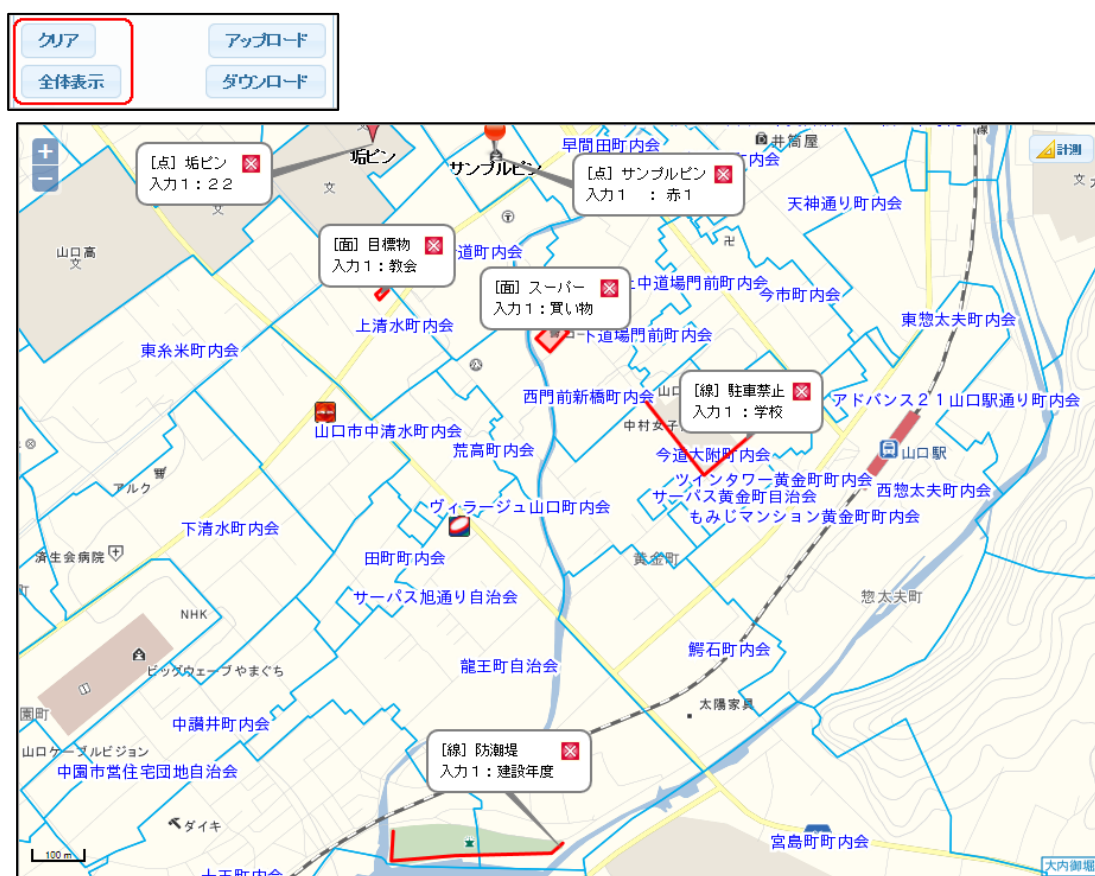


18-2 表示

作図された図形は「表示」で、検索表示可能です。



「全体表示」ボタンクリックで、表示リスト上のデータすべてを、地図表示ウィンドウに表示します。
「クリア」ボタンクリックで、表示データをすべて削除します。



18-3 入力

18-3-1 点入力

「入力」から「点」を選択します。

The dialog box '作図' (Create) has tabs for '表示' (Display), '入力' (Input), '編集' (Edit), and '移動' (Move). Under the '入力' tab, there are sub-tabs for '点' (Point), '線' (Line), and '面' (Area). The '点' sub-tab is active, showing fields for 'アイコン:' (Icon), 'アイコン拡大率:' (Icon enlargement rate), 'ラベル色:' (Label color), 'ラベル透過度:' (Label transparency), 'ラベル拡大率:' (Label enlargement rate), 'タイトル:' (Title), and '名称:' (Name). Callouts point to these fields with the following descriptions:

- クリックでアイコン選択ウィンドウが表示されます (Click to display the icon selection window)
- 表示するアイコンの拡大率を指定します (Specify the enlargement rate of the icon to be displayed)
- 表示するラベルの色を指定します (Specify the color of the label to be displayed)
- 表示するラベルの透過度を指定します (Specify the transparency of the label to be displayed)
- 表示するラベルの拡大率を指定します (Specify the enlargement rate of the label to be displayed)
- 表示するラベルのタイトルを入力します (Enter the title of the label to be displayed)
- 表示するラベルの名称を入力します (Enter the name of the label to be displayed)

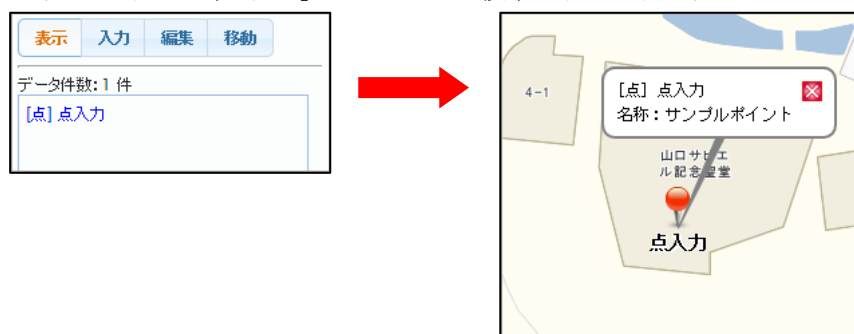
作成する「アイコン」を選択し、表示させる「タイトル」「名称」を入力後、「地図表示ウィンドウ」上の該当箇所でマウスクリックで入力を行います。

The workflow is shown in three steps:

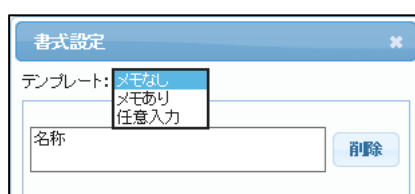
- The '点入力' (Point Input) dialog box is shown with the 'アイコン:' field selected. A red arrow points from this field to the 'アイコン選択' (Icon Selection) window.
- The 'アイコン選択' (Icon Selection) window is shown, displaying a grid of various icons. A red arrow points from the selected icon (a red pin) back to the 'アイコン:' field in the '点入力' dialog box.
- The '点入力' dialog box is shown again, now with the 'タイトル:' field set to '点入力' and the '名称:' field set to 'サンプルポイント'. A red arrow points from this dialog box to the final map display.

The final map display shows a map with a red pin icon placed on a location. The pin is labeled '点入力' (Point Input). The map also shows other labels like '4-1' and '山口サビエル記念聖堂' (Yamaguchi Sabier Memorial Church).

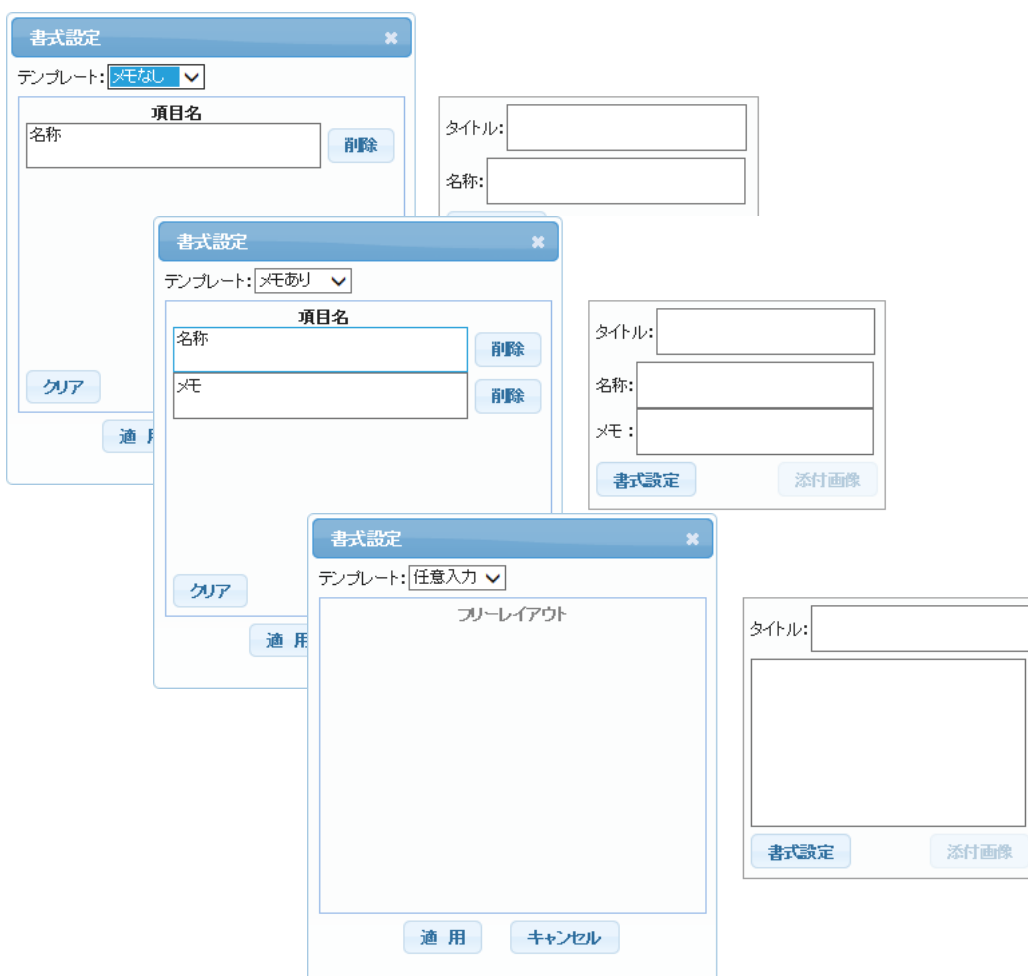
登録された図形は、「表示」のリストから検索参照が可能です



「書式設定」では、属性情報の書式を変更することが出来ます。
「書式設定」ボタンクリックで書式設定ウィンドウが表示されます。
テンプレートは「メモなし」「メモあり」「任意入力」の3種が用意されています。



テンプレートを選択・適用すると、表示データ入力フィールドが変更されます。



「書式設定」ウィンドウで、「追加」ボタンクリックで「表示項目」を追加することができます。

「追加」ボタンをクリックすると、項目名一覧にフィールドが追加されます。

書式設定

テンプレート: メモなし

項目名

名称	削除
項目1	削除
項目2	削除

クリア 追加 適用 キャンセル

追加されたフィールドに項目名称を入力し、「適用」クリックで表示データ入力フィールドが変更されます。

修正された項目定義は「カスタムセット」のテンプレート名で管理されます。

書式設定

テンプレート: カスタムセット

項目名

名称	削除
項目1	削除
項目2	削除

クリア 追加 適用 キャンセル

タイトル:

名称:

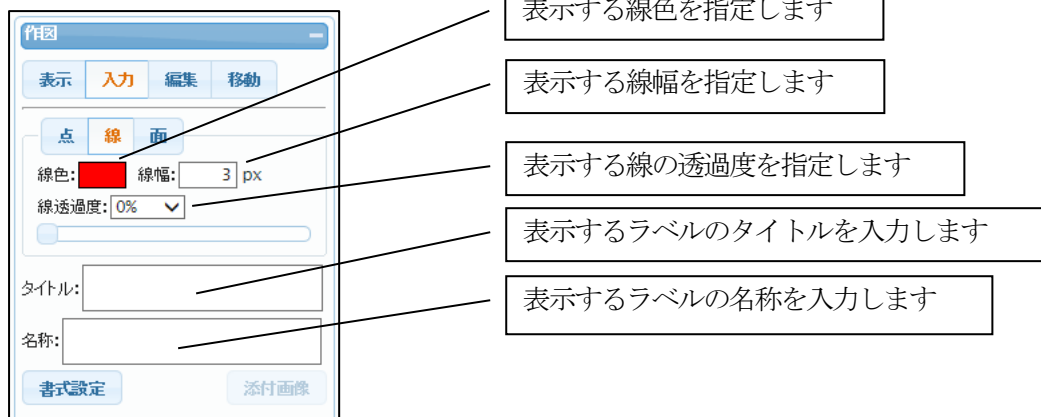
項目1:

項目2:

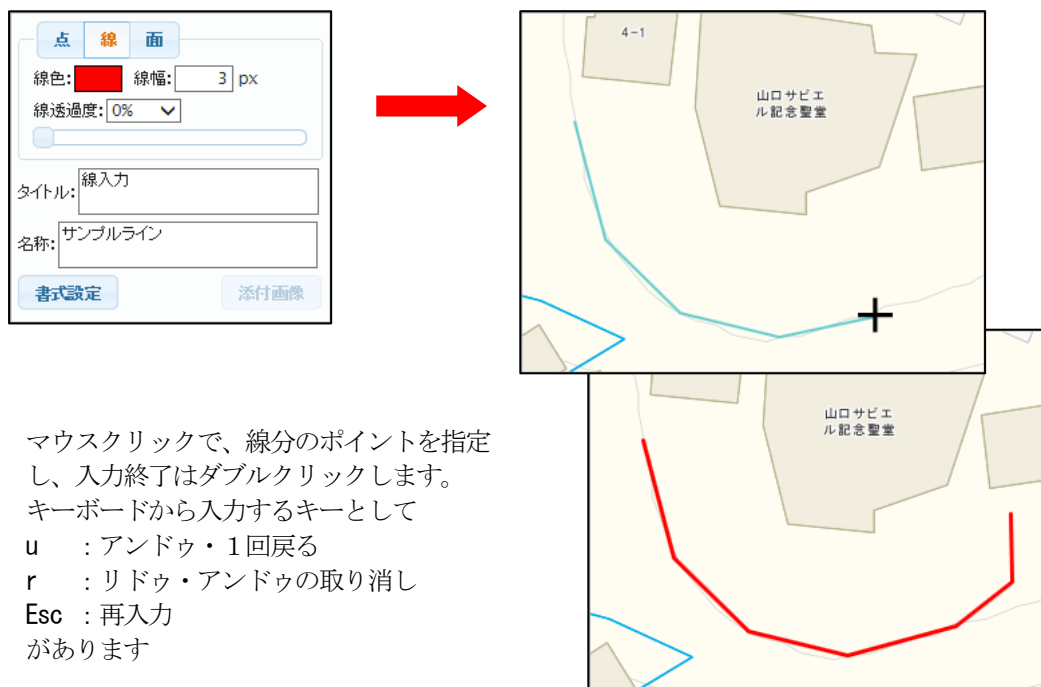
書式設定 添付画像

18-3-2 線入力

「入力」から「線」を選択します。

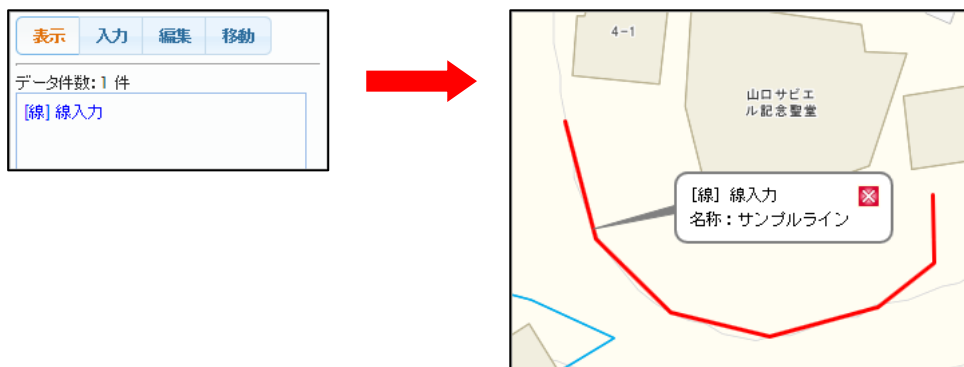


「線色」、「線幅」等を選択し、表示させる「タイトル」「名称」を入力後、「地図表示ウィンドウ」上でマウスクリックにより入力を行います。



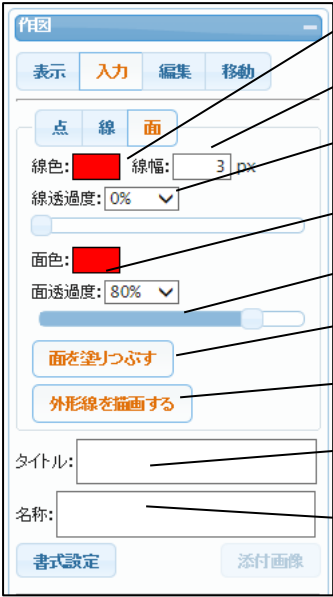
ブラウザ左下にガイドとして表示されています。

登録された図形は、「表示」のリストから検索参照が可能です



18-3-3 面入力

「入力」から「面」を選択します。

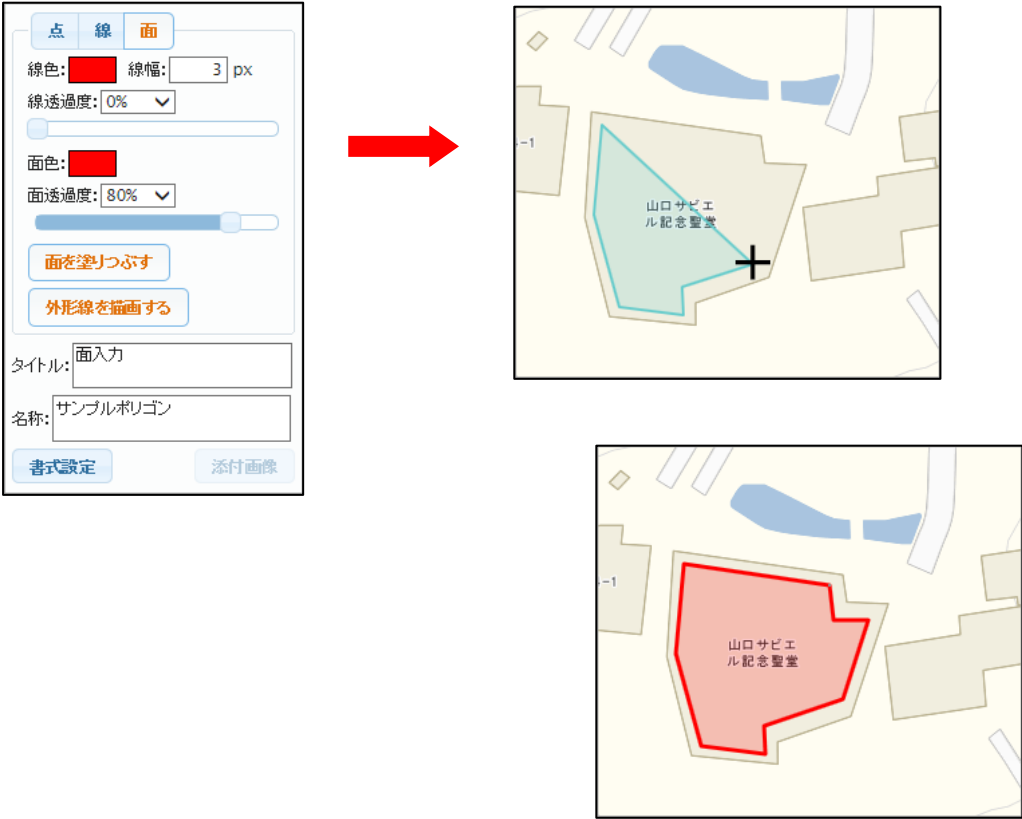


The dialog box is titled '作図' (Drawing) and has tabs for '表示' (Display), '入力' (Input), '編集' (Edit), and '移動' (Move). The '入力' tab is active, showing options for '点' (Point), '線' (Line), and '面' (Face). The '面' option is selected.

- 線色: [Red color swatch] → 表示する線色を指定します
- 線幅: [3 px] → 表示する線幅を指定します
- 線透過度: [0%] → 表示する線の透過度を指定します
- 面色: [Red color swatch] → 表示する面色を指定します
- 面透過度: [80%] → 表示する面の透過度を指定します
- [面を塗りつぶす] button → 表示する面の塗りつぶしの設定を行います
- [外形線を描画する] button → 表示する面の外形線の描画の設定を行います
- タイトル: [] → 表示するラベルのタイトルを入力します
- 名称: [] → 表示するラベルの名称を入力します

Buttons at the bottom: 書式設定 (Format Settings), 添付画像 (Attach Image).

「面色」、「面透過度」等を選択し、表示させる「タイトル」「名称」を入力後、「地図表示ウィンドウ」上でマウスクリックにより入力を行います。



The diagram illustrates the process of adding a face to a map. On the left, the '面入力' dialog box is shown with the following settings:

- 線色: [Red color swatch]
- 線幅: [3 px]
- 線透過度: [0%]
- 面色: [Red color swatch]
- 面透過度: [80%]
- 面を塗りつぶす (Filled Face)
- 外形線を描画する (Draw Outline)
- タイトル: 面入力
- 名称: サンプルポリゴン

A red arrow points from the dialog box to the '地図表示ウィンドウ' (Map Display Window). The window shows a map with a green polygon labeled '山口サビエル記念聖堂' (Yamaguchi Sabier Memorial Church). A black crosshair is positioned over the polygon.

Below the map, another screenshot shows the same map with the polygon filled with red and outlined in red, representing the final result of the '面入力' operation.

マウスクリックで、線分のポイントを指定し、入力終了はダブルクリックします。
キーボードから入力するキーとして

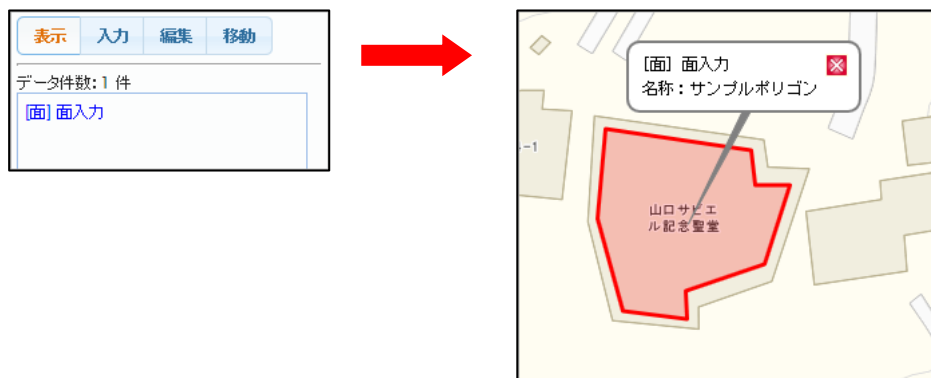
u : アンドゥ・1回戻る

r : リドゥ・アンドゥの取り消し

Esc : 再入力

があります

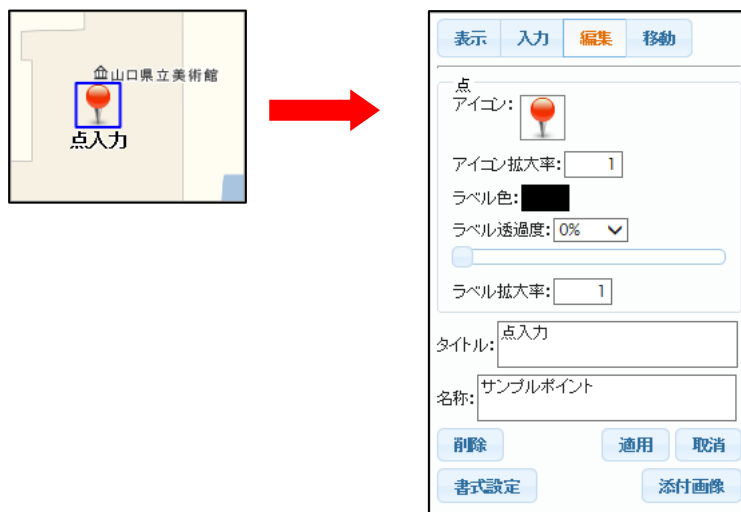
登録された図形は、「表示」のリストから検索参照が可能です



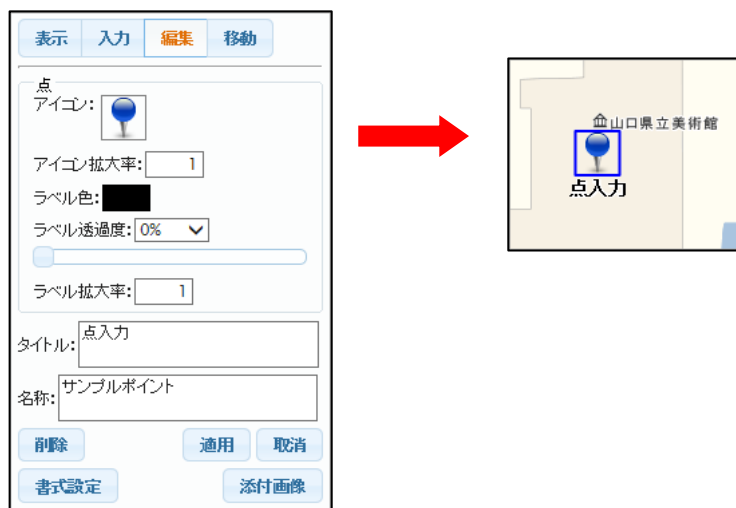
18-4 編集

18-4-1 点編集

編集する「点」をマウスクリックで選択し、修正項目を設定します。

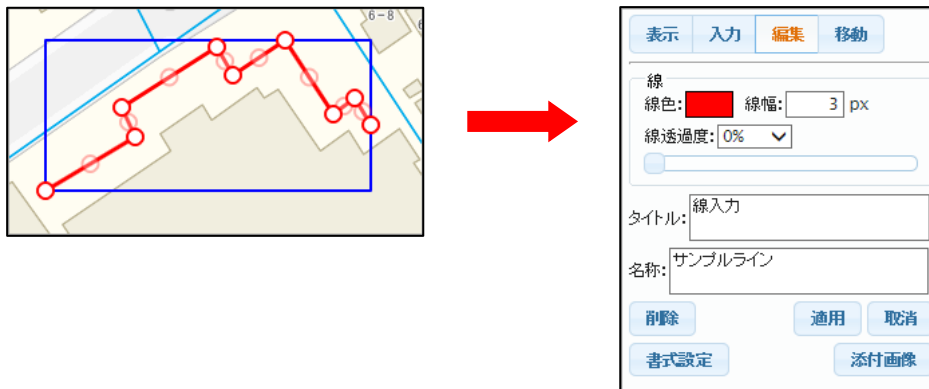


設定後、「適用」クリックで変更が反映されます。

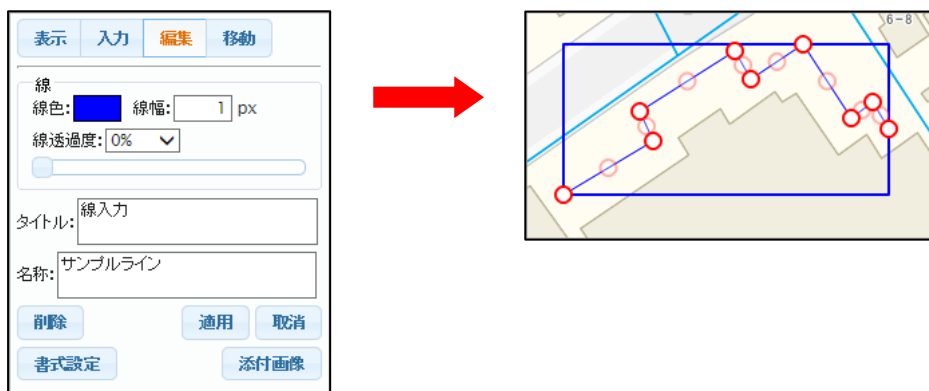


18-4-2 線編集

編集する「線」をマウスクリックで選択し、修正項目を設定します。



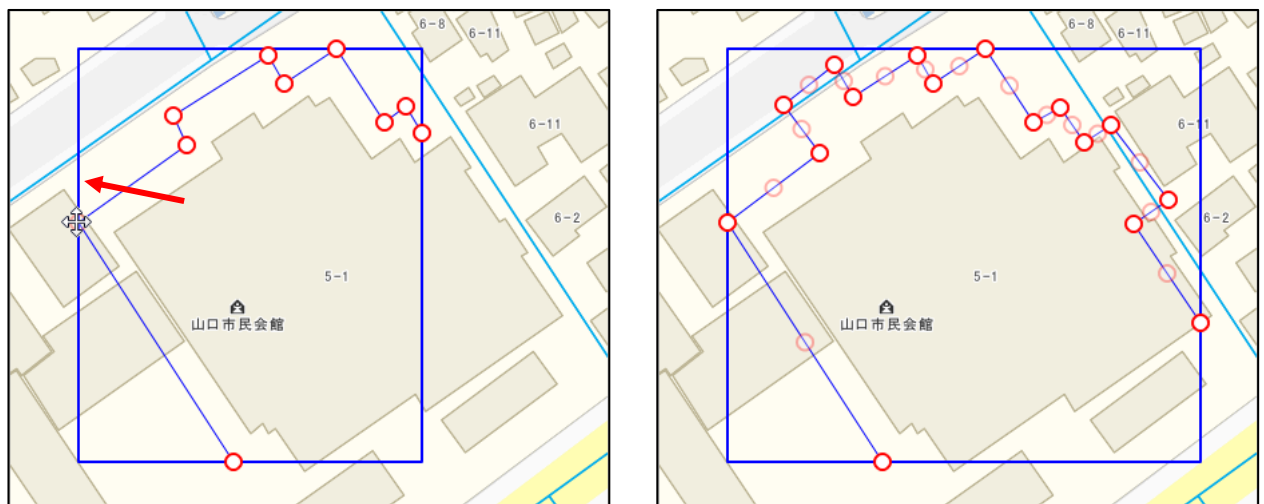
設定後、「適用」クリックで変更が反映されます。



線分の中間ポイントの○を、マウスドラッグで新規ポイントに設定します。

○の外をクリックで、編集終了

○内で「Del」キーで、ポイントを削除します。

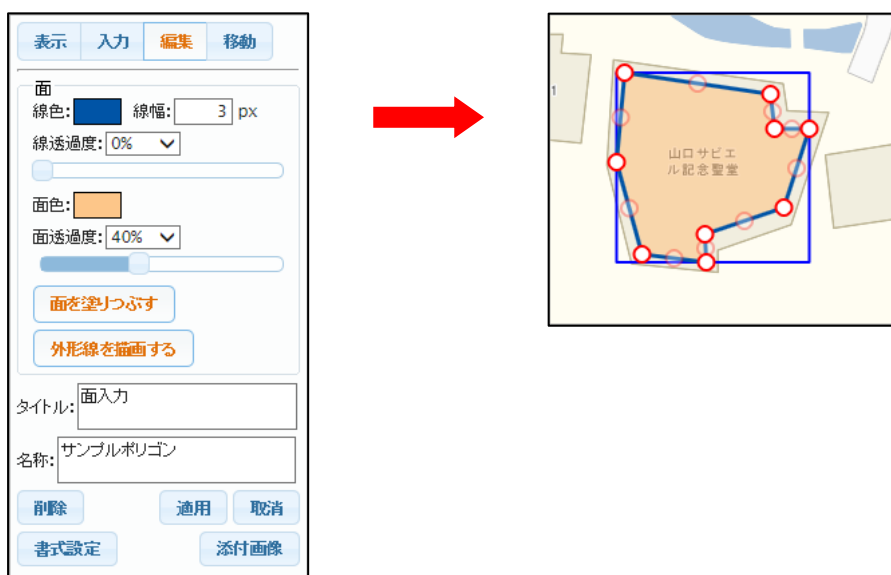


18-4-3 面編集

編集する「面」をマウスクリックで選択し、修正項目を設定します。



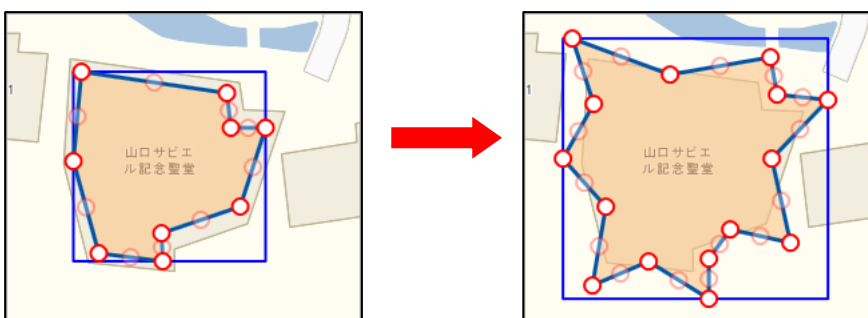
設定後、「適用」クリックで変更が反映されます。



線分の中間ポイントの○を、マウスドラッグで新規ポイントに設定します。

○の外をクリックで、編集終了

○内で「Del」キーで、ポイントを削除します。



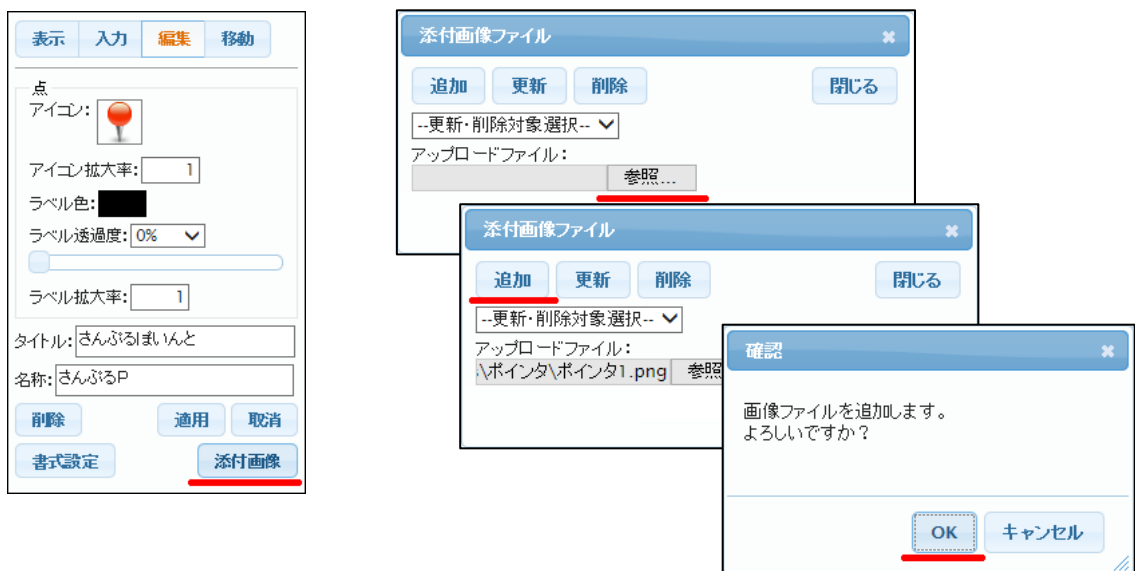
18-4-4 添付画像

入力した図形にイメージを添付します。

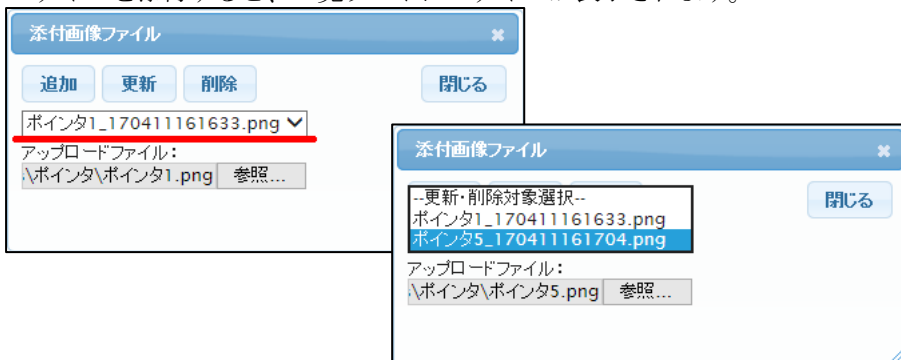
このイメージは、後記のダウンロードファイルにも適用されます。



作図編集時に有効になる「添付画像」をクリックし、添付画像を指定し「追加」をクリックします。



複数のファイルを添付すると、一覧リストにファイルが表示されます。



18-5 移動

18-5-1 点移動

移動する「点」をマウスクリックで選択し、マウสดラッグで移動します。



点移動の際にも、修正項目の設定も可能です。

18-5-2 線移動

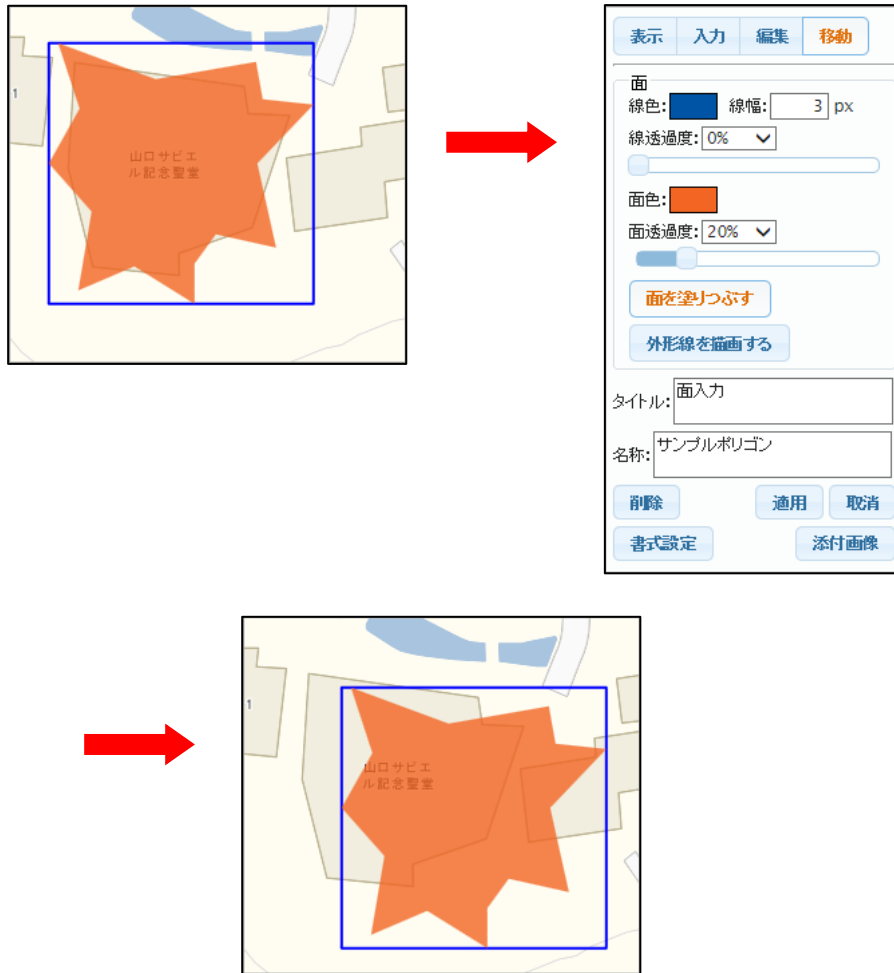
移動する「線」をマウスクリックで選択し、マウสดラッグで移動します。



線移動の際にも、修正項目の設定も可能です。

18-5-3 面移動

移動する「面」をマウスクリックで選択し、マウสดラッグで移動します。

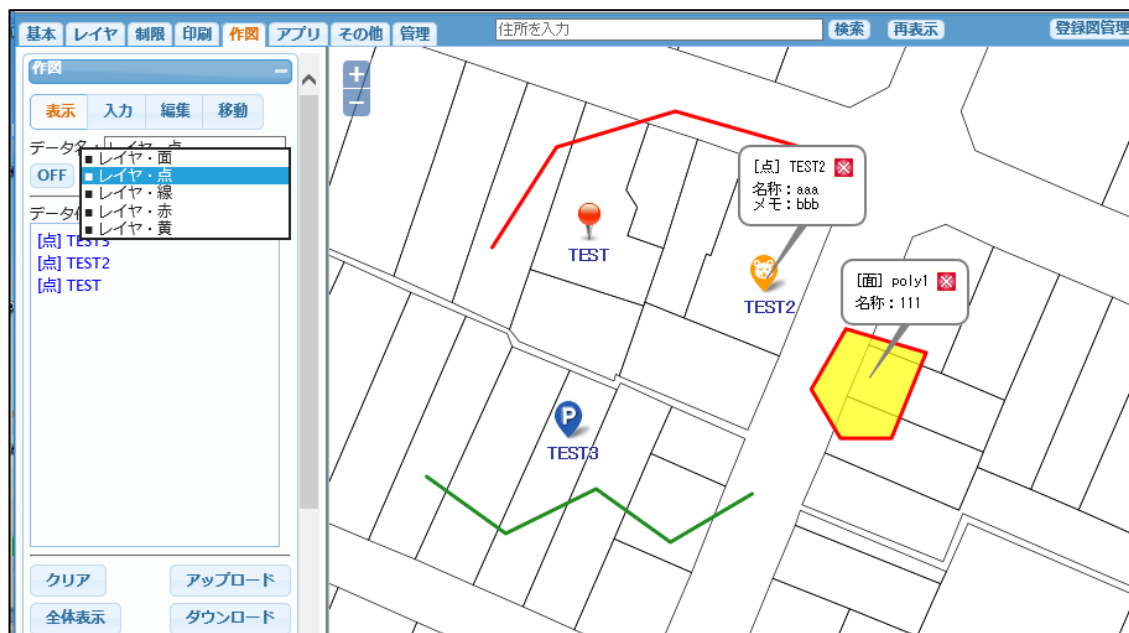


面移動の際にも、修正項目の設定も可能です。

18-6 レイヤ管理

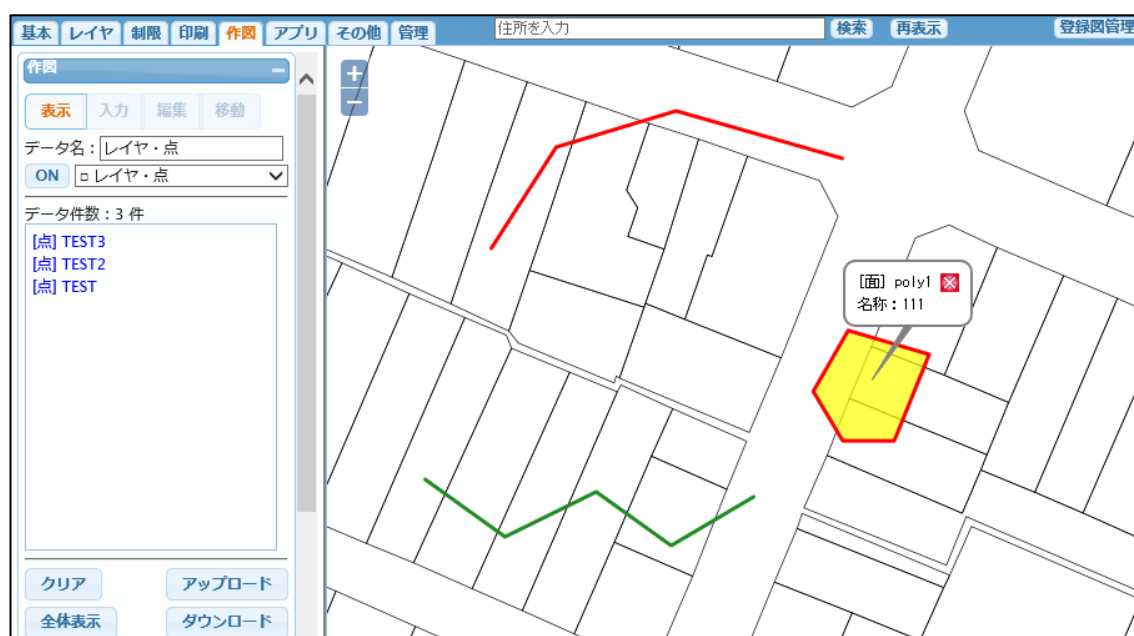
オプションにより、作図でもレイヤ管理が可能です。

下図は、複数のレイヤを使用した例です。



レイヤ単位で、表示ON/OFFが可能です。

下図は、レイヤ「レイヤ・点」を、OFFにした例です。



レイヤ名は、任意に変更可能です。

但し、レイヤ数は、ここでは変更できません。事前にシステム設定された数となります。
変更したい場合は、管理者に相談願います。

18-7 ダウンロード

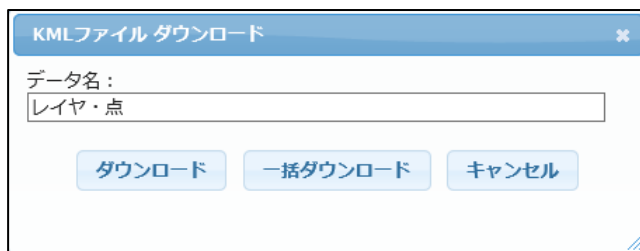
作成した図を、KML形式でダウンロードします。

実際には、kmz という拡張子のファイルでダウンロードします。

kmz とは、KML の圧縮形式です。中に KML、添付画像、アイコン等を含みます。



「ダウンロード」ボタンクリックで、「KML ファイルダウンロード」ウィンドウが表示されます。



「ダウンロード」または、「一括ダウンロード」ボタンクリックで、KML ファイルが作成され、「ダウンロード」ボタンが表示されます。



「ダウンロード」ボタンクリックで、ファイルのダウンロードが可能です。

「ダウンロード」と「一括ダウンロード」の違い。

レイヤ管理されていない場合は、どちらも同一の機能となります。

レイヤ管理されている場合、「ダウンロード」は、現在表示中のレイヤのみで KML を作成します。また、「一括ダウンロード」は、すべてのレイヤを KML 上でもレイヤ分けした状態で KML 作成します。

18-8 アップロード

KML 形式ファイルを、本システムにアップロードし表示します。



「アップロード」 ボタンクリックで、「KML ファイルアップロード」 ウィンドウが表示されます。



「アップロード」または、「一括アップロード」 ボタンクリックで、KML ファイルがアップロードされ、KML が表示されます。

「アップロード」と「一括アップロード」の違い。

レイヤ管理されていない場合は、どちらも同一の機能となります。

レイヤ管理されている場合、「アップロード」は、現在表示中のレイヤに KML をロードします。

KML ファイルがレイヤ分けされている場合でも、1 レイヤにまとめてロードされます。

また、「一括アップロード」は、KML ファイルのレイヤ分けに合わせて本システム上もレイヤ分けされてロードされます。

「属性項目は名称で並び替える」ボタン：

KML ファイル内の項目定義順ではなく、項目名で並び替えて、本システムにロードします。

項目順が不定である、あるソフト向けに用意した機能です。

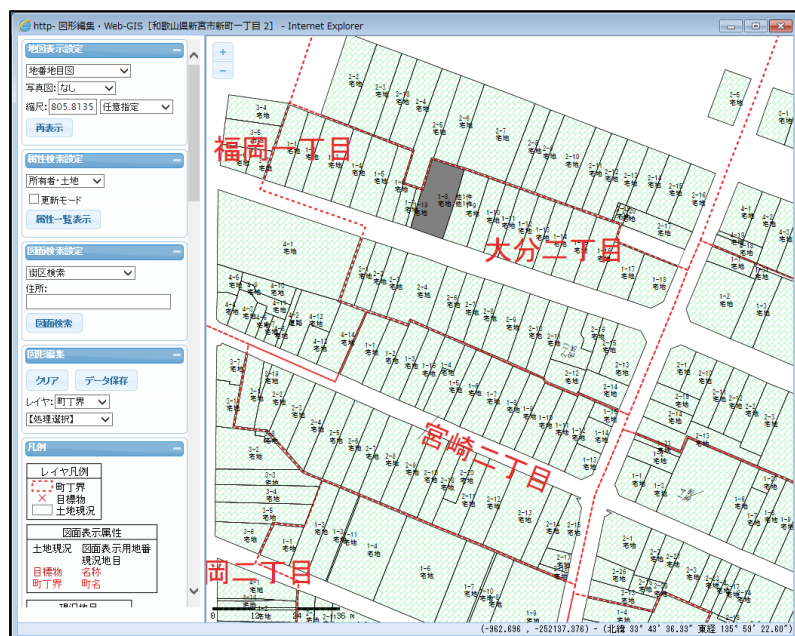
通常は使用しません。

19 図形編集

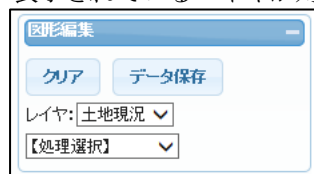
地物の図形を登録、編集する機能です。

「17 地物の登録」の図形に特化した高機能版です。

図形編集機能は、別ウィンドウで起動されます。

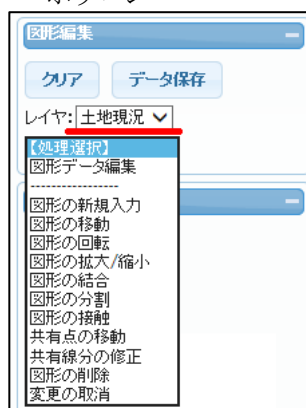


表示されているレイヤが対象となります

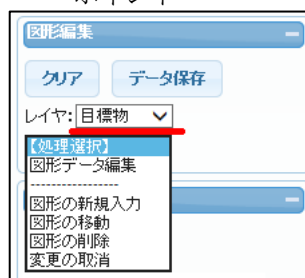


処理メニューは下記のようになります。 レイヤタイプにより「処理メニュー」が異なります。

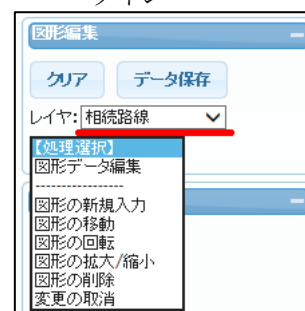
ポリゴン



ポイント



ライン



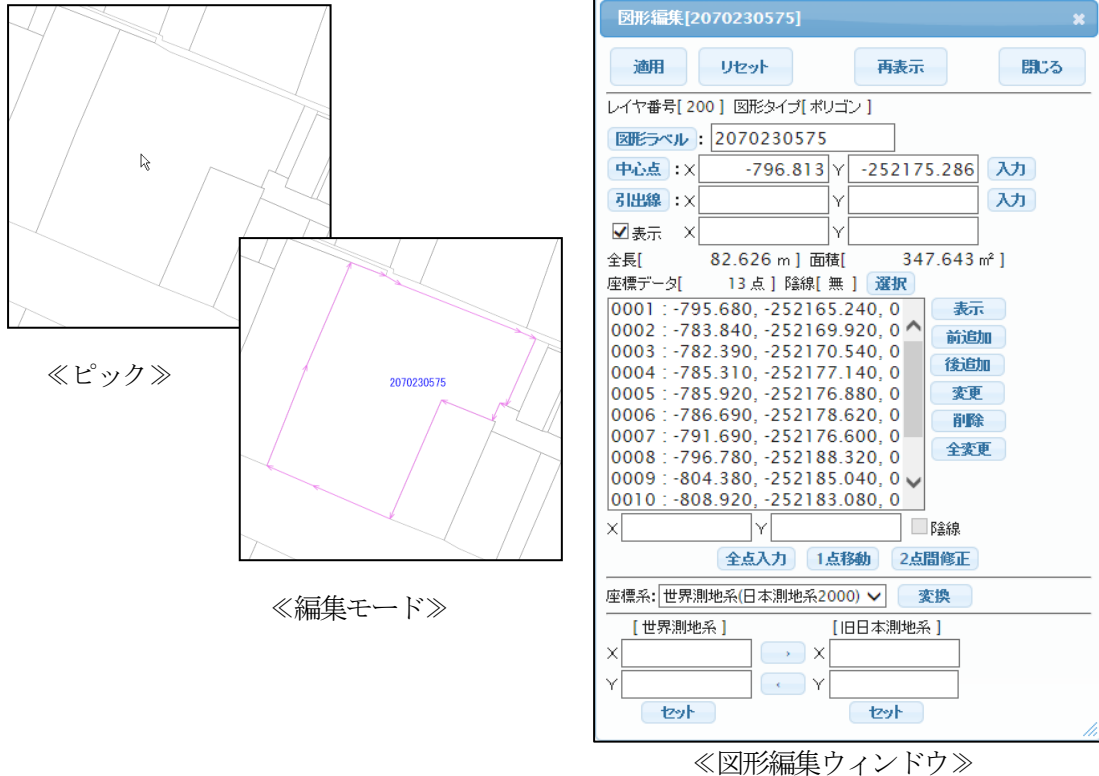
ポイント、ラインの図形編集はポリゴンの場合と同様に処理を行います。

以降の説明ではポリゴンの場合をメインとして解説します。

すべての編集は、「データ保存」ボタンのクリックまでは、データベースに保存されません。

19-1 ポリゴン編集

処理メニューから「図形データ編集」を選択し、対象図形をクリックすると
図形編集ウィンドウが起動され、図形も地図表示ウィンドウで編集モードに切り替わります。



「図形ラベル」ボタン

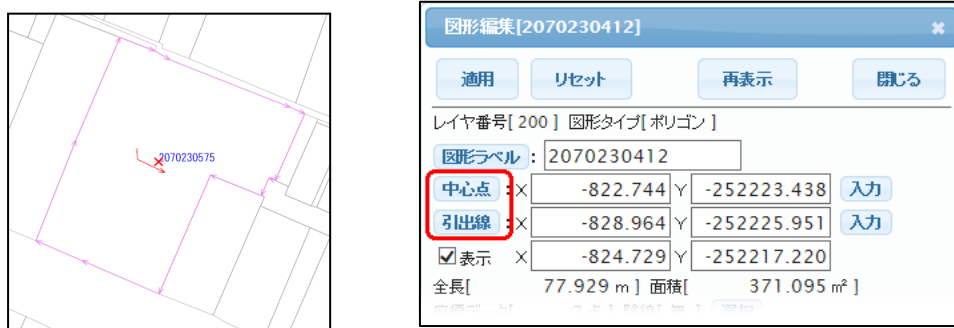
図形上の図形ラベルの、表示／非表示を切り替えます。

「中心点」ボタン

図形上の中心点の、表示／非表示を切り替えます。

「引き出し線」ボタン

図形上の引き出し線の、表示／非表示を切り替えます。



「表示」チェック

地図表示の際の引き出し線の表示／非表示を指定します。 (☑で表示)

「入力」ボタン

図形上の中心点・引き出し線をマウスクリックで入力します。

図形編集[2070230412]

適用 リセット 再表示 閉じる

レイヤ番号[200] 図形タイプ[ポリゴン]

図形ラベル: 2070230412

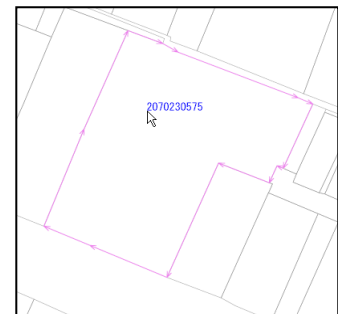
中心点	:X	-822.744	Y	-252223.438	入力
引き出し線	:X	-828.964	Y	-252225.951	入力
☒ 表示	X	-824.729	Y	-252217.220	

全長[77.929 m] 面積[371.095 m²]

中心点

入力ボタンを押し、地図表示ウィンドウ上でマウスクリックします。

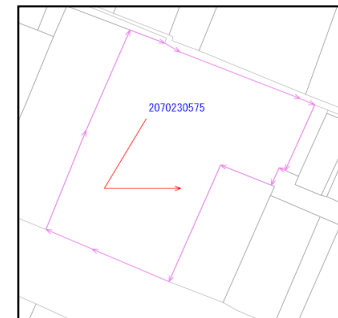
中心点入力 > 1点クリック



引き出し線

入力ボタンを押し、地図表示ウィンドウ上で3点（引き出し線開始位置、文字開始位置、文字方向）マウスクリックします。

引出線入力 > ダブルクリック:終了 "B":前点の取消 "E":終了



「選択」ボタン

選択ボタンをクリックし、地図表示ウィンドウ上で頂点をマウスクリックします。

選択した座標が、リスト上で選択されます。

全長[82.626 m] 面積[347.643 m²]

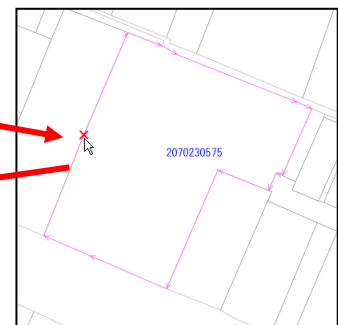
座標データ[13点] 陰線[無]

0004	: -785.310, -252177.140, 0
0005	: -785.920, -252176.880, 0
0006	: -786.690, -252178.620, 0
0007	: -791.690, -252176.600, 0
0008	: -796.780, -252188.320, 0
0009	: -804.380, -252185.040, 0
0010	: -808.920, -252183.080, 0
0011	: -804.960, -252173.120, 0
0012	: -800.620, -252163.020, 0
0013	: -797.190, -252164.360, 0

X: -804.960 Y: -252173.120 陰線

全点入力 1点移動 2点間修正

座標系: 世界測地系(日本測地系2000) 変換



「表示」ボタン

選択座標の強調表示／通常表示を切り替えます。

「前追加」ボタン

選択座標の前に数値入力した座標を追加します。

「後追加」ボタン

選択座標の後に数値入力した座標を追加します。

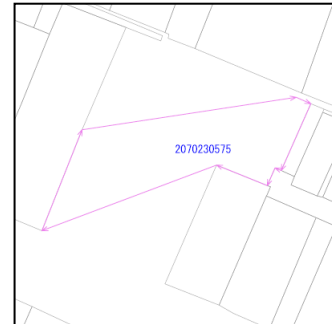
「変更」ボタン

選択座標を数値入力した座標で変更します。

「削除」ボタン

選択座標を削除します。

The screenshot shows a software window with a list of 8 coordinate points. The 'Delete' button is highlighted with a red rectangle. The window also displays total length (67.240 m) and area (164.538 m²). Other buttons like '表示', '前追加', '後追加', '変更', '削除', and '全変更' are visible. At the bottom, there are input fields for X and Y coordinates and a '座標系' (Coordinate System) dropdown set to '世界測地系(日本測地系2000)'.



「全変更」ボタン

全座標を手入力で変換する時使用します。

ボタンクリックで全座標を羅列したウィンドウが表示されますので、そこで座標を編集します。

The screenshot shows the software window with the 'Full Change' button highlighted in red. A confirmation dialog box is open, titled '確認' (Confirmation). The dialog box contains the text '座標データを入力して下さい (入力例: "100,100 200,200 300,100")' and a list of coordinates: '-795.680,-252165.240,0 -783.840,-252169.920,0 -782.390,-252170.540,0 -785.310,-252177.140,0'. The dialog box has buttons for '元座標に戻す' (Return to original coordinates), 'OK', and 'キャンセル' (Cancel).

「OK」： 編集座標を適用する。

「キャンセル」： 編集を中止してウィンドウを閉じます。

「元座標に戻す」： 編集前の座標に戻します。

「陰線」チェック ※ 2016/01/01 現在使用不可。

座標を変更する際に、陰線とする場合に☑を行います。

「全点入力」ボタン

全点をマウスで再入力する場合に使用します。

全点入力ボタンをクリックし、地図表示ウィンドウ上で座標をマウスクリックで入力します。
終点で、ダブルクリック、または、キーボードから「E」を押下します。

全長[82.626 m] 面積[347.643 m²]

座標データ[13点] 陰線[無] 選択

0001	-795.680,	-252165.240,	0
0002	-783.840,	-252169.920,	0
0003	-782.390,	-252170.540,	0
0004	-785.310,	-252177.140,	0
0005	-785.920,	-252176.880,	0
0006	-786.690,	-252178.620,	0
0007	-791.690,	-252176.600,	0
0008	-796.780,	-252188.320,	0
0009	-804.380,	-252185.040,	0
0010	-808.920,	-252183.080,	0

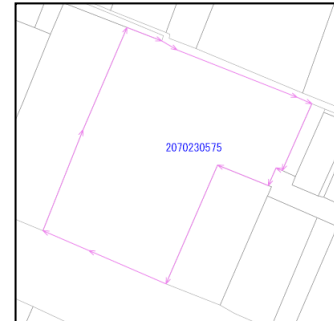
表示 前追加 後追加 変更 削除 全変更

X Y 陰線 ☐

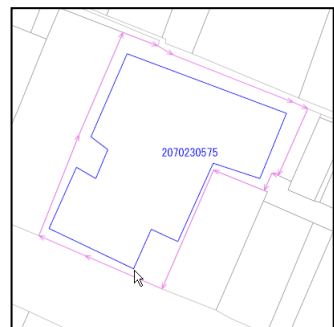
全点入力 1点移動 2点間修正

座標系: 世界測地系(日本測地系2000) 変換

元図形



入力確定



面入力 > ダブルクリック:終了 "B":前点の取消 "E":終了

全長[63.456 m] 面積[203.372 m²]

座標データ[10点] 陰線[無] 選択

0001	-806.739,	-252181.981,	0
0002	-803.371,	-252175.366,	0
0003	-799.642,	-252165.382,	0
0004	-794.830,	-252167.426,	0
0005	-785.928,	-252170.554,	0
0006	-787.131,	-252173.441,	0
0007	-788.093,	-252175.967,	0
0008	-791.943,	-252175.486,	0
0009	-796.153,	-252181.260,	0
0010	-797.717,	-252185.229,	0

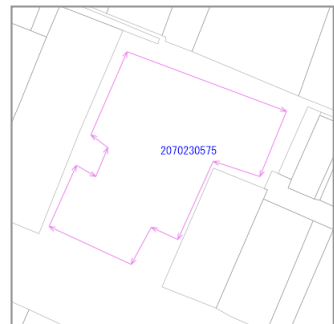
表示 前追加 後追加 変更 削除 全変更

X Y 陰線 ☐

全点入力 1点移動 2点間修正

座標系: 世界測地系(日本測地系2000) 変換

新図形



「1点移動」ボタン

1点移動ボタンをクリックし、地図表示ウィンドウ上で移動対象座標をマウスクリックします

全長[82.626 m] 面積[347.643 m²]

座標データ[13点] 陰線[無] 選択

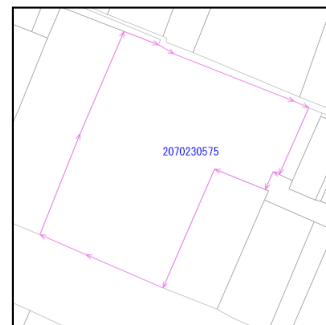
0001	-795.680	-252165.240	0
0002	-783.840	-252169.920	0
0003	-782.390	-252170.540	0
0004	-785.310	-252177.140	0
0005	-785.920	-252176.880	0
0006	-786.690	-252178.620	0
0007	-791.690	-252176.600	0
0008	-796.780	-252188.320	0
0009	-804.380	-252185.040	0
0010	-808.920	-252183.080	0

表示
前追加
後追加
変更
削除
全変更

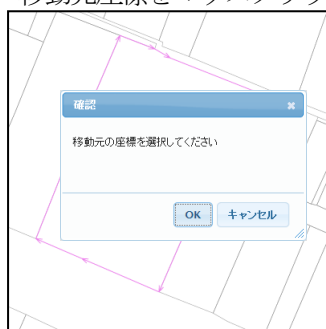
X: -804.380 Y: -252185.040 陰線

全点入力 1点移動 2点間修正

座標系: 世界測地系(日本測地系2000) 変換

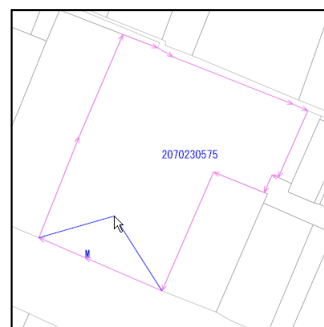
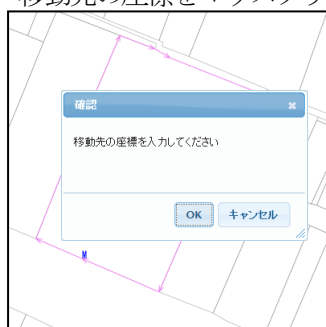


移動元座標をマウスクリックします。

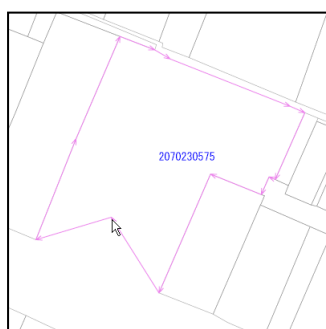


点入力 > 1点クリック

移動先の座標をマウスクリックします。



以上で1点移動が完了です。



全長[84.413 m] 面積[324.328 m²]

座標データ[13点] 陰線[無] 選択

0001	-795.680	-252165.240	0
0002	-783.840	-252169.920	0
0003	-782.390	-252170.540	0
0004	-785.310	-252177.140	0
0005	-785.920	-252176.880	0
0006	-786.690	-252178.620	0
0007	-791.690	-252176.600	0
0008	-796.780	-252188.320	0
0009	-804.380	-252185.040	0
0010	-808.920	-252183.080	0

表示
前追加
後追加
変更
削除
全変更

X: -804.380 Y: -252185.040 陰線

全点入力 1点移動 2点間修正

座標系: 世界測地系(日本測地系2000) 変換

「2点間修正」ボタン

2点間修正ボタンをクリックします。

全長[82.626 m] 面積[347.643 m²]
 座標データ[13点] 陰線[無] 選択

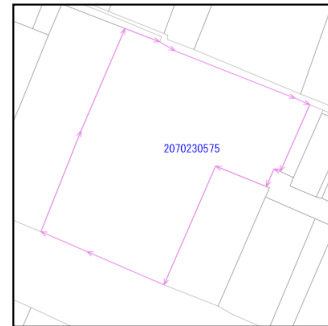
0001	: -795.680, -252165.240, 0
0002	: -783.840, -252169.920, 0
0003	: -782.390, -252170.540, 0
0004	: -785.310, -252177.140, 0
0005	: -785.920, -252176.880, 0
0006	: -786.690, -252178.620, 0
0007	: -791.690, -252176.600, 0
0008	: -796.780, -252188.320, 0
0009	: -804.380, -252185.040, 0
0010	: -808.920, -252183.080, 0

表示
前追加
後追加
変更
削除
全変更

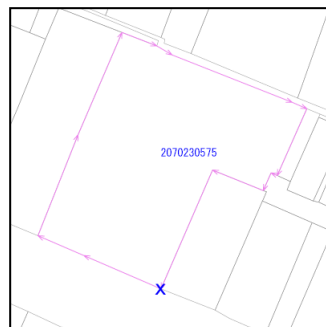
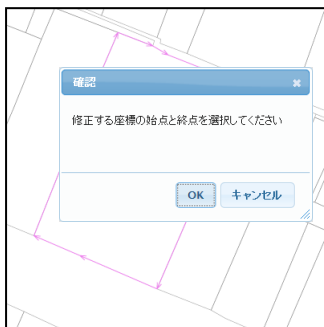
X Y 陰線 ☐

全点入力 1点移動 **2点間修正**

座標系: 世界測地系(日本測地系2000) 変換

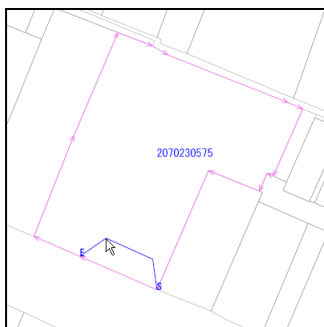


地図表示ウィンドウ上で、修正座標の始点・終点の選択を行います。



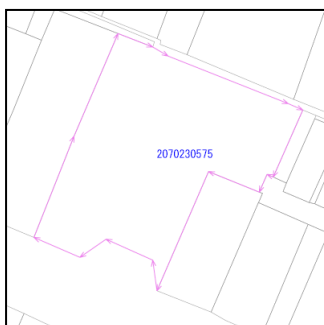
地図表示ウィンドウ上で修正座標をマウスクリックで入力します。

終点で、ダブルクリック、または、キーボードから「E」を押下します。



線入力 > ダブルクリック:終了 "B":前点の取消 "E":終了

以上で2点間修正が完了です。



座標系「変換」ボタン

座標データの変換を以下の2パターンを選択し、一括して変換します。

- ・世界測地系（日本測地系 2000）
- ・旧日本測地系（Tokyo Datum）

0006 : -786.690, -252178.620, 0
0007 : -791.690, -252176.600, 0
0008 : -796.780, -252188.320, 0
0009 : -804.380, -252185.040, 0
0010 : -808.920, -252183.080, 0

X Y ☐ 陰緯

全点入力 1点移動 2点間修正

座標系: 世界測地系(日本測地系2000) 変換
旧日本測地系(Tokyo Datum)
[世界測地系] [旧日本測地系]

X > X
Y < Y

セット セット

座標データをポイント毎に、世界測地系⇄旧日本測地系の変換を行います。

全長[82.626 m] 面積[347.643 m²]

座標データ[13点] 陰緯[無] 選択

0001 : -795.680, -252165.240, 0
0002 : -783.840, -252169.920, 0
0003 : -782.390, -252170.540, 0
0004 : -785.310, -252177.140, 0
0005 : -785.920, -252176.880, 0
0006 : -786.690, -252178.620, 0
0007 : -791.690, -252176.600, 0
0008 : -796.780, -252188.320, 0
0009 : -804.380, -252185.040, 0
0010 : -808.920, -252183.080, 0

X Y ☐ 陰緯

全点入力 1点移動 2点間修正

座標系: 世界測地系(日本測地系2000) 変換
[世界測地系] [旧日本測地系]

X > X
Y < Y

セット セット

「再表示」ボタン

図形データの初期状態（デフォルト）を表示します。

「適用」ボタン

図形編集を確定します。

「リセット」ボタン

編集内容を破棄します。

19-2 ライン編集

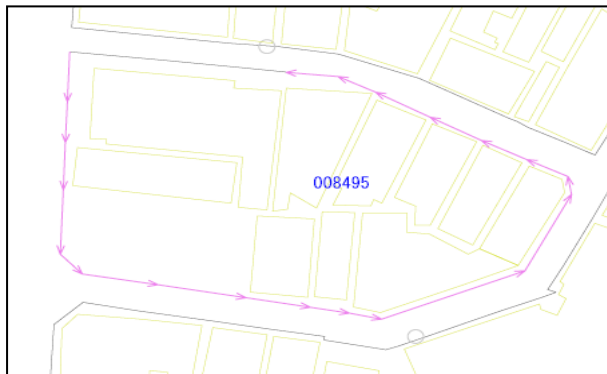
ラインのみの処理を説明します。

「始点到線分追加」ボタン

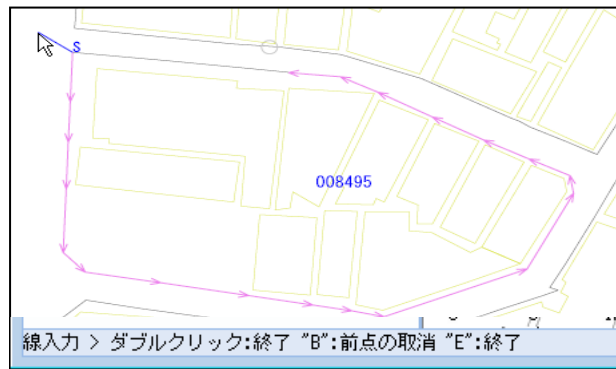
始点到線分を追加します。

「終点到線分追加」ボタン

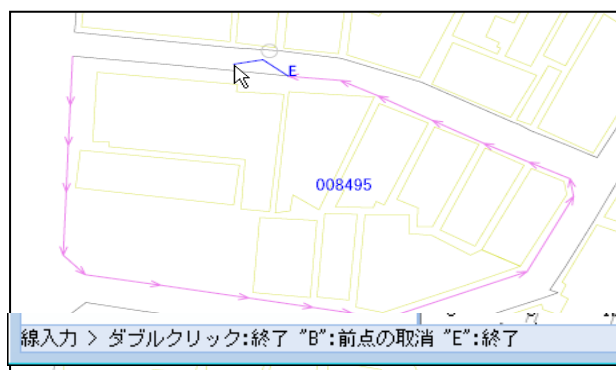
終点到線分を追加します。



《始点到線分追加》



《終点到線分追加》



図形編集[008495]

適用 リセット 再表示 閉じる

レイヤ番号[062] 図形タイプ[ライン]

図形ラベル: 008495

中心点 : X -844.514 Y -252358.086 入力

引出線 : X Y 入力

☒ 表示 X Y

全長[114.444 m]

座標データ[20点] 陰線[無] 選択

0001	-868.600	-252339.520	0
0002	-868.830	-252345.280	0
0003	-869.030	-252349.980	0
0004	-869.230	-252355.440	0
0005	-869.530	-252362.880	0
0006	-867.350	-252365.180	0
0007	-859.880	-252366.420	0
0008	-851.180	-252367.920	0
0009	-844.830	-252369.020	0
0010	-840.980	-252369.700	0

表示 前追加 後追加 変更 削除 全変更

X Y ☐ 陰線

全点入力 1点移動 2点間修正

始点到線分追加 終点到線分追加

座標系: 世界測地系(日本測地系2000) 変換

[世界測地系] [旧日本測地系]

X Y X Y

セット セット

全長[117.043 m]

座標データ[21点] 陰線[無] 選択

0012	-823.650	-252364.820	0
0013	-819.050	-252356.000	0
0014	-819.400	-252353.920	0
0015	-823.450	-252351.960	0
0016	-827.930	-252349.760	0
0017	-833.000	-252347.080	0
0018	-838.380	-252344.200	0
0019	-842.100	-252342.360	0
0020	-847.230	-252341.880	0
0021	-847.942	-252339.381	0

表示 前追加 後追加 変更 削除 全変更

X -847.942 Y -252339.381 ☐ 陰線

全点入力 1点移動 2点間修正

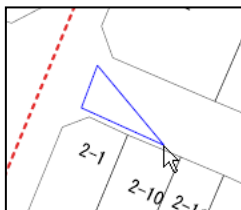
始点到線分追加 終点到線分追加

19-3 ポイント編集

ポイントのみの特別な処理はありません。

19-4 新規図形の入力

処理メニューから「図形の新規入力」を選択。



マウスクリックで図形を入力していき、終点で、ダブルクリック、または、キーボードから「E」を押下します。

線入力 > ダブルクリック:終了 "B":前点の取消 "E":終了



入力取り消しは、キーボードから「B」を押下すると、直前の入力の取り消しとなります。

19-5 図形の移動

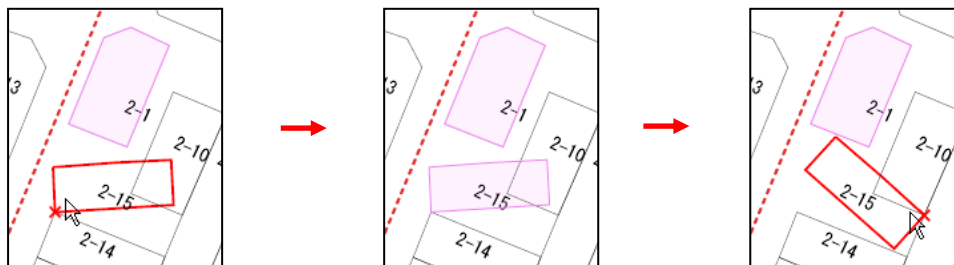
処理メニューから「図形の移動」を選択。



「図形の移動」を選択し移動対象となる図形をマウスでドラッグします。

19-6 図形の回転

処理メニューから「図形の回転」を選択。



回転対象となる図形の「回転中心」としたいポイント付近で、マウスの左ボタンを押し、図形を回転させます。

回転終了位置でマウスの左ボタンを離すと、回転が確定します。

19-7 図形の拡大・縮小

処理メニューから「図形の拡大／縮小」を選択。

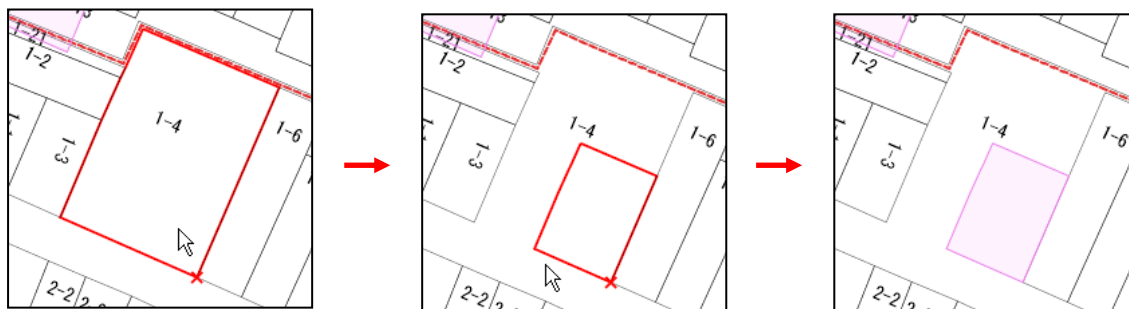
拡大



拡大対象となる図形の「拡大始点」としたいポイント付近で、マウスの左ボタンを押し、図形の拡大を行います。

マウスを右方向にドラッグし、拡大終了位置でマウスの左ボタンを離すと、拡大が確定します。

縮小



拡大対象となる図形の「拡大始点」としたいポイント付近で、マウスの左ボタンを押し、図形の縮小を行います。

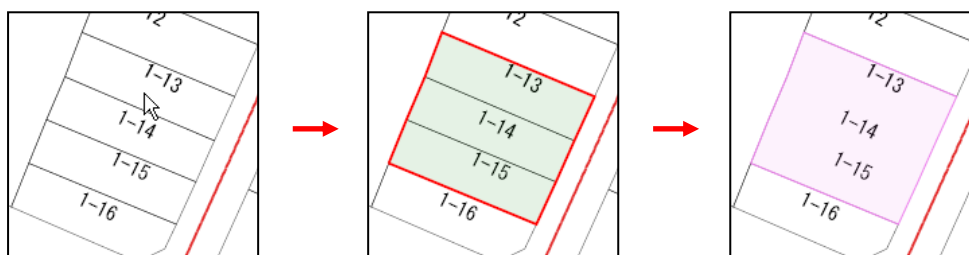
マウスを左方向にドラッグし、縮小終了位置でマウスの左ボタンを離すと、縮小が確定します。

19-8 図形の結合

処理メニューから「図形の結合」を選択。

結合する図形数の入力を求められます。

対象図形をマウスで選択し終わると、結合が完了します。



19-9 図形の分割

処理メニューから「図形の分割」を選択。

図形分割ウィンドウが表示されます。



①「元図形の選択」ボタンをクリックします。

対象元図形を選択します。

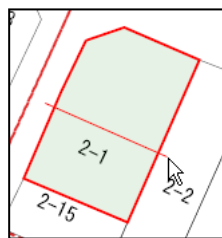
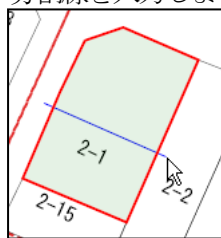


選択した図形が編集状態に変わります。

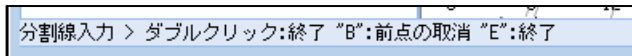


②「分割線の追加」ボタンをクリックし、分割線の入力を行います。

分割線を入力します。



マウスクリックで図形を入力していき、終点で、ダブルクリック、または、キーボードから「E」を押下します。



③「代表点」ボタンをクリックし、図形の代表点の入力を行います。

分割数を入力し、「OK」をクリックします。

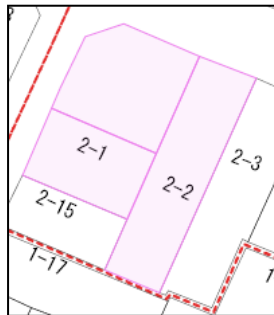


分割した図形の代表点をマウスでピックすると



隣接するポリゴンがある場合、隣接ポリゴンに共有点座標を追加します。

④ 分割が完了します。

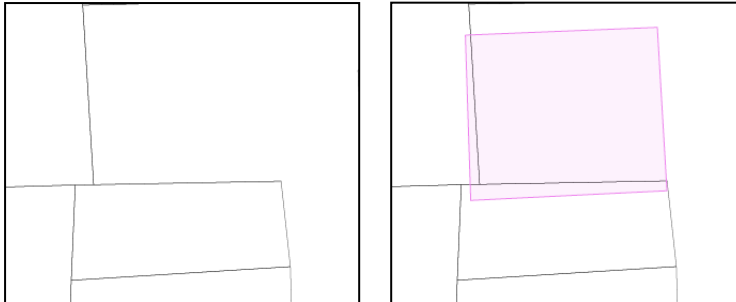


19-10 図形の接触

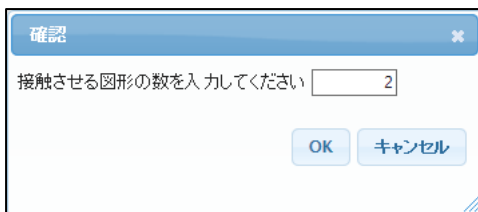
処理メニューから「図形の接触」を選択。

新規に入力した図形を、既存の図形に接触させます。

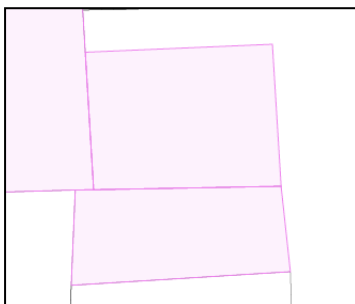
- ① 新規図形を既存図形に重ねて入力します。



- ② 作成した図形と、接触させる図形の数を入力し、対象筆をマウスピックで選択します。



- ③ 作成した図形と、既存の図形の接触が完了します。

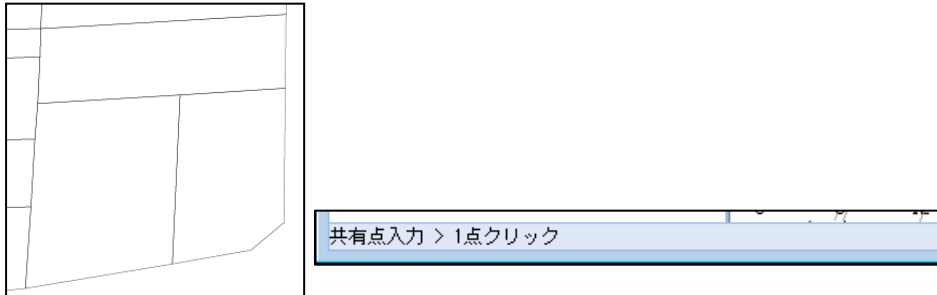


19-11 共有点の移動

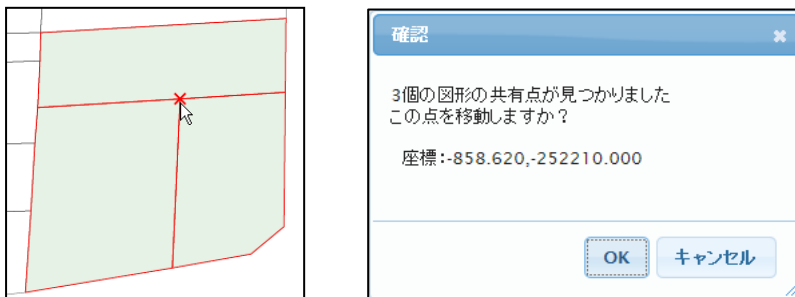
処理メニューから「共有点の移動」を選択。

図形の共有点を、マウスクリックで移動します。

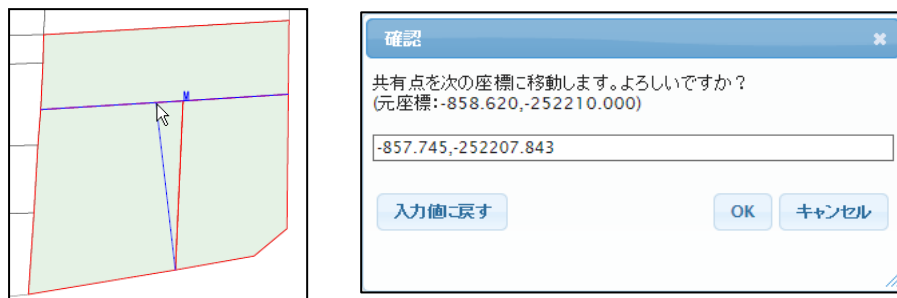
- ① 対象の共有点をマウスピックします。



- ② 移動確認が表示されます。

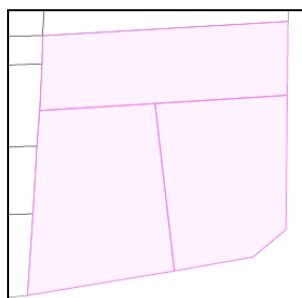


- ③ 移動ポイントでマウスピックを行います。



確認メッセージが出ます
ここで、座標を数値入力することも可能です。

- ④ 共有点の移動が完了します。



19-12 共有線分の修正

処理メニューから「共有線分の修正」を選択。

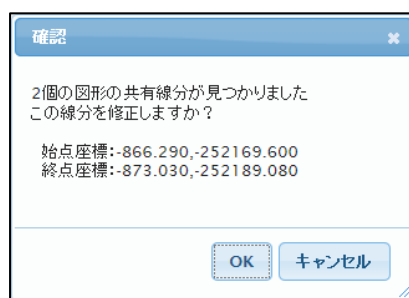
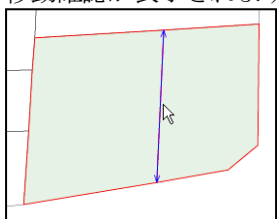
図形の共有線分を、マウス入力で修正します

- ① 対象の共有線分をマウスピックします。

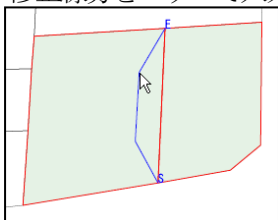


共有線分選択 > 1点クリック

- ② 移動確認が表示されます。



- ③ 修正線分をマウスで入力します。

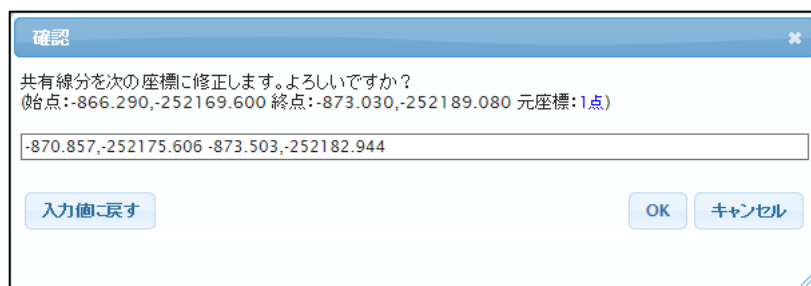


共有線分入力 > ダブルクリック:終了 "B":前点の取消 "E":終了

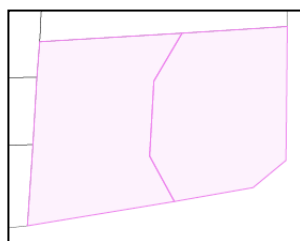
終点で、ダブルクリック、または、キーボードから「E」を押下します。

確認メッセージが出ます

ここで、座標を数値入力することも可能です。

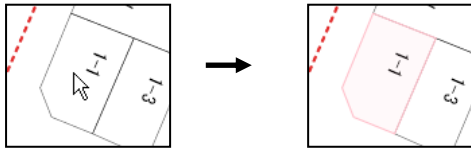


- ④ 共有線分の修正が完了します。



19-13 図形の削除

処理メニューから「図形の削除」を選択。



削除対象となる図形をマウスでクリックします。
図形の色が変わり、削除が確定します

19-14 変更の取消

処理メニューから「変更の取消」を選択。

取消対象となる図形をマウスでクリックします。
変更された図形が、最初の状態まで戻ります。

19-15 全変更の取消

「クリア」ボタンで、すべての変更を取り消します。

19-16 変更内容の保存

「データ保存」ボタンで、すべての変更をデータベースに保存します。
このボタンクリックまでは、データベースには保存されません。

20 登録図面

表示する地物・表示方法(色塗り、シンボル表示等)を任意に設定可能です。
設定した図面内容は、任意の名前で登録、呼び出し可能です。

・登録図面で登録できる内容は以下となります。

レイヤ：	その図面に含めるレイヤを選択可能です。 また、そのレイヤの描画方法、描画縮尺等も設定可能です。
ランク表示：	地物をその属性によって色分け表示したり、その属性によってシンボルを変えて表示することを、本マニュアルでは、ランク表示と呼びます。 どの属性で、ランク表示を行うか、どのようなランク表示とするか設定します。 例えば、顧客の種別によってシンボルの色を変えて表示する「顧客種別色塗り図」を作成可能です。
属性表示：	地物の属性を地図上に文字で表示することも可能です。 どの属性を表示するか、どのサイズ、色で表示するか、と言った内容を設定します。 例えば、筆形状に地番を表示した「地番図」を作成可能です。
ラスタ：	航空写真等、座標付きイメージを、背景として重ねて表示可能です。 どのイメージを表示可能とするかを設定します。
属性制限：	地物の属性に条件を設定することにより、条件に一致した地物のみを表示することが可能です。 その条件を設定します。 この条件は、「属性表示」、「ランク表示」、「属性一覧表示」に反映されます。 例えば、売り上げが100万円以上の顧客だけを表示する図面を作成可能です。 注意：属性制限はランク表示、属性表示、属性一覧表示に対して効果があります。 レイヤ表示との兼ね合いに注意が必要です。
領域制限：	地物を空間的な領域で表示制限することも可能です。 その領域を設定します。 この制限は、「属性表示」、「ランク表示」、「属性一覧表示」に反映されます。 例えば、ある駅から10km以内のユーザのみを表示する図面を作成可能です。 注意：領域制限はランク表示、属性表示、属性一覧表示に対して効果があります。 レイヤ表示との兼ね合いに注意が必要です。
印刷設定：	その図面に対応したレイアウト印刷設定を登録可能です。

「登録図管理」クリックで、「登録図面管理メニュー」を表示します。

登録図面管理メニュー - Internet Explorer

登録図面: 公開路線図 仕様削除 公開路線図 A 仕様登録 図面一覧の並び替え

設定: レイヤ ランク 属性表示 ラスター 属性制限 領域制限 印刷設定 ☒ 索引図用に登録する

レイヤ設定メニュー

描画	描画	NO	レイヤ名	種別	描画タイプ	色	枠線	枠色	オプション
☒	1	024	状況類似区分	ポリゴン		■	— [1]	■	
☒	2	079	目標物	シンボル	×	■		SS:1000	
☒	3	080	標準地_事例地	シンボル	★	■		FS:3000	
☒	4	081	路線区分-中心	シンボル	●	■			
☒	5	082	路線区分-矢印	ライン	—	■	[2]		
☒	6	200	土地現況	ポリゴン		■	— [1]	■	FS:1000, SS:3000

表示設定

NO	レイヤ名	種別	描画タイプ	色	枠線(線幅)	枠色	塗りつぶし
024	状況類似区分	ポリゴン		■	— 1	■	☐

オプション

各種制限縮尺: 描画: (SL) ~ (LS) この縮尺範囲の場合、描画する。

ベクトル表示: (VS) この縮尺より小縮尺の場合、ベクトル表示しない。

シンボル表示: (MS) この縮尺より小縮尺の場合、ポリゴンのランク表示がシンボルで表示となる。

シンボルサイズ: (RS) 上記 MS 時のシンボルサイズ。 [単位:印刷用紙上でミリ]

属性表示: (SF) ~ (FS) この縮尺範囲の場合、属性テキストを表示する。 [単位:印刷用紙上でミリ]

サイズ設定: シンボル: (SS) 正値:可変サイズ(縮尺連動) 負値:固定サイズ(縮尺非連動) [単位:実測でのミリ]

ヘッダー部分説明

登録図面: ① 地番図 ② 仕様削除 ③ 地番図 A ④ 仕様登録 ⑤ 図面一覧の並び替え

設定: ⑦ レイヤ ⑧ ランク ⑨ 属性表示 ⑩ ラスター ⑪ 属性制限 ⑫ 領域制限 ⑬ 印刷設定 ⑭ ☒ 索引図用に登録する

設定手順

- ・① 既存の登録図面を呼び出します。
- ・② 呼び出した登録図面を削除します。
- ・⑦: レイヤ、⑧: ランク、⑨: 属性表示、⑩: 属性制限、⑪: 領域制限、⑫: 印刷設定を必要に応じて設定します。
- ・⑤ 変更内容を保存(登録)します。
③の名称を変更しなければ登録図面の上書き、変更を行った場合は、新規登録となります。

20-1 レイヤ設定

地物（レイヤ）毎の表示設定を行います。

「登録管理」クリックで、「登録画面管理メニュー」ウィンドウを表示します。

「登録図面管理メニュー」の「登録図面」は表示した際に使用している図面の登録内容です。

設定→「レイヤ」で「レイヤ設定メニュー」を表示します。

レイヤー一覧

登録図面: 登録地区・地域情報(データ入力) ▼
仕様削除
基礎地図・地域情報(データ入力) A ▼
仕様登録
図面一覧の並び替え

設定: レイヤ ランク 属性表示 ラスタ 属性制限 領域制限

レイヤ設定メニュー 適用 リセット

描画順	描画	NO	レイヤ名	種別	描画タイプ	色	枠線	枠色	オプション
1	☒	602	地域情報_線	ライン	—— [3]				LS:100000, MS:7000, RS:5, FS:7000, SS-5
2	☒	603	地域情報_面	ポリゴン			—— [2]		LS:100000, MS:7000, RS:5, FS:7000, SS-5
3	☒	601	地域情報_点	シンボル	●				LS:100000, MS:7000, RS:5, FS:7000, SS-4
4	☐	001	index_5	ポリゴン			—— [1]		
5	☐	002	nishi	ポリゴン			—— [1]		
6	☐	003	ipc	ポリゴン			—— [1]		

上に移動 下に移動 更新

表示設定

NO	レイヤ名	種別	描画タイプ	色	枠線(線幅)	枠色	塗りつぶし
602	地域情報_線	ライン	—— [3] ▼				

オプション

各種制限縮尺: 描画: (SL) ~ (LS) この縮尺範囲の場合、描画する。

ベクトル表示: (VS) この縮尺より小縮尺の場合、ベクトル表示しない。

シンボル表示: (MS) この縮尺より小縮尺の場合、ポリゴンのランク表示がシンボルでの表示となる。

シンボルサイズ: (RS) 上記 MS 時のシンボルサイズ。 [単位:印刷用紙上でのミリ]

属性表示: (SF) ~ (FS) この縮尺範囲の場合、属性テキストを表示する。

サイズ設定: シンボル: (SS) 正值:可変サイズ(縮尺連動) [単位:実測でのミリ]
負値:固定サイズ(縮尺非連動) [単位:印刷用紙上でのミリ]

[単位:印刷用紙上でのミリ]

- ・レイヤ選択

上部のレイヤー一覧の「描画」チェックボックスで、作成する図面に描画するレイヤを選択します。

レイヤー一覧での並び順が、レイヤの描画順となります。

「上に移動」ボタン： レイヤー一覧で選択中のレイヤを上段に移動します。

「下に移動」ボタン： レイヤー一覧で選択中のレイヤを下段に移動します。

- ・レイヤの表示設定

上部のレイヤー一覧でレイヤを選択すると、そのレイヤに対する表示設定をウィンドウ下部で設定可能となります。

設定内容は、レイヤタイプによって変わってきます。それぞれについて後述します。

「更新」ボタン： レイヤ設定内容を適用します。上部レイヤー一覧も設定内容に更新されます。

20-1-1 ポリゴン設定

表示するレイヤ [ポリゴン] の設定を行ないます。

描画順	描画	NO	レイヤ名	種別	描画タイプ	色	枠線	枠色	オプション
4	☒	081	路線区分-中心	シンボル	●	■			
5	☒	082	路線区分-矢印	ライン	— [2]	■			
6	☒	200	土地現況	ポリゴン		■	[1]	FS:1000, SS:3000	
7	☒	220	家屋現況	ポリゴン		■	[1]	FS:500	
8	☐	001	一次メッシュ	ポリゴン		■	[1]		
9	☐	002	二次メッシュ	ポリゴン		■	[1]		

NO	レイヤ名	種別	描画タイプ	色	枠線(線幅)	枠色	塗りつぶし
200	土地現況	ポリゴン		■	1	■	☐

オプション

各種制限縮尺: 描画: (SL) ~ (LS) この縮尺範囲の場合、描画する。

ベクトル表示: (VS) この縮尺より小縮尺の場合、ベクトル表示しない。

シンボル表示: (MS) この縮尺より小縮尺の場合、ポリゴンのランク表示がシンボルでの表示となる。

シンボルサイズ: (RS) 上記 MS 時のシンボルサイズ。 [単位:印刷用紙上でのミリ]

属性表示: (SF) ~ (FS) この縮尺範囲の場合、属性テキストを表示する。

サイズ設定: シンボル: (SS) 正值:可変サイズ(縮尺連動) [単位:実測でのミリ]
負値:固定サイズ(縮尺非連動) [単位:印刷用紙上でのミリ]

- ・③で設定を行うレイヤを選択します。
表示設定に選択レイヤの設定内容が表示されます。
- ・描画タイプのマウスクリックで「使用可能パターンウィンドウ」が表示されます。
ポリゴンの描画パターンを指定します。

NO	レイヤ名	種別	描画タイプ	色	枠線(線幅)	枠色	塗りつぶし
102	住民情報_面	ポリゴン	■	■	1	■	☒

オプション

各種制限縮尺: 描画: (SL) ~ 300000 (LS) この縮尺範囲の場合、描画する。

ベクトル表示: 300000 (VS) この縮尺より小縮尺の場合、ベクトル表示しない。

シンボル表示: 200000 (MS) この縮尺より小縮尺の場合、ポリゴンのランク表示がシンボルでの表示となる。

シンボルサイズ: 5 (RS) 上記 MS 時のシンボルサイズ。 [単位:印刷用紙上でのミリ]

属性表示: (SF) ~ 7000 (FS) この縮尺範囲の場合、属性テキストを表示する。

サイズ設定: シンボル: -5 (SS) 正值:可変サイズ(縮尺連動) [単位:実測でのミリ]
負値:固定サイズ(縮尺非連動) [単位:印刷用紙上でのミリ]

- ・色のマウスクリックで「使用可能色ウィンドウ」が表示されます。
ポリゴンの描画パターン色を指定します。

NO	レイヤ名	種別	描画タイプ	色	枠線(線幅)	枠色	塗りつぶし
102	住民情報_面	ポリゴン	■	■	1	■	☒

オプション

各種制限縮尺: 描画: (SL) ~ 300000 (LS) この縮尺範囲の場合、描画する。

ベクトル表示: 300000 (VS) この縮尺より小縮尺の場合、ベクトル表示しない。

シンボル表示: 200000 (MS) この縮尺より小縮尺の場合、ポリゴンのランク表示がシンボルでの表示となる。

シンボルサイズ: 5 (RS) 上記 MS 時のシンボルサイズ。 [単位:印刷用紙上でのミリ]

属性表示: (SF) ~ 7000 (FS) この縮尺範囲の場合、属性テキストを表示する。

サイズ設定: シンボル: -5 (SS) 正值:可変サイズ(縮尺連動) [単位:実測でのミリ]
負値:固定サイズ(縮尺非連動) [単位:印刷用紙上でのミリ]

- ・ 枠線のマウスクリックで「使用可能線種ウィンドウ」が表示されます。
枠線の線種を指定します。同時に線幅もリストから選択します。

NO	レイヤ名	種別	描画タイプ	色	枠線(線幅)	枠色	塗りつぶし
102	住民情報_面	ポリゴン	XXXX	■	1	■	☒

オプション

各種制限縮尺: 描画: (SL) ~ 300000 (LS) この縮尺範囲の場合、描画する。

ベクトル表示: 300000 (VS) この縮尺より小縮尺の場合、ベクトル表示しない。

シンボル表示: 200000 (MS) この縮尺より小縮尺の場合、ポリゴンのランク表示がシンボルでの表示となる。

シンボルサイズ: 5 (RS) 上記 MS 時のシンボルサイズ。 [単位:印刷用紙上でのミリ]

属性表示: (SF) ~ 7000 (FS) この縮尺範囲の場合、属性テキストを表示する。

サイズ設定: シンボル: -5 (SS) 正値:可変サイズ(縮尺連動) [単位:実測でのミリ]
負値:固定サイズ(縮尺非連動) [単位:印刷用紙上でのミリ]

- ・ 枠色のマウスクリックで「使用可能色ウィンドウ」が表示されます。
枠線の色を指定します。

NO	レイヤ名	種別	描画タイプ	色	枠線(線幅)	枠色	塗りつぶし
102	住民情報_面	ポリゴン	XXXX	■	1	■	☒

オプション

各種制限縮尺: 描画: (SL) ~ 300000 (LS) この縮尺範囲の場合、描画する。

ベクトル表示: 300000 (VS) この縮尺より小縮尺の場合、ベクトル表示しない。

シンボル表示: 200000 (MS) この縮尺より小縮尺の場合、ポリゴンのランク表示がシンボルでの表示となる。

シンボルサイズ: 5 (RS) 上記 MS 時のシンボルサイズ。 [単位:印刷用紙上でのミリ]

属性表示: (SF) ~ 7000 (FS) この縮尺範囲の場合、属性テキストを表示する。

サイズ設定: シンボル: -5 (SS) 正値:可変サイズ(縮尺連動) [単位:実測でのミリ]
負値:固定サイズ(縮尺非連動) [単位:印刷用紙上でのミリ]

- ・ 「塗りつぶし」チェックボックス: ☒ ポリゴンを指定パターンで塗りつぶします。
☐ 塗りつぶしは無く、枠線のみを描画します。

- ・ オプション (ポリゴンで設定できるもの)

描画: 描画する縮尺を指定する。(上図は、1/300000 まで描画する)

ベクトル表示: 指定した縮尺より小縮尺の場合はベクトル表示しない。
SVG描画時 (図形編集時) 有効です。
ラスタ表示時 (通常表示時) は、無効です。
ベクトルでの描画は、地物が多くなると遅くなります。
これを防止する設定です。

シンボル表示: 指定した縮尺より小縮尺の場合、ポリゴンのランク表示をシンボル表示に切り替えます。
地物が多くなると、ポリゴンで描画しても見えにくい。
そこで、ポイント等のシンボル描画に切り替える方法です。

シンボルサイズ: 上記「シンボル表示」時の、シンボルサイズ。
単位:印刷用紙上でのミリ。

属性表示: 属性を表示する縮尺を指定する。(上図は、1/7000 まで描画する)

- ・ 設定後、⑧の更新ボタンのクリックでレイヤー一覧が更新されます。
- ・ 更新結果で地図表示ウィンドウを再作成するために、①の適用をクリックします。

20-1-2 ライン設定

表示するレイヤ [ライン] の設定を行ないます。

レイヤ設定メニュー

適用 リセット ①

描画順	描画	NO	レイヤ名	種別	描画タイプ	色	枠線	枠色	オプション
3	☒	079	目標物	シンボル	×	■		SS:1000	
4	☒	080	標準地_事例地	シンボル	★	■		FS:3000	
5	☒	081	路線区分-中心	シンボル	●	■			
6	☒	082	路線区分-矢印	ライン	— [2]	■		FS:4	
7	☒	096	相続路線	ライン	— [2]	■			
8	☒	097	相続路線注記	シンボル	○	■			

③

表示設定

上へ移動 下へ移動 更新 ⑧

NO	レイヤ名	種別	描画タイプ	色	枠線(線幅)	枠色	塗りつぶし
082	路線区分-矢印	ライン	— [2]	■			

オプション

各種制限縮尺: 描画: (SL) ~ (LS) この縮尺範囲の場合、描画する。

ベクトル表示: (VS) この縮尺より小縮尺の場合、ベクトル表示しない。

シンボル表示: (MS) この縮尺より小縮尺の場合、ポリゴンのランク表示がシンボルでの表示となる。

シンボルサイズ: (RS) 上記 MS 時のシンボルサイズ。 [単位:印刷用紙上でのミリ]

属性表示: (SF) ~ (FS) この縮尺範囲の場合、属性テキストを表示する。

サイズ設定: シンボル: (SS) 正值:可変サイズ(縮尺連動) [単位:実測でのミリ]
負値:固定サイズ(縮尺非連動) [単位:印刷用紙上でのミリ]

- ③で設定を行うレイヤを選択します。
表示設定に選択レイヤの設定内容が表示されます。
- 描画タイプをマウスクリックで「使用可能線種ウィンドウ」が表示されます。
枠線の線種を指定します。同時に線幅もリストから選択します。

NO	レイヤ名	種別	描画タイプ	色	枠線(線幅)	枠色	塗りつぶし
101	住民情報_線	ライン	— [2]	■			

オプション

各種制限縮尺: 描画: (SL) ~ 300000 (LS) この縮尺範囲の場合、描画する。

ベクトル表示: 300000 (VS) この縮尺より小縮尺の場合、ベクトル表示しない。

シンボル表示: 200000 (MS) この縮尺より小縮尺の場合、ポリゴンのランク表示がシンボルでの表示となる。

シンボルサイズ: 5 (RS) 上記 MS 時のシンボルサイズ。 [単位:印刷用紙上でのミリ]

属性表示: (SF) ~ 7000 (FS) この縮尺範囲の場合、属性テキストを表示する。

サイズ設定: シンボル: -5 (SS) 正值:可変サイズ(縮尺連動) [単位:実測でのミリ]
負値:固定サイズ(縮尺非連動) [単位:印刷用紙上でのミリ]

- 色をマウスクリックで「使用可能色ウィンドウ」が表示されます。
線色を指定します。

NO	レイヤ名	種別	描画タイプ	色	枠線(線幅)	枠色	塗りつぶし
101	住民情報_線	ライン	— [2]	■			

オプション

各種制限縮尺: 描画: (SL) ~ 300000 (LS) この縮尺範囲の場合、描画する。

ベクトル表示: 300000 (VS) この縮尺より小縮尺の場合、ベクトル表示しない。

シンボル表示: 200000 (MS) この縮尺より小縮尺の場合、ポリゴンのランク表示がシンボルでの表示となる。

シンボルサイズ: 5 (RS) 上記 MS 時のシンボルサイズ。 [単位:印刷用紙上でのミリ]

属性表示: (SF) ~ 7000 (FS) この縮尺範囲の場合、属性テキストを表示する。

サイズ設定: シンボル: -5 (SS) 正值:可変サイズ(縮尺連動) [単位:実測でのミリ]
負値:固定サイズ(縮尺非連動) [単位:印刷用紙上でのミリ]

NO	レイヤ名	種別	縮尺タイプ	色	枠線(線幅)	枠色	塗りつぶし
101	住民情報_線	ライン	—— 2				

オプション

各種制限縮尺: 縮尺: (SL) ~ (LS) この縮尺範囲の場合、描画する。

ベクトル表示: (VS) この縮尺より小縮尺の場合、ベクトル表示しない。

シンボル表示: (MS) この縮尺より小縮尺の場合、ポリゴンのランク表示がシンボルでの表示となる。

シンボルサイズ: (RS) 上記 MS 時のシンボルサイズ。 [単位:印刷用紙上でのミリ]

属性表示: (SF) ~ (FS) この縮尺範囲の場合、属性テキストを表示する。

サイズ設定: シンボル: (SS) 正値:可変サイズ(縮尺連動) [単位:実測でのミリ]
負値:固定サイズ(縮尺非連動) [単位:印刷用紙上でのミリ]

・オプション（ラインで設定できるもの）

描画： 描画する縮尺を指定する。（上図は、1/300000 まで描画する）

ベクトル表示： 指定した縮尺より小縮尺の場合はベクトル表示しない。
SVG描画時（図形編集時）有効です。
ラスタ表示時（通常表示時）は、無効です。
ベクトルでの描画は、地物が多くなると遅くなります。
これを防止する設定です。

属性表示： 属性を表示する縮尺を指定する。（上図は、1/7000 なで描画する）

・設定後、⑧の更新ボタンのクリックでレイヤー一覧が更新されます。

・更新結果で地図表示ウィンドウを再作成するために、①の適用をクリックします。

20-1-3 シンボル設定

表示するレイヤ [シンボル] の設定を行ないます。

③

レイヤ設定メニュー

描画順	描画	NO	レイヤ名	種別	描画タイプ	色	枠線	枠色	オプション
3	☒	079	目標物	シンボル	×	■		SS:1000	
4	☒	080	標準地_事例地	シンボル	★	■		FS:3000	
5	☒	081	路線区分-中心	シンボル	●	■			
6	☒	082	路線区分-矢印	ライン	— [2]	■		FS:4	
7	☒	096	相続路線	ライン	— [2]	■			
8	☒	097	相続路線/注記	シンボル	○	■			

表示設定

NO	レイヤ名	種別	描画タイプ	色	枠線(線幅)	枠色	塗りつぶし
081	路線区分-中心	シンボル	●	■			

オプション

各種制限縮尺: 描画: (SL) ~ (LS) この縮尺範囲の場合、描画する。

ベクトル表示: (VS) この縮尺より小縮尺の場合、ベクトル表示しない。

シンボル表示: (MS) この縮尺より小縮尺の場合、ポリゴンのランク表示がシンボルでの表示となる。

シンボルサイズ: (RS) 上記 MS 時のシンボルサイズ。 [単位:印刷用紙上でのミリ]

属性表示: (SF) ~ (FS) この縮尺範囲の場合、属性テキストを表示する。

サイズ設定: シンボル: (SS) 正值:可変サイズ(縮尺連動) [単位:実測でのミリ]
負値:固定サイズ(縮尺非連動) [単位:印刷用紙上でのミリ]

⑧

⑨

⑩

- ・③で設定を行うレイヤを選択します。
表示設定に選択レイヤの設定内容が表示されます。
- ・描画タイプをマウスクリックで「使用可能シンボルのウィンドウ」が表示されます。
シンボルの種類を指定します。

NO	レイヤ名	種別	描画タイプ	色	枠線(線幅)	枠色	塗りつぶし
050	町丁目デモ	シンボル	◆	■			

オプション

各種制限縮尺: 描画: (SL) ~ (LS) この縮尺範囲の場合、描画する。

ベクトル表示: (VS) この縮尺より小縮尺の場合、ベクトル表示しない。

シンボル表示: (MS) この縮尺より小縮尺の場合、ポリゴンのランク表示がシンボルでの表示となる。

シンボルサイズ: (RS) 上記 MS 時のシンボルサイズ。 [単位:印刷用紙上でのミリ]

属性表示: (SF) ~ (FS) この縮尺範囲の場合、属性テキストを表示する。

サイズ設定: シンボル: (SS) 正值:可変サイズ(縮尺連動) [単位:実測でのミリ]
負値:固定サイズ(縮尺非連動) [単位:印刷用紙上でのミリ]

- ・色をマウスクリックで「使用可能色ウィンドウ」が表示されます。
シンボル色を指定します。

NO	レイヤ名	種別	描画タイプ	色	枠線(線幅)	枠色	塗りつぶし
050	町丁目デモ	シンボル	◆	■			

オプション

各種制限縮尺: 描画: (SL) ~ (LS) この縮尺範囲の場合、描画する。

ベクトル表示: (VS) この縮尺より小縮尺の場合、ベクトル表示しない。

シンボル表示: (MS) この縮尺より小縮尺の場合、ポリゴンのランク表示がシンボルでの表示となる。

シンボルサイズ: (RS) 上記 MS 時のシンボルサイズ。 [単位:印刷用紙上でのミリ]

属性表示: (SF) ~ (FS) この縮尺範囲の場合、属性テキストを表示する。

サイズ設定: シンボル: (SS) 正值:可変サイズ(縮尺連動) [単位:実測でのミリ]
負値:固定サイズ(縮尺非連動) [単位:印刷用紙上でのミリ]

NO	レイヤ名	種別	描画タイプ	色	枠線(線幅)	枠色	塗りつぶし
050	町丁目デモ	シンボル	◆				

オプション

各種制限縮尺: 描画: (SL) ~ (LS) この縮尺範囲の場合、描画する。

ベクトル表示: (VS) この縮尺より小縮尺の場合、ベクトル表示しない。

シンボル表示: 7000 (MS) この縮尺より小縮尺の場合、ポリゴンのランク表示がシンボルでの表示となる。

シンボルサイズ: 5 (RS) 上記 MS 時のシンボルサイズ。 [単位:印刷用紙上でのミリ]

属性表示: (SF) ~ 7000 (FS) この縮尺範囲の場合、属性テキストを表示する。

サイズ設定: シンボル: -5 (SS) 正値:可変サイズ(縮尺連動) [単位:実測でのミリ]
負値:固定サイズ(縮尺非連動) [単位:印刷用紙上でのミリ]

・ オプション (シンボルで設定できるもの)

描画: 描画する縮尺を指定する。(上図は、1/300000 まで描画する)

ベクトル表示: 指定した縮尺より小縮尺の場合はベクトル表示しない。
SVG描画時 (図形編集時) 有効です。
ラスタ表示時 (通常表示時) は、無効です。
ベクトルでの描画は、地物が多くなると遅くなります。
これを防止する設定です。

属性表示: 属性を表示する縮尺を指定する。(上図は、1/7000 なで描画する)

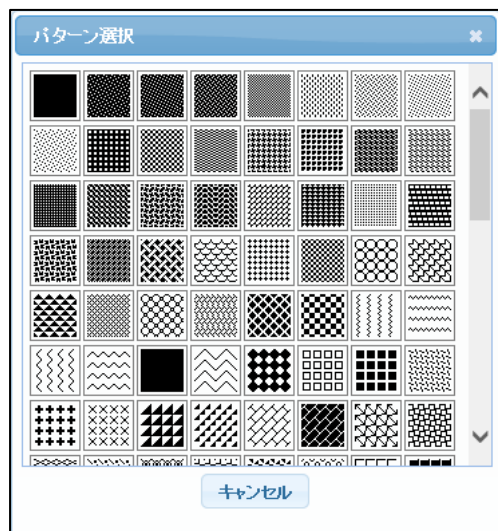
サイズ設定: シンボルの描画サイズを指定します。
値の正負により意味が違います。
正値: 縮尺と連動した可変サイズとなります。
地図を拡大するとシンボルも大きくなります。
実測でのミリで指定します。
例えば、実測の10mの文字の場合、「10000」。
負値: 市区尺に連動しない固定サイズとなります。
地図を拡大してもシンボルの大きさは変わりません。
印刷用紙上のミリで指定します。
例えば、印刷用紙上で5ミリの場合は、「-5」。

・ 設定後、⑧の更新ボタンのクリックでレイヤー一覧が更新されます。

・ 更新結果で地図表示ウィンドウを再作成するために、①の適用をクリックします。

20-1-4 パターン／ライン／シンボル／カラー

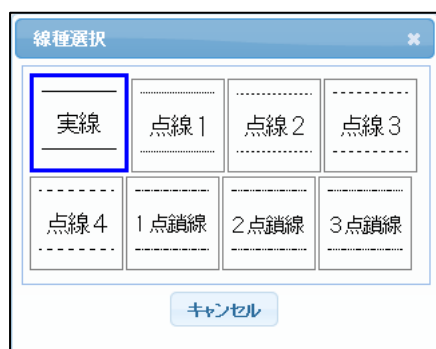
使用可能パターンウィンドウ



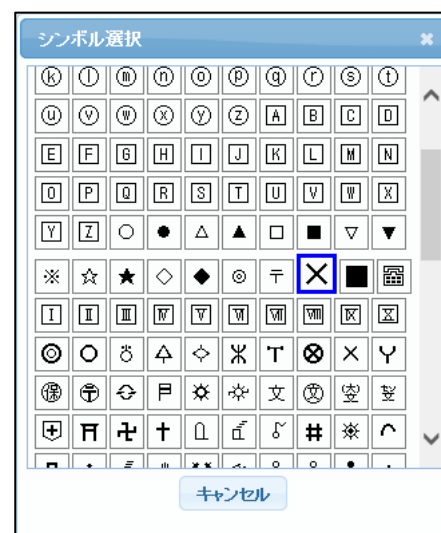
使用可能色ウィンドウ



使用可能線種ウィンドウ



使用可能シンボルのウィンドウ



20-2 図面登録 《ランク》

ランク表示の設定を行います。

「登録図管理」クリックで、「登録図面管理メニュー」ウィンドウを表示します。

「登録図面管理メニュー」の「登録図面」は表示した際に使用している図面の登録内容です。

設定→「ランク」で「ランク表示設定メニュー」を表示します。

20-2-1 ランク設定

表示するレイヤの色塗り内容の設定を行ないます。

- ③でレイヤを選択します。

そのレイヤにリンクする属性ファイル一覧から、④で属性ファイルを選択します。

その属性ファイルの項目一覧から、⑤で条件設定する項目を選択します。

「外枠」オプション：

ポリゴンの場合、ランク表示時に外枠（黒線）を描画するかどうかを設定します。

- ⑦「設定」ボタンをクリックすると、ウィンドウ下部にその項目の凡例設定が表示されます。新規で設定する場合、その項目のタイプによって、デフォルトの設定が自動で表示されます。

コード項目の場合：

その項目がコード定義されている場合、各コード毎にランク分けされ、色が自動設定されます。

数値項目の場合：

そのデータの最大、最小を8等分したランクが作成され、色が自動設定されます。

凡例設定		レイヤ[200:土地現況] 属性[土地現況マスタ][住宅率]		レイヤタイプ[ポリゴン] 属性タイプ[値]				
タイトル:		ランクタイプ: ○タイプ ●カラー		描画タイプ: ●面 ○点				
ON	≦ [値]	< [値]	ランク名	シンボル	線種(線幅)	パターン	色	特色
☐				①	—— 1			
☒	91			①	—— 1			
☒	78	91		①	—— 1			
☒	65	78		①	—— 1			
☒	52	65		①	—— 1			
☒	39	52		①	—— 1			
☒	26	39		①	—— 1			
☒	13	26		①	—— 1			
☒		13		①	—— 1			
☐				①	—— 1			

文字項目でコード項目ではない場合：

デフォルトではランクの設定はされません。

但し、「20-2-2 テンプレート作成」で、雛形を作成可能です。

- ・各ランクの設定方法。（1ランク1行で設定）

⑮「ON」のチェックボックスは、そのランクの表示／非表示を設定します。

⑯、⑰は、そのランクの範囲を設定します。

文字項目の場合、「⑯の値 ≦ データ ≦ ⑰の値」となります。

数値項目の場合、「⑯の値 ≦ データ < ⑰の値」となります。

⑱は、凡例に表示する、そのランクの名称を設定します。

ランク名を省略すると、凡例には、「⑯の値 - ⑰の値」が表示されます。

描画設定（レイヤタイプ別）：

ポリゴンの場合：

パターン、色、シンボルを設定可能です。

シンボルは、以下2オプション時に使用します。

- ・小縮尺時オプション（「20-1-1 レイヤ設定 [ポリゴン]」参照）
- ・描画タイプが、「点」の時。この場合、縮尺によらず常に点描画。

ラインの場合：

線種、線幅、線色を設定可能です。

ポイントの場合：

シンボル、色を設定可能です。

- ・設定後、⑬の適用ボタンのクリックでそのレイヤの設定が更新されます。
- ・更新結果で地図表示ウィンドウを再作成するために、①の適用をクリックします。

「タイトル」 ⑩：

凡例のタイトルを指定可能です。指定がない場合は、タイトルは項目名となります。

「並替」オプション ⑦：

このオプションは、図形と属性が、1対nの場合に使用します。

ランク表示では、属性の値によって、地物の色塗り等を行います。その属性値がn件あった場合には、どの属性で色塗りすればよいかわからなくなります。

その時に、n件中、どのレコードで色塗りするかを指示します。

右図では、_date の最大（直近のレコード）で色塗りをする、という意味になります。

この指定がない場合、図形と属性が、1対nの地物は、黒で塗られます。

並べ替え項目	
項目名	優先
_date	●最大 ○最小
適用 キャンセル	

20-2-2 テンプレート作成

ランク項目が文字項目でコード項目ではない場合、デフォルトではランクの設定はされません。但し、データ値を利用して強制的にランク設定を作成することが可能です。コード化はされていないが、存在しうるデータケースが少ない場合は有効です。

登録画面管理メニュー

登録図面: 小学校区 仕様削除 小学校区 A 仕様登録 図面一覧の並び替え

設定: レイヤ ランク 属性表示 ラスター 属性制限 領域制限 参照図面に登録する

ランク表示設定メニュー 適用 リセット

描画順	レイヤ	属性ファイル	項目1	凡例	並替	AND/OR	項目2	凡例	並替	外枠
1	避難場所	避難場所	施設分類	設定	☐	☒ ☐	---未設定---	設定	☐	☒
2	---未設定---	---未設定---	---未設定---	設定	☐	☒ ☐	---未設定---	設定	☐	☒
3	---未設定---	---未設定---	---未設定---	設定	☐	☒ ☐	---未設定---	設定	☐	☒
4	---未設定---	---未設定---	---未設定---	設定	☐	☒ ☐	---未設定---	設定	☐	☒
5	---未設定---	---未設定---	---未設定---	設定	☐	☒ ☐	---未設定---	設定	☐	☒
6	---未設定---	---未設定---	---未設定---	設定	☐	☒ ☐	---未設定---	設定	☐	☒

凡例設定 レイヤ[113:避難場所] 属性[避難場所][施設分類] レイヤタイプ[ポイント] 属性タイプ[値]

タイトル: ランクタイプ: ☐ タイプ ☒ カラー

※ 凡例定義はシステムが自動で割り振ります。

凡例定義を設定する場合は、最初にテンプレートを作成して下さい。

凡例定義テンプレート作成

候補件数の上限: 30 件 (1~300)

作成条件: 表示域 ☐ 集計件数が多いものを優先

並び替え: 項目値 で昇順 に

テンプレート作成

作成条件を設定し「テンプレート作成」クリックで自動生成されます。

凡例定義テンプレート作成

候補件数の上限: 30 件 (1~300)

作成条件: 全域 ☐ 集計件数が多いものを優先

並び替え: 項目値 で昇順 に

テンプレート作成

作成条件: 全域／表示域

並び替え: 項目値／集計件数

: 昇順／降順

上記設定では、

- 「・属性テーブルの値全体を使用して
- ・項目の値で昇順に並び替えて
- ・上位4件まで

で、ランク設定を作成する。」となります。

結果は以下。

凡例設定 レイヤ[113:避難場所] 属性[避難場所][施設分類] レイヤタイプ[ポイント] 属性タイプ[値]

タイトル: ランクタイプ: ☐ タイプ ☒ カラー

ON	≦	[候補]	≦	ランク名	シンボル	線種(線幅)	パターン	色	枠色
☐					①	1			
☒	その他	その他		その他	●	1		黒	赤
☒	学校施設	学校施設		学校施設	●	1		黒	オレンジ
☒	公園・広場	公園・広場		公園・広場	●	1		黒	黄
☒	社会教育施設	社会教育施設		社会教育施設	●	1		黒	黄緑
☒	地区会館	地区会館		地区会館	●	1		黒	緑
☒	福祉施設	福祉施設		福祉施設	●	1		黒	緑
☐					①	1		黒	

凡例定義テンプレート作成

候補件数の上限: 30 件 (1~300)

作成条件: 全域 ☐ 集計件数が多いものを優先

並び替え: 項目値 で昇順 に

これをもとに、任意に設定可能です。

20-2-3 ランク表示と null、空白

データベースの世界では、データの値として、ブランクと null（値が入っていない）は、明確に区別されます。

ランク表示では、値が null の地物はどのランクにも入らず、描画されません。

そこで、ランク設定では、null を表す特別な文字列を用意しました。

“__BLANK__”（半角アンダーバーが前後に3つずつ）です。

ランク設定で、“__BLANK__”を使用することにより、値が null の場合の描画方法を設定可能となります。

凡例設定		レイヤ[601:地域情報_点] 属性[地域情報_点] [種別]		レイヤタイプ[ポイント] 属性タイプ[コード]					
タイトル:		ランクタイプ: ○タイプ ●カラー				適用		リセット	
ON	≦	[コード]	≦	ランク名	シンボル	線種(線幅)	パターン	色	枠色
☐					①	—— 1	■		
☒		__BLANK__		空白	★	—— 1	■	■	
☒		01	01	グルメ	●	—— 1	■	■	
☒		02	02	お店	●	—— 1	■	■	
☒		03	03	フリーマーケット	●	—— 1	■	■	
☒		04	04	個人情報	●	—— 1	■	■	

上図では、値が null の地物は、黒星（★）で、描画されます。

また、ランク設定では、“空白”を使用することで、「すべてを対象とする」という意味となります。

凡例設定		レイヤ[601:地域情報_点] 属性[地域情報_点] [種別]		レイヤタイプ[ポイント] 属性タイプ[コード]					
タイトル:		ランクタイプ: ○タイプ ●カラー				適用		リセット	
ON	≦	[コード]	≦	ランク名	シンボル	線種(線幅)	パターン	色	枠色
☐					①	—— 1	■		
☒		01	01	グルメ	●	—— 1	■	■	
☒		02	02	お店	●	—— 1	■	■	
☒		03	03	フリーマーケット	●	—— 1	■	■	
☒		04	04	個人情報	●	—— 1	■	■	
☒				全て	★	—— 1	■	■	
☐					①	—— 1	■		

上図では、データ値が 01～04 以外（null を含む）は、黒星（★）で、描画されます。

注意： ランク設定は、上から順に適用されます。

上図では、まず、データ値=01 が描画され、次に、それ以外でデータ値=02 が描画され。。という順番で描画されます。

したがって、空白の設定が最後の行以外にあると、そこで全てのデータを扱う事になるので、それ以降の設定は無意味となります。

20-2-4 複合ランク

2項目での複合ランク表示も可能です。

例えば、種別でシンボルを変えて、重要度で色を変えるといった表示が可能となります。

複合ランクの場合、一方の項目が描画タイプ（パターン／ライン／シンボル）、他方が色のランクで設定します。

「AND/OR」オプション ⑧：

データ値が **null** の時の処理内容が変わってきます。

下記例で説明します。

レイヤ設定では、このレイヤは、▲ で定義されている。つまりランク表示しない時は、このレイヤは、すべて、▲ で描画される。デフォルトは緑の三角という意味。

このレイヤに対して以下のランク設定を行った。

ランク設定

項目 1 (色)	項目 2 (タイプ)
01 : ■	AA : ★
02 : ■	BB : ●

下記は描画結果です。

「AND」で下記データの場合

項目 1	項目 2		描画
01	AA	→	★
01	null	→	描画しない
null	BB	→	描画しない
null	null	→	描画しない

「OR」で下記データの場合

項目 1	項目 2		描画
01	AA	→	★
01	null	→	▲ (色はランク、タイプはデフォルト)
null	BB	→	● (色はデフォルト、タイプはランク)
null	null	→	描画しない

20-3 属性表示

地図上に文字表示する地物属性の設定を行ないます。

設定→「属性表示」で「属性表示設定メニュー」を表示します。

20-3-1 設定手順

- ⑩で設定を行うレイヤを選択します。
そのレイヤにリンクする属性ファイル一覧から、⑪で属性ファイルを選択します。
その属性ファイルの項目一覧から、⑫で条件設定する項目を選択します。

- ⑮で色、⑯で引出線の色を指定します。

- ⑰⑱で文字サイズを指定します。
文字サイズの指定方法は、「可変」「固定」の2種類あります。

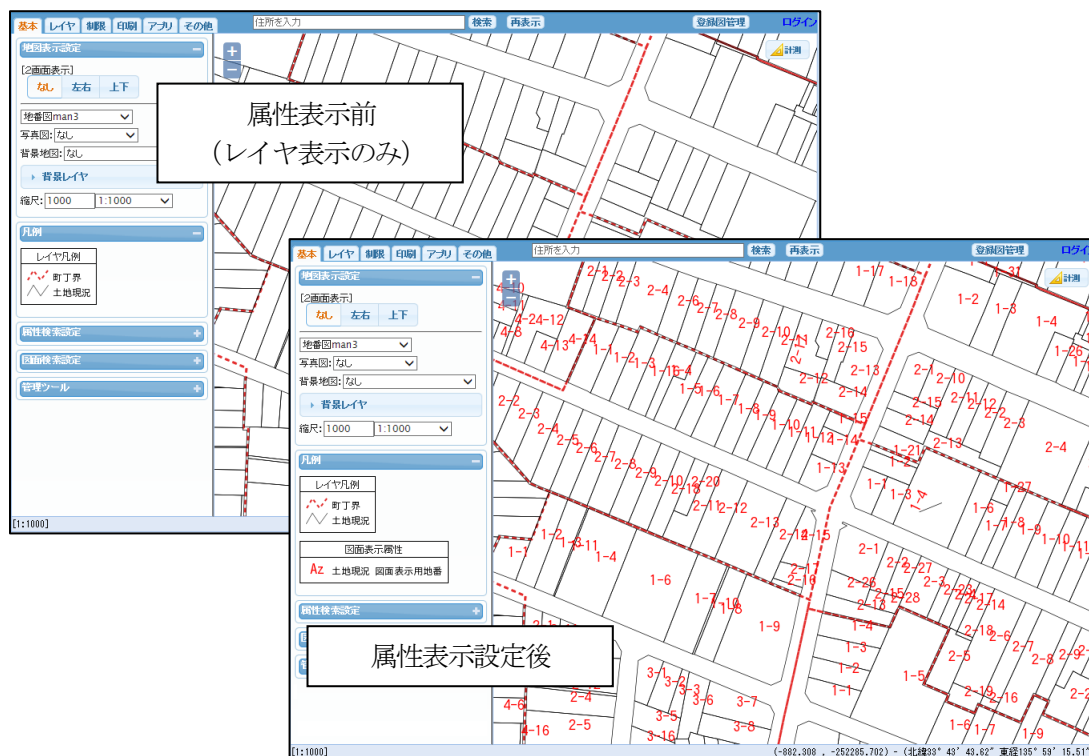
「可変」： 文字の大きさが縮尺と連騰した可変サイズとなります。
地図を拡大すると文字も大きくなります。
実測のミリで斎須を指定します。
例えば、右図の場合、実測で5m の文字となります。

「固定」： 文字の大きさが縮尺に連動しない固定サイズとなります。
地図を拡大しても文字の大きさは変わりません。
極小／小／標準／大／極大 から選択します。
実際の大きさは、標示して確認願います。

- ⑦で定義をリストに適用します。

- ・地図表示ウィンドウを再作成するために、①の適用をクリックします。

NO	引出	レイヤ	属性ファイル	項目	並び替え	(優先)	色	引出	文字	(サイズ)	N件描画方
1	☐	土地現況	土地現況マスタ	図面表示用地番	最大		黒	可変	5000	件数だけ	
2	☐										
3	☐										
4	☐										
5	☐										
6	☐										
7	☐										



20-3-2 オプション、その他

その他、オプションを説明します。

「並び替え」⑬、「優先」⑭：

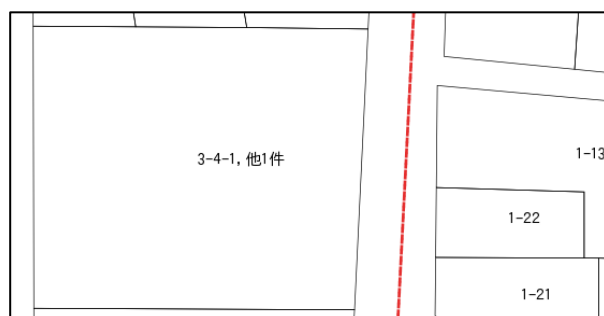
このオプションは、図形と属性が、1対nの場合に使用します。
属性表示では、属性の値を地図に文字で表示しますが、その属性値がn件あった場合には、どの属性を表示すればよいか分からなくなります。
その時に、n件中、どのレコードで色塗りするかを指示します。
指定方法は、並び替え項目と優先順位（最大／最小）です。
下図の場合、孫番が最大のレコードのデータを表示します。

この設定がない場合、図形と属性が、1対nの地物は、最初に見つかったレコードのデータで文字表示されます。（不定＝地図を再表示するたびに変わる可能性があります。）

「N件描画方」⑱：

このオプションも、図形と属性が、1対nの場合に使用します。

件数だけ： 1レコードのデータを表示し、後ろに件数を表示します。



非表示： 1レコードのデータを表示し、他のレコードは無視します。



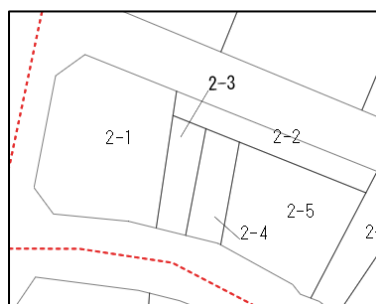
横並び： ※ 2017/06/01 現在、未対応

縦並び： ※ 2017/06/01 現在、未対応

「引出」チェックボックス④、「引出」線色⑯：

「引出」チェックボックス： 引出線の表示／非表示を指定します。

「引出」線色： 引出線の色を指定します。



引出線は、狭い場所での文字表示に使用されます。

これは、自動で表示されるものではなく、事前に、地物の図形データとして登録されている必要があります。

「19-1 ポリゴン編集」参照。

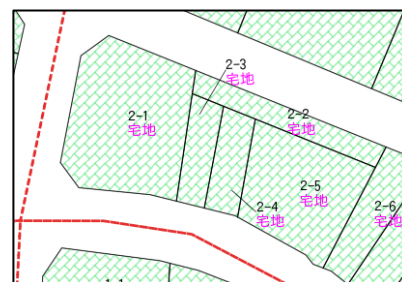
また、固定文字サイズの時に表示できません。

「上に移動」⑤： 選択している表示属性項目③を一つ上に移動します。

属性表示は最大50項目まで可能です。

「下に移動」⑥： 選択している表示属性項目③を一つ下に移動します。

「上に移動」⑨： 選択している表示属性項目③を削除します。



20-4 ラスター設定

ラスターデータが導入されている場合、背景となるイメージを選択設定可能です。
リストの左は追加可能な背景リスト、右は表示選択可能な背景リストです。

以下の例は平成10年の背景のみを表示可能な設定に変更した場合の、選択一覧の変化を表したものです。

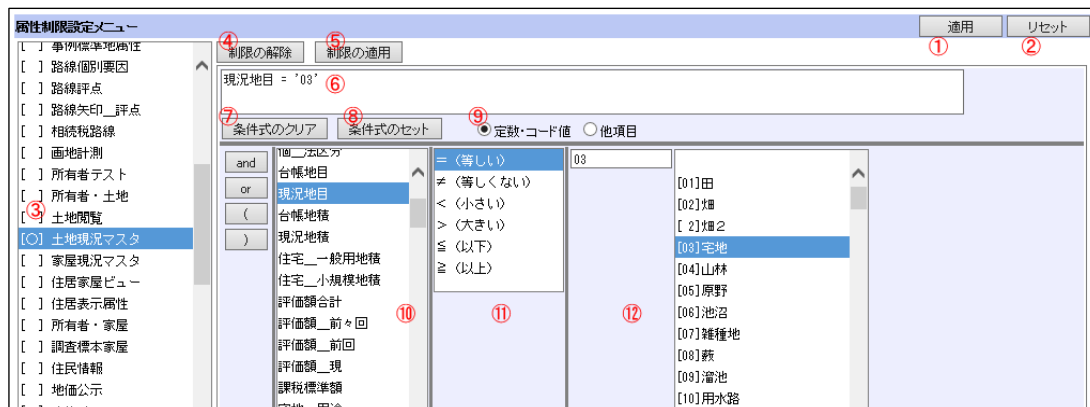
以下の例は背景図が管理者により削除された場合の「ラスター設定メニュー」を呼び出した状態です。
「世田谷サンプル」が削除されているため、登録図面の再登録が要求されます。

20-5 属性制限設定

図面に表示する内容を、属性で絞り込みます。

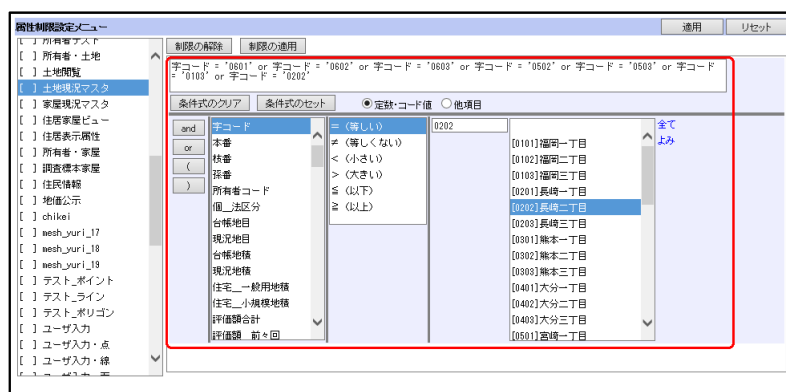
絞り込みは「属性表示」、「ランク表示」、「属性一覧表示」に反映されます。

設定→「属性制限」で「属性制限設定メニュー」を表示します。

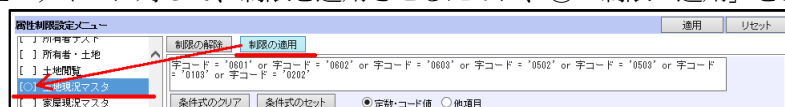


③のリストから制限を掛けるファイルを選択し、ファイルに対する条件を設定します。

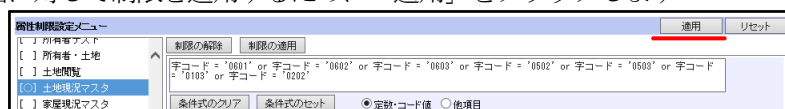
⑩～⑫で条件式入力を行ない、⑧で設定した条件を、⑥の条件式にセットします。



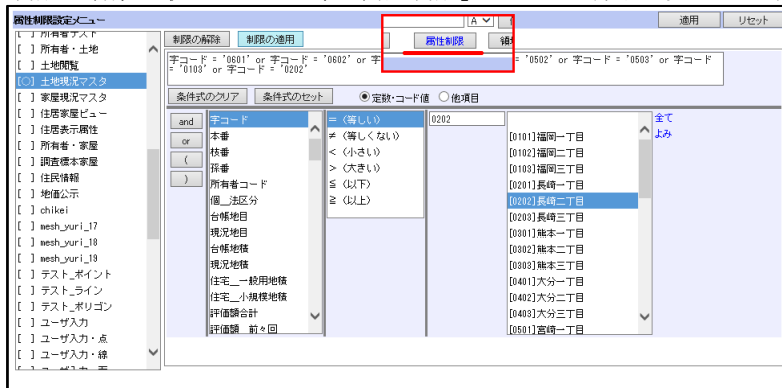
属性ファイルに対して、制限を適用させるために、⑤「制限の適用」をクリックします



図面に対して制限を適用するために「適用」をクリックします

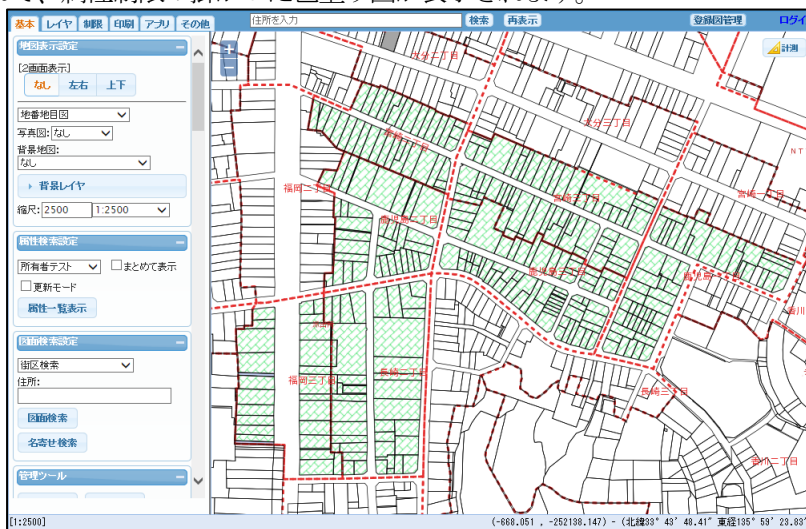


属性制限が有効な状態になると、「属性制限」ボタンが青字に変わります。

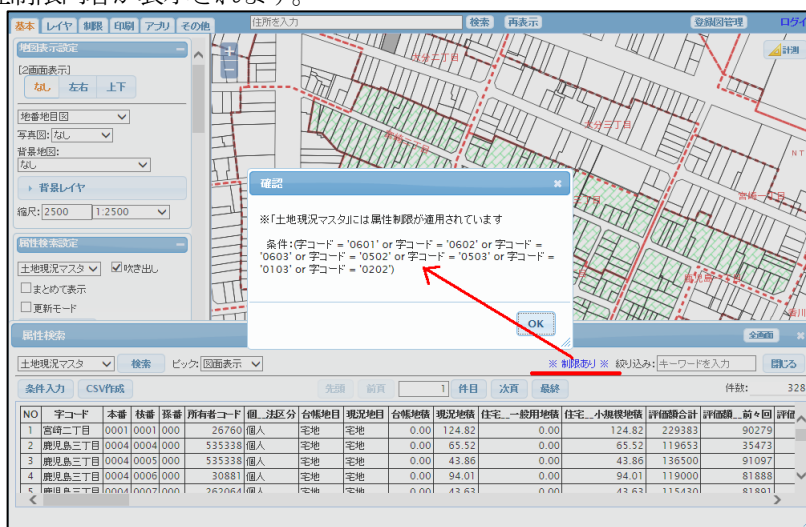


属性制限の設定が何も無い状態では、青にはなりません。

これで、属性制限の掛かった色塗り図が表示されます。



また、この状態で属性一覧を表示させると、「制限あり」の表示が行われ、クリックすると属性制限内容が表示されます。

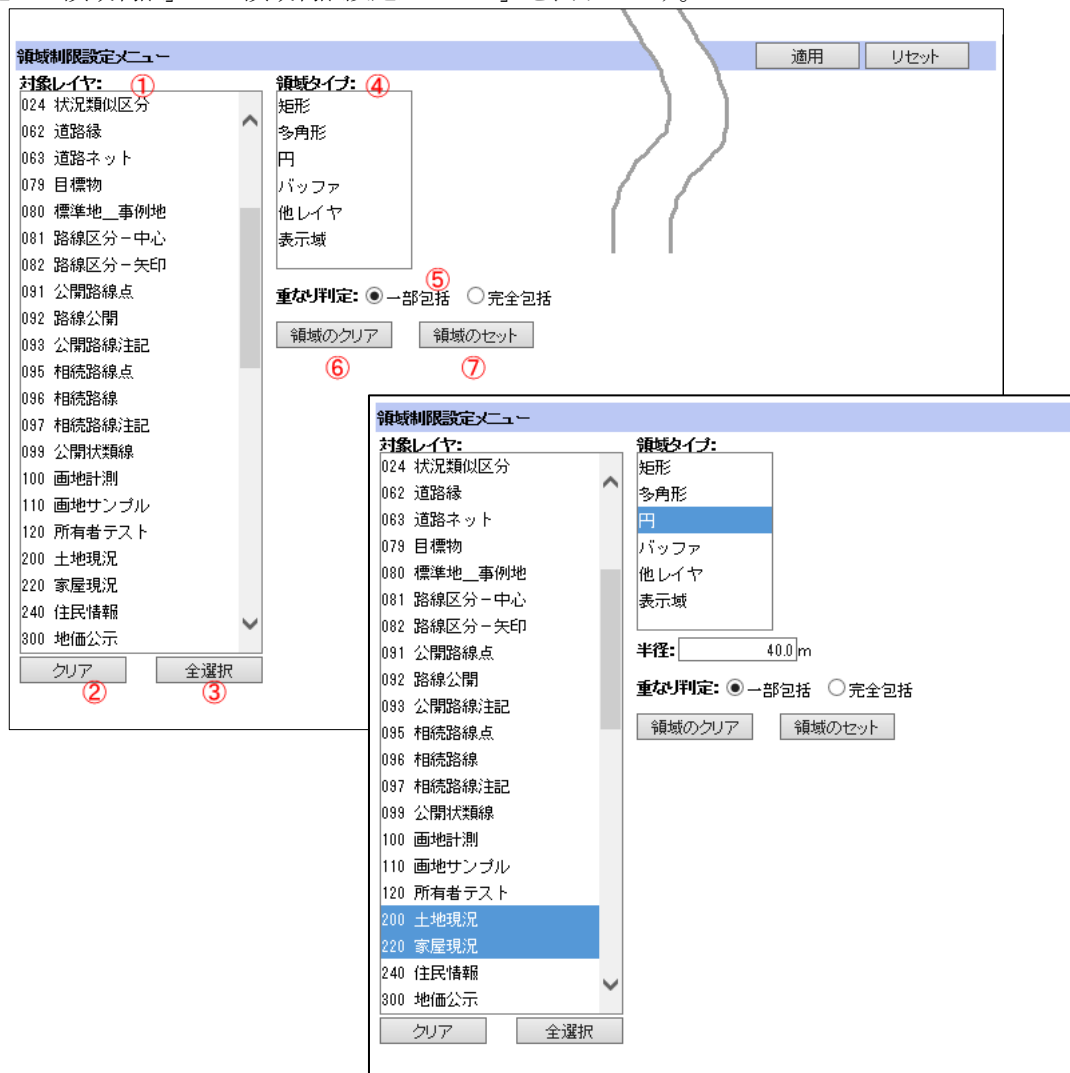


20-6 領域制限設定

図面に表示する内容を、図形で絞り込みます。

絞り込みは「属性表示」、「ランク表示」、「属性一覧表示」に反映されます。

設定→「領域制限」で「領域制限設定メニュー」を表示します。



対象レイヤ①から、制限を行なうレイヤを選択（複数選択可能）し、④制限の領域タイプを選択します。

以下「円」で説明します。

領域タイプに「円」、半径の入力、重なり判定を選択後、⑦「領域のセット」をクリックし、地図表示ウィンドウで円の中心をクリックすると、選択したレイヤに対して領域制限が有効になります。領域制限メニューの「適用」で、図面へ領域の制限が有効になります。

重なり判定：

「一部包含」：図形が一部でも含まれていれば、含まれていると判定する。

「完全包含」：図形が完全に含まれていないと、含まれていると判定しない。

④領域タイプにより、制限の設定表示は変更されます。

領域タイプ:
矩形
多角形
円
バッファ
他レイヤ
表示域

半径: 10.0m
重なり判定: ☒ 一部包括 ☐ 完全包括
領域のクリア 領域のセット

領域タイプ:
矩形
多角形
円
バッファ
他レイヤ
表示域

バッファ幅: 10.0m
バッファ方向: ☒ 両側 ☐ 右側 ☐ 左側
重なり判定: ☒ 一部包括 ☐ 完全包括
領域のクリア 領域のセット

領域タイプ:
矩形
多角形
円
バッファ
他レイヤ
表示域

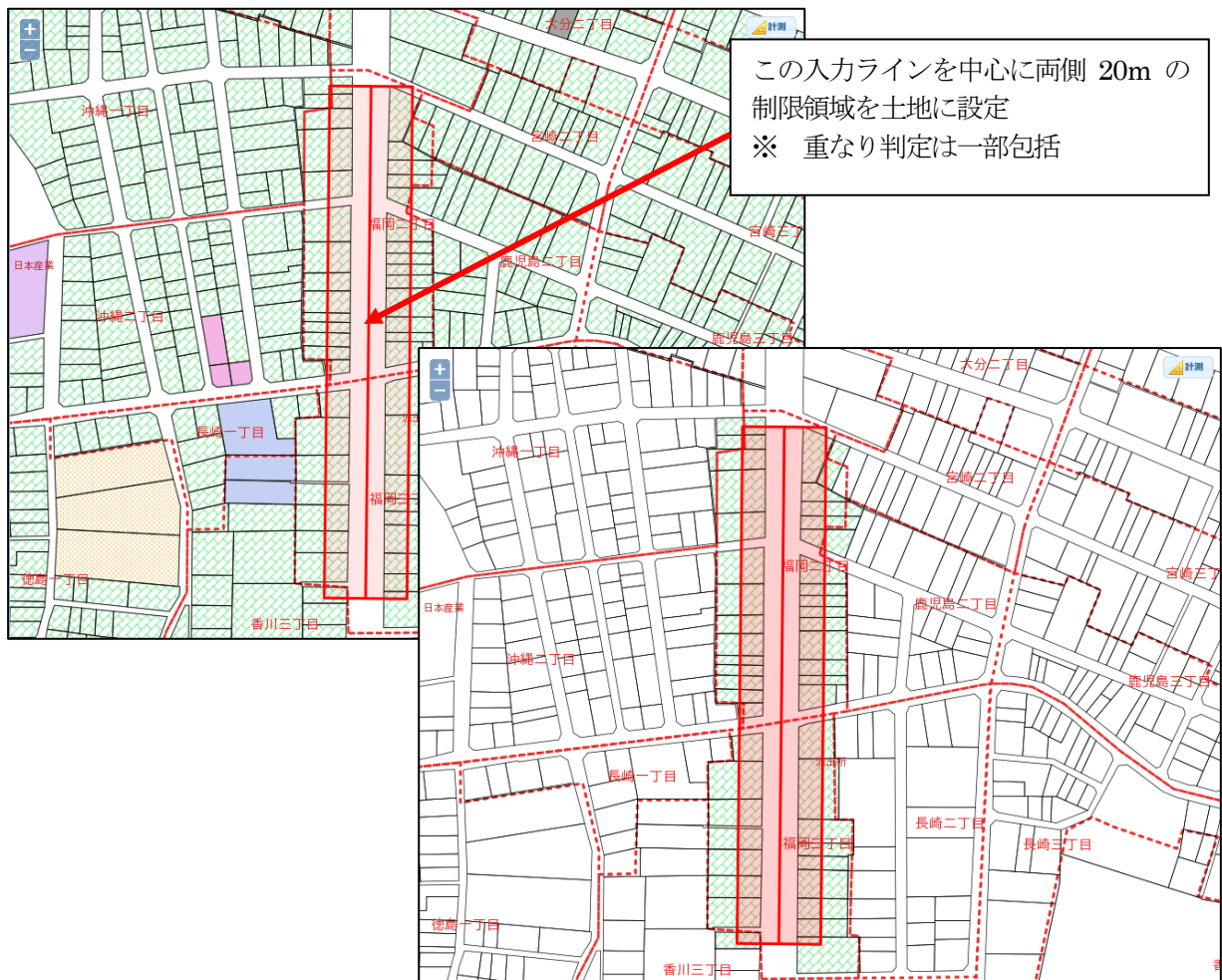
他レイヤ:
021 町丁界
200 土地現況
220 家屋現況
重なり判定: ☒ 一部包括 ☐ 完全包括
領域のクリア 領域のセット

円の領域制限（一部包括）を行った場合の色塗り地図は以下の様に表示されます。

ここを中心と半径 40m の制限領域を
土地・家屋に設定
※ 重なり判定は一部包括



バッファの領域制限（一部包括）を行った場合の色塗り地図は以下の様に表示されます。



この状態で、属性一覧表示

属性検索

土地現況マスタ 検索 ピック: 図面表示

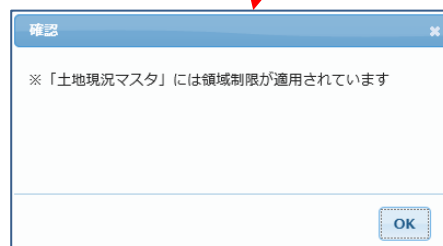
※ 制限あり ※

条件入力 CSV作成

先頭 前頁 1 件目 次頁 最終

件数: 46

NO	字コード	本番	枝番	孫番	所有者コード	個...法区分	台帳地目	現況地目	台帳地積	現況地積	一般用地積	小規模地積	評価額合計	課税標準額	用途	戸数	住宅率	画地NC
1	福岡二丁目	0002	0008	000	166	個人	宅地	宅地	0.00	144.70	0.00	47.68	61594	2629100	商業地域...普通商業...	1	35	1011
2	福岡三丁目	0002	0001	000	370	個人	宅地	宅地	0.00	300.46	0.00	98.18	57757	547351	商業地域...普通商業...	1	100	
3	福岡三丁目	0002	0009	000	252	個人	宅地	宅地	0.00	507.63	0.00	23.53	57179	129867	商業地域...普通商業...	2	100	78
4	福岡三丁目	0002	0007	000	190	個人	宅地	宅地	0.00	234.25	0.00	0.00	57179	4082990	商業地域...普通商業...	0	0	
5	福岡三丁目	0002	0006	000	191	個人	宅地	宅地	0.00	324.83	0.00	0.00	57179	6675105	商業地域...普通商業...	0	0	
6	福岡三丁目	0002	0005	000	2	個人	宅地	宅地	0.00	158.25	0.00	99.90	57909	529476	商業地域...普通商業...	1	100	



20-7 印刷設定

レイアウト印刷を、登録図面に関連つけて登録可能です。
操作に関しては同様な「11-4 レイアウト印刷」を参照してください。

印刷設定メニュー

用紙: A3 420 x 297 mm ☒ 横 ☐ 縦

余白: 上 6 mm 下 6 mm
左 6 mm 右 6 mm

範囲: [未設定] 地図表示範囲 範囲入力

☒ 枠名称を表示する

☒ [表題]
文字列: \$ZUMEN
文字サイズ: 16 mm
位置: X 10 mm Y 266 mm

☒ [地図]
位置: X 0 mm Y 20 mm
縮尺: 1 / 1000
増分幅: 内図郭 0 mm 外図郭 0 mm
内図郭座標: 単位 ☒ 非表示 ☐ km ☐ m
少数点以下桁数 0 文字サイズ 0 mm
ノッチ: 間隔 0 m 幅 0 mm
☐ 描画図郭の内側に付加する
図郭の回転: なし

☒ [縮図]
位置: X 340 mm Y 220 mm
縮尺: 1 / 30279

☒ [凡例1 レイ1]
文字サイズ: 4 mm

20-8 索引図用登録

登録図面を索引図として使用する際の、パラメータファイル（基本設定ファイル）に必要な情報を書き込む際のチェックボックスです。

※ 2017/06/01 現在。索引図機能は廃止したため、このチェックボックスは意味がありません。

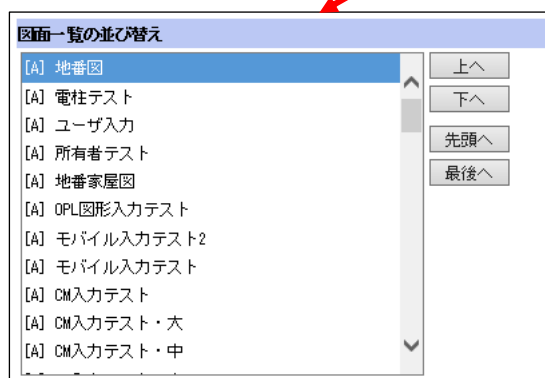
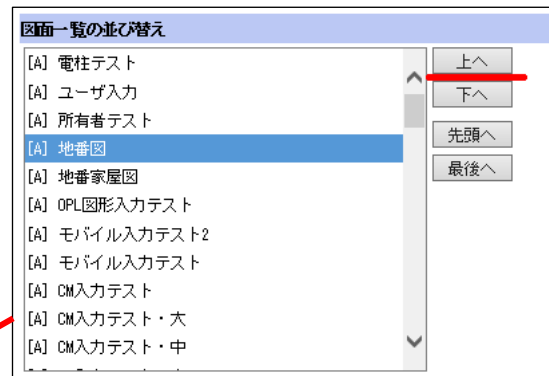
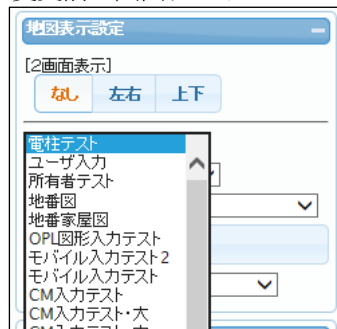
20-9 図面一覧の並び替え

図面の表示リストの並び替えを行います。

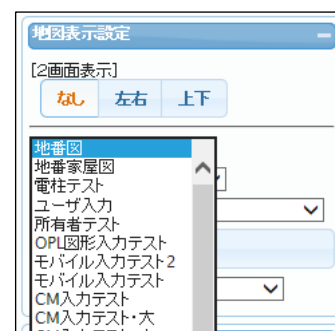


対象図面を選択し、「上へ」「下へ」「先頭へ」「最後へ」クリックで、任意の場所へ移動し「適用」クリックで、一覧表示のリストの並び替えが行えます。

変更前の図面リスト



適用後



変更前の図面リスト

2 1 ユーザ管理

システム利用ユーザの管理ウィンドウです。

ユーザはA～Dの4レベルを割り当てることが出来ます。

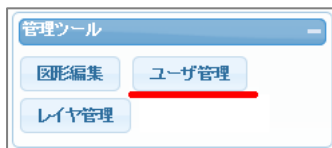
※ 高レベル D > C > B > A 低レベル

レベルによる利用メニューの設定は、システム導入時に、お客様ごとに設定してあります。

Dレベルのユーザの場合、全ユーザの管理が可能です。

ユーザ管理							終了
NO	ユーザID	パスワード	初期表示座標		レベル	処理	
0			X座標	Y座標	A ▼	登録	
1	userb	ub	X座標-27299.037	Y座標-72000.140	D ▼	変更	削除
2	mat sudo	999	X座標-353178.320	Y座標-16873.842	D ▼	変更	削除
3	userc	uc	X座標-47168.623	Y座標-212757.407	D ▼	変更	削除
4	root	111	X座標	Y座標	D ▼	変更	
5	usera	ua	X座標	Y座標	A ▼	変更	削除

起動ボタンも「ユーザ管理」の表示となります。



管理者ユーザ「root」はパスワードの変更のみが可能です。

ユーザ「root」は、削除することは出来ません。

ユーザ管理							終了
NO	ユーザID	パスワード	初期表示座標		レベル	処理	
0	sample1	sample1	X座標	Y座標	B ▼	登録	
1	userb	ub	X座標-27299.037	Y座標-72000.140	D ▼	変更	削除
2	mat sudo	999	X座標-353178.320	Y座標-16873.842	D ▼	変更	削除
3	userc	uc	X座標-47168.623	Y座標-212757.407	D ▼	変更	削除
4	root	111	X座標	Y座標	D ▼	変更	
5	usera	ua	X座標	Y座標	A ▼	変更	削除

「ユーザID」と「パスワード」を入力し、「レベル」を指定し、登録ボタンを押します。

「初期表示座標」が指定された場合、そのユーザがログインした際に指定した座標を中心にして地図が表示されます。

「初期表示座標」を指定しない場合は標準の座標で表示されます

Dレベル以外のユーザの場合、ログインユーザの「パスワード」「初期表示座標」のみが変更可能です。

パスワード変更						終了
ユーザID	パスワード	初期表示座標		レベル	処理	
usera	ua	X座標	Y座標	A	変更	

起動ボタンも「パスワード変更」の表示となります。



22 画地計測

これは固定資産管理システム用の機能です。

22-1 操作メニュー説明

計測をクリックすると、地図表示ウィンドウに「画地計測ウィンドウ」が表示されます。

画地計測ウィンドウの操作メニューとデータテーブル:

画地NO: 構成筆 分割線入力 代表点入力 分割線消 画地検索 保存 削除

選択数: 筆選択 筆入力 間口: 点 計測 計測条件 路線取得 クリア A4横 印刷

	実測		想定		角地	換面 方位	露地 割合	間口 差	番号	路線 単価	用途
	間口	奥行	間口	奥行							
正面					-						
側方1								-			
側方2								-			
二方					-			-			

スケール: [1:500] 緯度: (41.551, 935, -251817, 223) 経度: (北緯33° 42' 42.57" 東経135° 59' 15.37")

画地計測機能では、以下のことが可能となります。

- 多彩な計測
 - 一筆一画地の計測
 - 仮の分筆、合筆図形での計測
 - マウス入力した図形での計測
 - 無道路地の計測
- 路線情報取得
- 計測データのデータベース保存
- 計測データの検索
- 計測データの定型印刷

「画地計測」の「計測」ボタンで、「計測ウィンドウ」の表示／非表示を切り替えます。

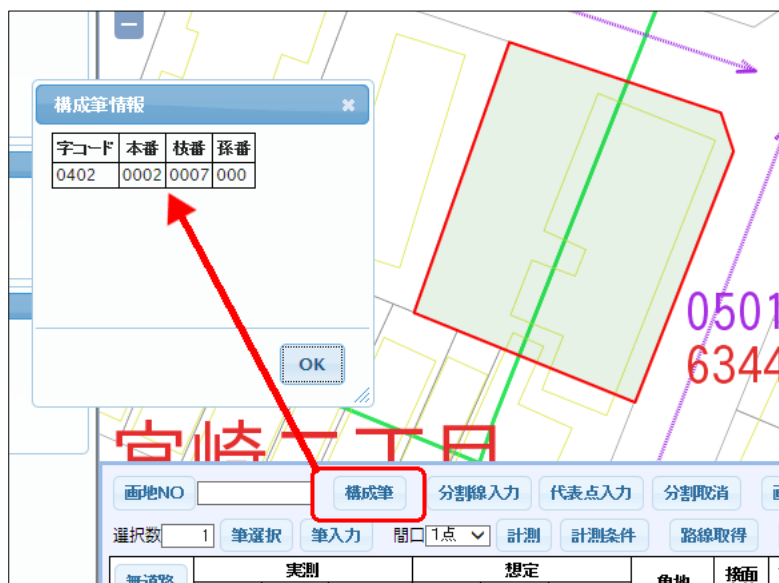


「計測ウィンドウ」表示中は「計測」ボタンがオレンジになります。

次に、画地ウィンドウの説明を行います。



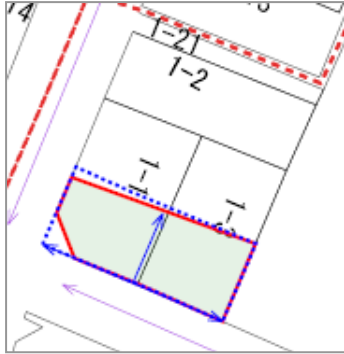
- ① 画地NO
保存された計測結果を呼び出す際に、②に画地番号を入力しこのボタンを押します。
- ② 画地 NO 入力欄
保存する画地番号を入力します。
- ③ 構成筆
「⑪ 筆選択」で地図表示ウィンドウから筆選択を行っている際に、選択された画地の構成筆の地番を別ウィンドウで表示を行います。



- ④ 分割線入力
筆の分割線を入力指示を行います
〔2〕 分割線入力 を参照)
- ⑤ 代表点入力
分割された筆の代表点の入力指示を行います
- ⑥ 分割取消
分割線の取り消し指示を行います

⑦ 画地検索

ボタンをクリックし画地図形をピックアップすると、保存された画地図形を呼び出し、表示を行います。



⑧ 保存

計測結果を保存します。

保存結果は「① 画地NO」で呼び出し表示することが出来ます。

また、「[5] 計測データ検索」でも呼び出し表示することが出来ます。

⑨ 削除

呼び出されている計測結果を削除します

⑩ 選択数

選択する筆数を指定します。

⑪ 筆選択

地図表示ウィンドウから、計測する筆を選択します。

複数筆の選択指定を行った場合は、数分を選択します。

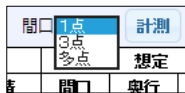
⑫ 筆入力

計測したい画地形状の入力指示を行います。

([3] 筆入力 を参照)

⑬ 間口

間口の指示方法を「1点、3点、多点」の中から指定します。



⑭ 計測

「⑪ 筆選択」で選択された筆を、「⑬ 間口」で指定した間口で計測を行います。

結果は、計測結果表欄にセットされます。

⑮ 計測条件

計測条件の詳細設定を行います。

計測条件設定の詳細説明

[1点入力] のときのみ有効

近似面作成用基準幅・・・間口辺を直線にみなすためのもの

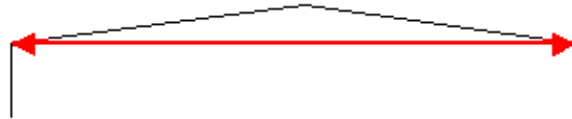
●自動：画地界の面積に応じて計算される

面積が広いほど基準幅も長く設定される。

※面積から求めた正方形の1辺の長さの5%の長さ

●固定：画地界の面積に関係なく指定した長さ（1m位が一般的）

概念図



隅切処理

隅切判定用角度45±・・・間口辺の左右辺の角度が45度±指定した度の範囲にあれば、隅切処理の対象とする。

例。5度の場合、40度から50度の範囲

隅切判定用長・・・隅切辺の長さが指定した距離未満の場合に隅切処理の対象とする。

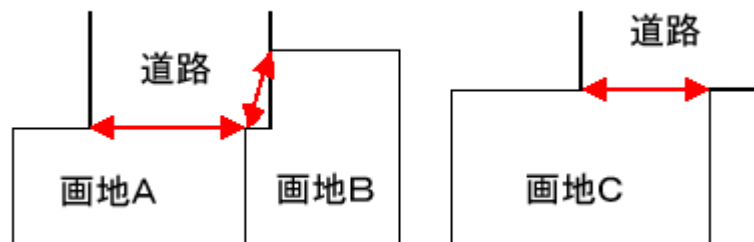
隅切処理概念図



[3点および多点入力] のときのみ有効

入力辺使用・・・・・・・・・・袋地の奥の画地や、道路が直角に曲がっているところの画地に、使用する。（画地辺使用で意図する計測ができないとき）

注意：Sコマンド（座標スナップ）を併用する場合は画地辺使用と同じになる。



画地辺使用・・・・・・・・・・通常はこの処理を使用する。

入力した点から画地を構成する筆図形の最も近い座標を使用する。

無道路・・・・・・・・・・近傍の道路縁を2点入力し、画地内に3点目を入力する。

想定整形地は道路縁に平行に作成される。

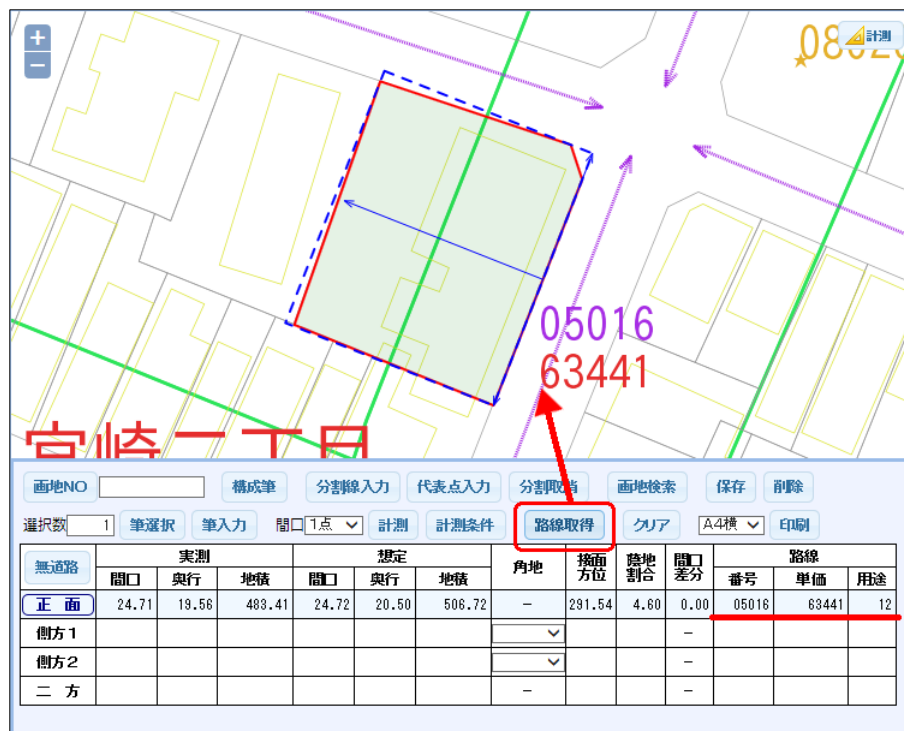
間口差分（通路開設奥行き）：道路縁から想定整形地間口までの距離

想定奥行き（画地の奥行き）：想定整形地の奥行き

実測奥行き：間口差分 + 想定奥行き

⑩ 路線取得

路線レイヤが表示されているとき、取得したい路線をピックし、番号 単価 用途にセットすることが出来ます。



	実測			想定			角地	接面方位	陸地割合	開口差分	路線		
	間口	奥行	地積	間口	奥行	地積					番号	単価	用途
無道路													
正面	24.71	19.56	483.41	24.72	20.50	508.72	-	291.54	4.60	0.00	05016	63441	12
側方1							▽			-			
側方2							▽			-			
二方							-			-			

⑪ クリア

計測結果をクリアします。

⑫ 用紙サイズ

印刷時の用紙サイズを指定します。

⑬ 印刷

画地計測結果を印刷します。 ([4] 印刷 を参照)

⑭ 無道路

無道路での計測を行う際に、クリックします。

計測は「正面」のみとなります

⑭	無道路	実測			想定			角地	接面方位	陸地割合	近い奥行	路線		
		間口	奥行	地積	間口	奥行	地積					番号	単価	用途
⑮	正面							-						

⑯ 正面、側1、側2、二方

クリックを行った行の計測結果表欄に、計測結果がセットされます。

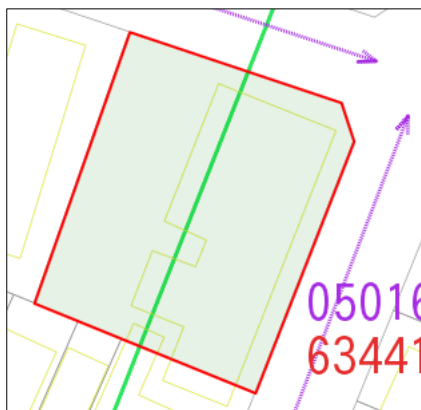
⑭	無道路	実測			想定			角地	接面方位	陸地割合	開口差分	路線		
		間口	奥行	地積	間口	奥行	地積					番号	単価	用途
⑮	正面							-						
	側方1							▽			-			
	側方2							▽			-			
	二方							-			-			

22-2 分割線入力

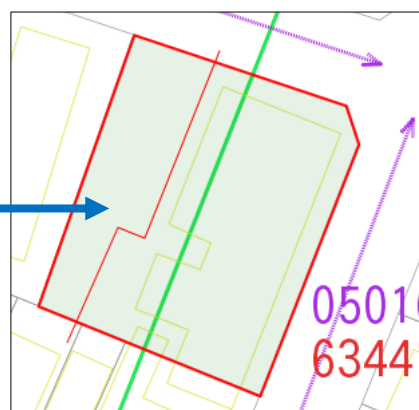
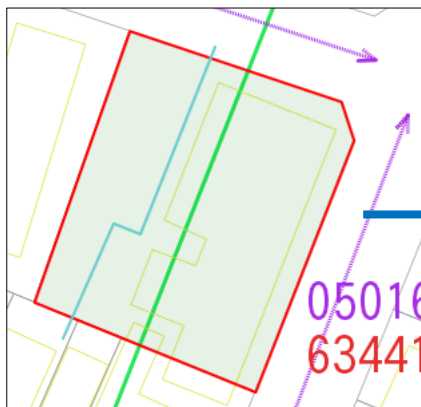
- 1 分割する筆を選択①した後、分割線入力ボタン②をクリックします。



- 2 地図表示ウィンドウ上で、分割線の「開始点」でマウスクリックを行い「中間点」が有る場合はその都度マウスクリックを行います。

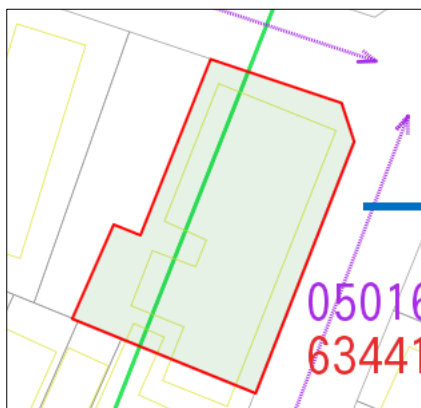


「開始点」入力

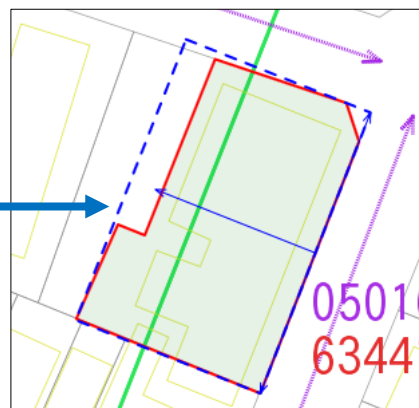


入力終了、後

- 3 分割線の「終点」でダブルクリックすると分割線の確定となります。
代表点入力ボタン③をクリックし、計測④を行います。



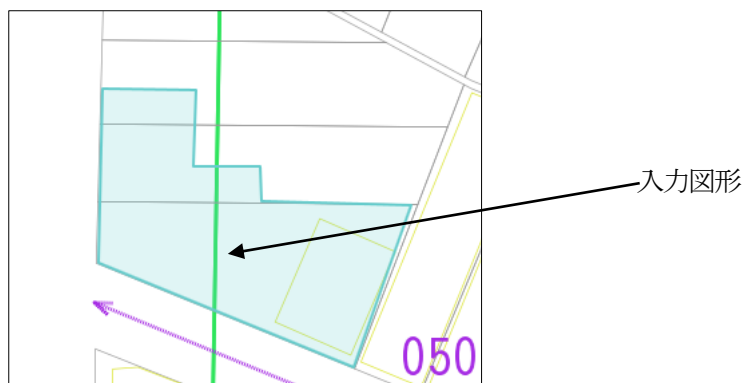
「代表点入力」入力、後



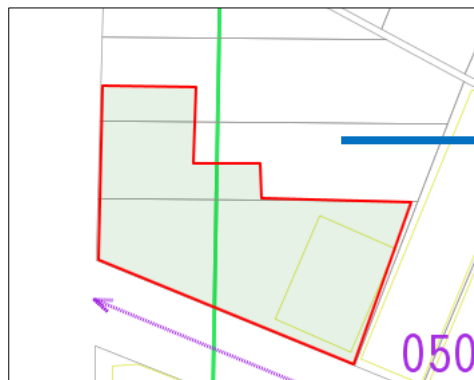
計測結果

22-3 筆入力

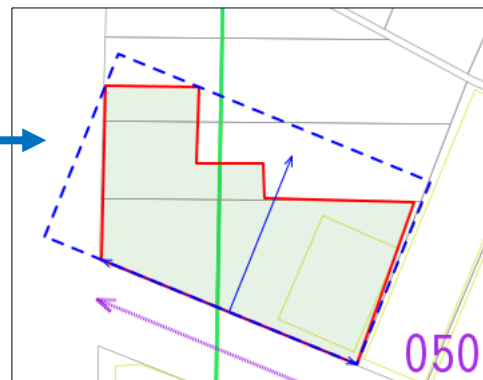
- 1 筆入力ボタン①をクリックし、画地筆の地番入力後、地図表示ウィンドウ上で筆図形のポイントをマウスでクリックし図形を入力します。



- 2 ダブルクリックすると図形の確定となります。
計測ボタン②をクリックし、計測④を行います。



「図形の確定」、後



計測結果

22-4 印刷

- 1 印刷を行う計測を行った後、用紙を指定し「印刷」ボタンをクリックします。

	実測			想定			角地	接面 方位	隣地 割合	間口 差分	路線			
	間口	奥行	地積	間口	奥行	地積					番号	単価	用途	
無道路														
正面	23.94	22.79	545.64	24.15	23.40	565.12	-	173.03	3.45	0.00	05010	43778	12	
側方1	23.33	23.39	545.64	24.38	23.92	583.08	▽	80.21	6.42	-	05050	44520	12	
側方2	23.34	23.38	545.64	23.53	23.84	563.27	▽	262.49	3.13	-	05051	46746	12	
二方	23.07	23.40	545.64	24.07	23.40	563.15	-	352.82	3.11	-				

印刷プレビュー画面が表示され、ブラウザの印刷機能を使用して印刷を行います。

印刷プレビューでは、印刷設定と同様に表示項目の編集が可能です。

編集可能項目

表題

画地NO

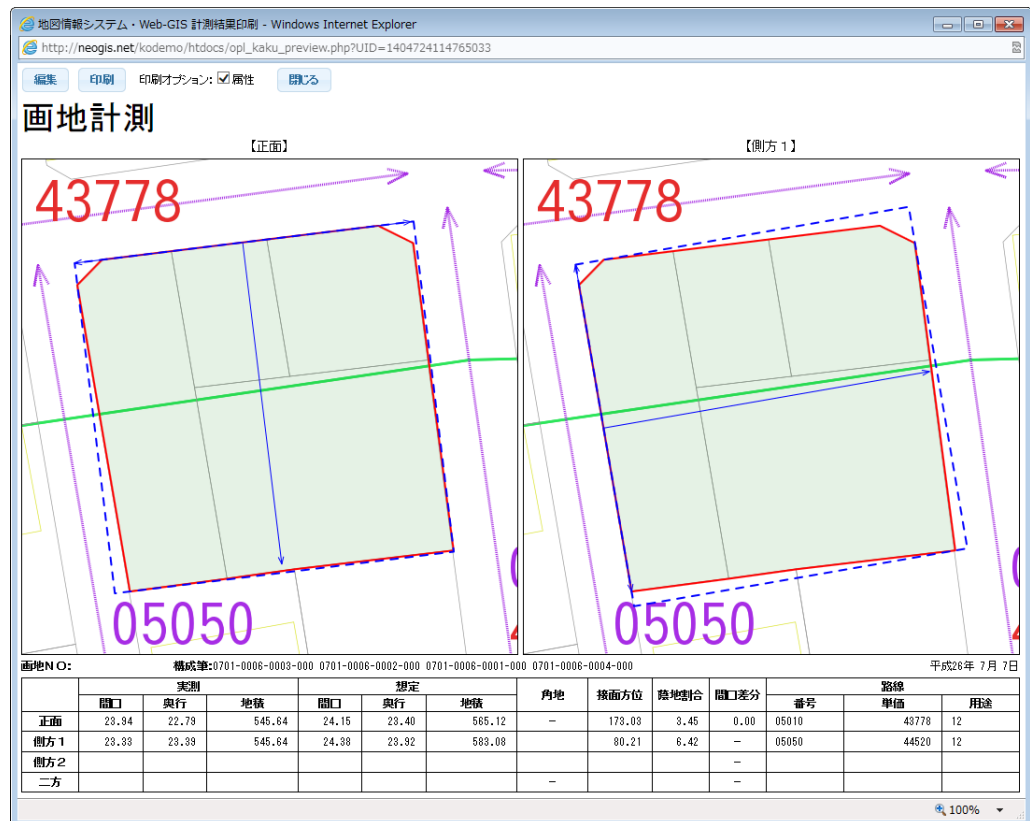
構成筆

注釈

「正面・側方1・側方2・二方」の計測を行い、印刷指示を行った場合



「正面・側方1」の計測を行い、印刷指示を行った場合



22-5 計測データ検索

「[1] 機能・⑧保存」で保存した計測結果の一覧表示を行います。
一覧表示から地図の表示・データ出力・印刷などを行うことができます。

画地計測メニューの「計測データ一覧表示」で、以下のウィンドウが表示されます。

メインウィンドウ説明

- ① 検索対象のマスタを選択します。
- ② 選択検索を実行します。
- ③ オプションウィンドウの表示／非表示を切り替えます。
- ④ 検索結果の CSV ファイルを作成します。
※ ③④の操作方法是「5 属性検索 オプションウィンドウ説明」を参照ください。
- ⑤ この検索ウィンドウを結果の表示を変更せず、一時的に隠します。
- ⑥ この検索ウィンドウを閉じます。
- ⑦ 検索条件：対象画地 NO を指定します。
- ⑧ 検索条件をリセットします。
- ⑨ 画地 NO に含まれる筆の全筆の表示／代表筆の表示の切り替えを行います。
- ⑩ 検索条件：字コードの指定を行います。
- ⑪ 検索条件：字コードのリストを読みで絞り込みます。
- ⑫ 検索条件：地番の指定を行います。
- ⑬ リストに表示する件数を指定します。
- ⑭ 検索結果リストの先頭から表示します。
- ⑮ 検索結果リストの最終行をリストの最終に表示します。
- ⑯ リストを1ページ分戻します。
- ⑰ リストを1ページ分送ります。
- ⑱ リストを指定位置から表示するレコード番号を指定します。
- ⑲ リストを指定された位置から表示させます。
- ⑳ 表示レコードの件数を表示します。

画地計測データ検索
✕

土地現況マスタ
 オプション

画地NO:
☒ 全筆表示

字コード: 任意入力
 地番:

表示数:

件数:

NO	画地NO	無道路	字コード	地番	正面											
					実測			想定			接面方位			路線		
					間口	奥行	地積	間口	奥行	地積	接面方位	隣地割合	間口差分	番号	単価	用途
1	10020	0	大分三丁目	0002-0007-000	29.89	21.24	634.84	30.41	21.95	667.58	202.96	4.90	0.00	05018	68264	商業地域_普通商
2	10010	0	大分二丁目	0002-0006-000 0002-0007-000	33.79	23.86	806.32	36.16	24.80	896.66	198.36	10.08	0.00	05012	63812	商業地域_普通商
3	aaaa	0	大分二丁目	0002-0007-000	20.38	23.71	483.40	20.87	24.80	517.36	198.37	6.56	0.00			

画地NO

選択数

 間口

無道路	実測			想定			角地	接面方位	隣地割合	間口差分	路線		
	間口	奥行	地積	間口	奥行	地積					番号	単価	用途
正面	20.38	23.71	483.40	20.87	24.80	517.36	-	198.37	6.56	0.00			
側方1	24.71	19.56	483.40	24.72	20.50	506.72	-	291.54	4.60	-			
側方2							-						
二方							-						

2 3 名寄せ検索

これは固定資産管理システム用の機能です。

「名寄せ検索」 ボタンのクリックで名寄せ検索メニューが表示されます。



A screenshot of the '名寄せ検索' (Name Search) window. It has a title bar with '名寄せ検索' and a close button. Below the title bar are four input fields: '年度' (Year) with a dropdown menu showing '名寄せH16', '対象' (Target) with a dropdown menu showing '所有者', '宛名コード' (Recipient Code) with a text box containing '40673', and '宛名(漢字)' (Recipient (Kanji)) with a text box containing '大西 正起'. To the right of these fields are two buttons: '検索実行' (Execute Search) and '閉じる' (Close). Below the input fields is a large empty rectangular area, likely for displaying search results.

年度・対象を選択し、宛名をコード or 漢字名称のどちらかを入力し、
「検索実行」 ボタンのクリックで、あらかじめ設定された土地家屋テーブルから、宛名と一致する
データが一覧表示されます。

表示されたリストをマウスクリックすると、対象の土地・家屋が地図表示ウィンドウに強調して
表示されます。

A screenshot of the '名寄せ検索' (Name Search) window showing search results. The window has the same title bar and input fields as the previous screenshot. Below the input fields, there is a table with search results. The table has columns: 'NO', '字コード', '本番', '枝番', '孫番', '所有者コード', '個_法区分', '台帳地目', '現況地目', '台帳地積', '現況地積', '住宅_一般用地積', '住宅_小規模地積'. The table contains three rows of data. Below the table, there is a summary table with columns: 'NO', '字コード', '本番', '枝番', '孫番', '登記区分', '所有者コード', '個_法区分', '構造', '種別', '戸数', '階層', '建築年月日', '台帳床'. The summary table contains three rows of data. The window also has a '検索実行' (Execute Search) button and a '閉じる' (Close) button.

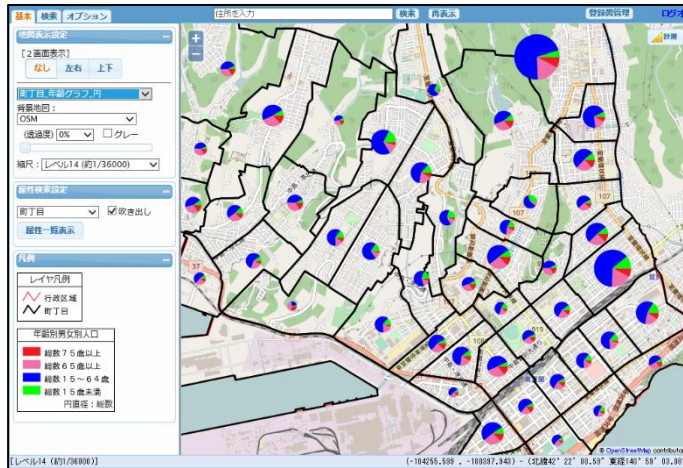
NO	字コード	本番	枝番	孫番	所有者コード	個_法区分	台帳地目	現況地目	台帳地積	現況地積	住宅_一般用地積	住宅_小規模地積
1	徳島三丁目	6621	0021	000	40673	個人	雑種地	宅地	0.00	672.00	480.27	191.73
2	徳島三丁目	6621	0010	000	40673	個人	雑種地	宅地	0.00	29.00	20.73	8.27
3	長崎二丁目	0003	0021	000	40673	個人	宅地	宅地	0.00	15.24	0.00	0.00

NO	字コード	本番	枝番	孫番	登記区分	所有者コード	個_法区分	構造	種別	戸数	階層	建築年月日	台帳床
1	長崎二丁目	0003	0014	000	登記	40673	個人	鉄骨造	ホテル_非木造	0	2	3510831	(
2	長崎二丁目	0003	0016	000	登記	40673	個人	鉄筋コンクリート	住宅_非木造	0	3	3440210	(
3	徳島三丁目	6621	0021	000	登記	40673	個人	木造	専用住宅_一般_木造	0	1	3440301	(

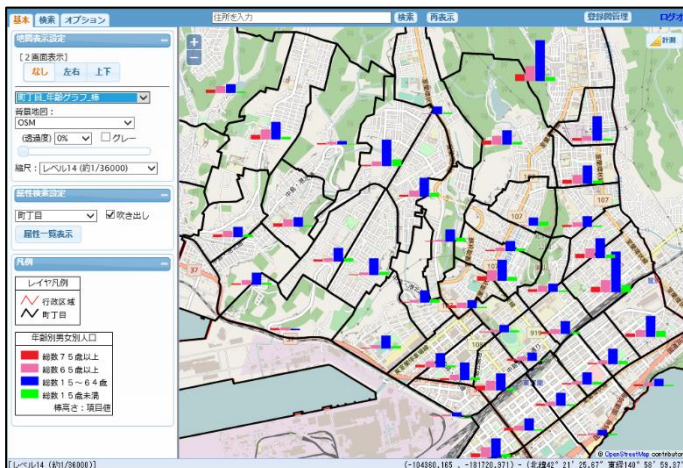
2 4 グラフ表示

地図上にグラフを表示することが可能です。
グラフ表示の地図も、登録図面として登録可能です。
グラフは3種類。

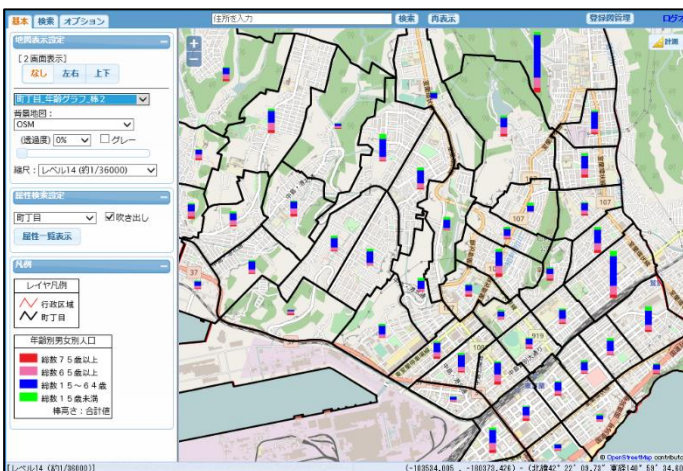
- ・円グラフ



- ・棒グラフ



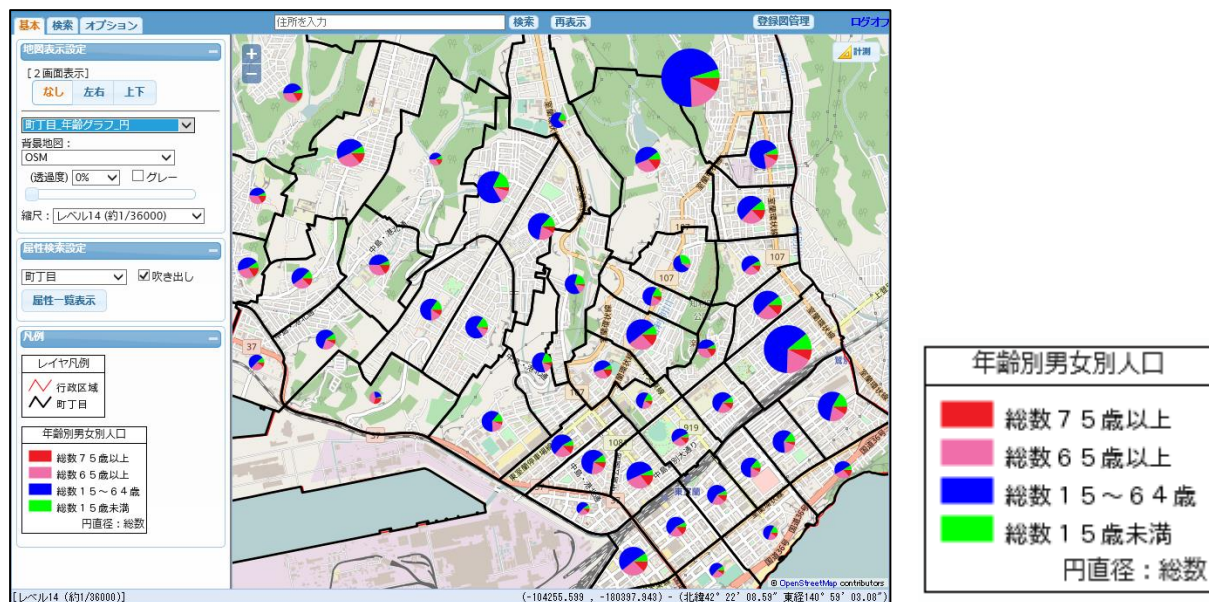
- ・積み上げ棒グラフ



24-1 円グラフ

地物の属性によって、円グラフを作成します。

下図は、町丁目ごとに年齢別の人口割合を円グラフとして表示しています。
円の直径は、人口総数を表します。



設定は、「登録図面管理メニュー」の「グラフ表示」で行います。

登録図面管理メニュー

登録図面: 町丁目 年齢別人口 仕様削除 町丁目 年齢別人口 A 仕様登録 図面一覧の並び替え

設定: レイヤ ランク 属性表示 (その他設定) 属性制限 領域制限

グラフ表示設定メニュー

NO	名称	レイヤ	属性ファイル	要素項目数	タイプ	サイズ
1	年齢別男女別人口	町丁目	年齢別男女別人口	総数 75 歳以上、他 3 項目	円	10 ~ 80 (総数で変動)
2						
3						
4						
5						
6						
7						

表示設定

グラフ名: 年齢別男女別人口

レイヤ: 町丁目

属性ファイル: 年齢別男女別人口

要素項目 [色・項目名・要素名]

色	項目名	要素名
赤	総数 75 歳以上	総数 75 歳以上
ピンク	総数 65 歳以上	総数 65 歳以上
青	総数 15 ~ 64 歳	総数 15 ~ 64 歳
緑	総数 15 歳未満	総数 15 歳未満
---	未設定	---
---	未設定	---
---	未設定	---
---	未設定	---
---	未設定	---
---	未設定	---

タイプ: 円

サイズ: 固定の大きさ 40 ピクセル

総数で変動

要素項目の合計値で変動

(最小) 10 ピクセル

(最大) 80 ピクセル

データ名:

(最小値) 0 取得

(最大値) 5000 取得

- ・レイヤ: グラフを表示するレイヤを選択します。
- ・属性ファイル: グラフで表示する属性ファイルを選択します。

- ・要素項目【色・項目名・要素名】：
円グラフ内の各要素を指定します。

要素項目【色・項目名・要素名】		
	総数 75歳以上 ▼	総数 75歳以上
	総数 65歳以上 ▼	総数 65歳以上
	総数 15～64歳 ▼	総数 15～64歳
	総数 15歳未満 ▼	総数 15歳未満
	-----未設定----- ▼	
	-----未設定----- ▼	
	-----未設定----- ▼	
	-----未設定----- ▼	

色： 「使用可能色ウィンドウ」から選択します。
 項目名： 円グラフ内の各要素の項目名を指定します。
 この要素で、円グラフ内が分割されます。
 要素名： 凡例に表示する要素名を指定します。
 デフォルトは項目名。

- ・タイプ： グラフのタイプを選択します。
円／棒／積み上げ棒
- ・サイズ： グラフのサイズを指定します。
固定、項目、要素項目の合計からの選択となります。

固定

サイズ	
☒	固定の大きさ 40 ピクセル
☐	総数 ▼ で変動
☐	要素項目の合計値で変動
(最小)	10 ピクセル
(最大)	80 ピクセル
データ名	
(最小値)	0 取得
(最大値)	5000 取得

円の直径は固定（全て同じ大きさ）となります。

円の直径をピクセル値で指定します。

項目

サイズ	
☐	固定の大きさ 40 ピクセル
☒	総数 ▼ で変動
☐	要素項目の合計値で変動
(最小)	10 ピクセル
(最大)	80 ピクセル
データ名	
(最小値)	0 取得
(最大値)	5000 取得

円の直径を表す項目を指定します。
 それぞれの円の直径はこの項目値に依存します。
 円の直径範囲（最小、最大）を指定します。（ピクセル）
 円の直径範囲を表す項目値（最小、最大）を指定します。
 左図の場合、値が 0 の時 10 ピクセル、
 値が 5000 の時 80 ピクセル
 となります。

データ名：凡例に表示するタイトルを指定します。
 取得ボタン：実際のデータから最小値、最大値を取得
 します。

要素項目の合計値

サイズ	
☐	固定の大きさ 40 ピクセル
☐	総数 ▼ で変動
☒	要素項目の合計値で変動
(最小)	10 ピクセル

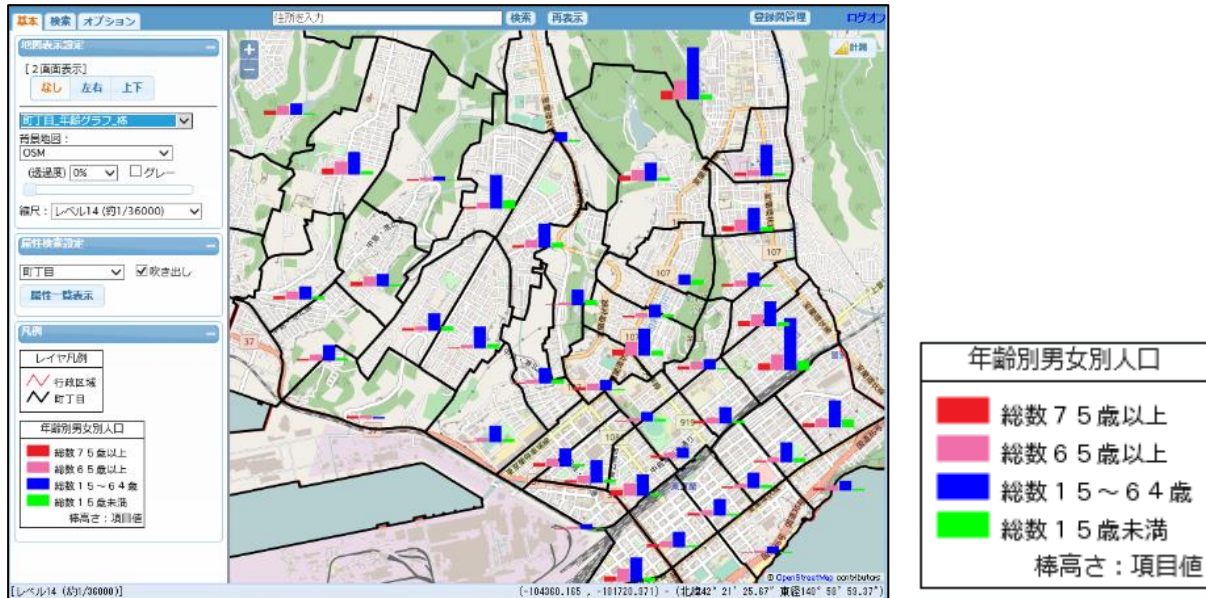
円の直径を要素項目の合計値とします。
 それぞれの円の直径はこの合計値に依存します。
 その他の設定は、上記「項目」と同様です。

24-2 棒グラフ

地物の属性によって、棒グラフを作成します。

下図は、町丁目ごとに年齢別の人口割合を棒グラフとして表示しています。

バーの高さは、要素値を表します。



設定は、「登録図面管理メニュー」の「グラフ表示」で行います。

登録図面管理メニュー

登録図面: 町丁目 年齢グラフ 棒 仕様削除 町丁目 年齢グラフ 棒 A 仕様登録 図面一覧の並び替え

設定: レイヤ ランク 属性表示 (その他設定) マスター グラフ表示 属性制限 領域制限

グラフ表示設定メニュー 適用 リセット

NO	名称	レイヤ	属性ファイル	要素項目数	タイプ	サイズ
1	年齢別男女別人口	町丁目	年齢別男女別人口	総数75歳以上、他3項目	棒	60 (項目値で変動)
2						
3						
4						
5						
6						
7						

表示設定

グラフ名: 年齢別男女別人口

レイヤ: 町丁目

属性ファイル: 年齢別男女別人口

要素項目【色・項目名・要素名】	タイプ	サイズ
総数 75 歳以上	棒	バーの高さ 60 ピクセル
総数 65 歳以上		☒ 要素項目値の範囲で変動
総数 15～64 歳		データ名:
総数 15 歳未満		(最小値) 0 取得
未設定		(最大値) 2000 取得
未設定		
未設定		
未設定		
未設定		

上に移動 下に移動 追加 更新 削除

- ・レイヤ: グラフを表示するレイヤを選択します。
- ・属性ファイル: グラフで表示する属性ファイルを選択します。

- ・要素項目【色・項目名・要素名】：
棒グラフ内の各要素を指定します。

要素項目【色・項目名・要素名】		
	総数75歳以上	総数75歳以上
	総数65歳以上	総数65歳以上
	総数15～64歳	総数15～64歳
	総数15歳未満	総数15歳未満
	-----未設定-----	
	-----未設定-----	
	-----未設定-----	
	-----未設定-----	
	-----未設定-----	

色： 「使用可能色ウィンドウ」から選択します。
 項目名： 各棒グラフの項目名を指定します。
 この要素数分、棒グラフが横並びで作成されます。
 要素名： 凡例に表示する要素名を指定します。
 デフォルトは項目名。

- ・タイプ： グラフのタイプを選択します。
円／棒／積み上げ棒
- ・サイズ： グラフのサイズを指定します。
固定、要素項目値の範囲で変動からの選択となります。

固定

サイズ	
バーの高さ	60 ピクセル
☐	要素項目値の範囲で変動
データ名	
(最小値)	0 取得
(最大値)	2000 取得

バーの高さは固定（指定要素の最大値がすべて同じ高さになる）となります。

バーの高さをピクセル値で指定します。
 指定要素内の最大値がこのピクセル値となります。

要素項目値の範囲で変動

サイズ	
バーの高さ	100 ピクセル
☒	要素項目値の範囲で変動
データ名	
(最小値)	0 取得
(最大値)	2000 取得

バーの高さ範囲を表す項目値（最小、最大）を指定します。

全指定要素内の最小、最大です。
 左図の場合、値が0の時0ピクセル、
 値が2000の時100ピクセル
 となります。

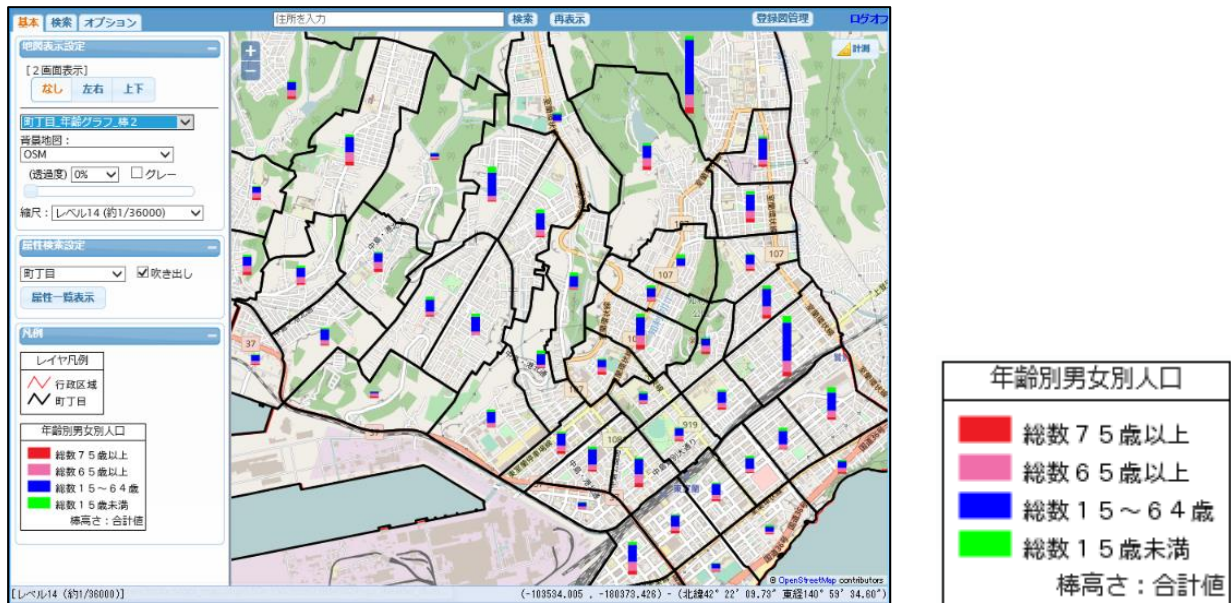
データ名：凡例に表示するタイトルを指定します。
 取得ボタン：全指定要素の実際のデータから最小値、
 最大値を取得します。

24-3 積み上げ棒グラフ

地物の属性によって、積み上げ棒グラフを作成します。

下図は、町丁目ごとに年齢別の人口割合を積み上げ棒グラフとして表示しています。

バーの高さは、要素合計値（人口総数）を表します。



設定は、「登録図面管理メニュー」の「グラフ表示」で行います。

The screenshot shows the '登録図面管理メニュー' (Registered Map Management Menu) with the 'グラフ表示' (Graph Display) tab selected. The menu includes options for '登録図面' (Registered Map), '仕様削除' (Delete Specification), '仕様登録' (Register Specification), and '図面一覧の並び替え' (Sort Map List). The '設定' (Settings) section includes 'レイヤ' (Layer), 'ランク' (Rank), '属性表示' (Attribute Display), 'その他設定' (Other Settings), '属性制限' (Attribute Limit), and '領域制限' (Area Limit).

The 'グラフ表示設定メニュー' (Graph Display Setting Menu) table lists the following items:

NO	名称	レイヤ	属性ファイル	要素項目数	タイプ	サイズ
1	年齢別男女別人口	町丁目	年齢別男女別人口	総数 75歳以上、他3項目	積み上げ棒	40 (合計値で変動)
2						
3						
4						
5						
6						
7						

The '表示設定' (Display Setting) section for the selected item '年齢別男女別人口' includes:

- レイヤ** (Layer): 町丁目
- 属性ファイル** (Attribute File): 年齢別男女別人口
- 要素項目** (Element Item): 色・項目名・要素名

色	項目名	要素名
Red	総数 75歳以上	総数 75歳以上
Pink	総数 65歳以上	総数 65歳以上
Blue	総数 15～64歳	総数 15～64歳
Green	総数 15歳未満	総数 15歳未満
---	未設定	---
---	未設定	---
---	未設定	---
---	未設定	---
---	未設定	---
- タイプ** (Type): 積み上げ棒
- サイズ** (Size): バールの高さ 40 (ピクセル), 要素項目の合計値で変動 (checked), データ名 (最大値) 2000, 取得

- ・レイヤ： グラフを表示するレイヤを選択します。
- ・属性ファイル： グラフで表示する属性ファイルを選択します。

- ・要素項目【色・項目名・要素名】：
棒グラフ内の各要素を指定します。

要素項目【色・項目名・要素名】		
	総数75歳以上	総数75歳以上
	総数65歳以上	総数65歳以上
	総数15～64歳	総数15～64歳
	総数15歳未満	総数15歳未満
	-----未設定-----	
	-----未設定-----	
	-----未設定-----	
	-----未設定-----	
	-----未設定-----	

色： 「使用可能色ウィンドウ」から選択します。
 項目名： 棒グラフ内の各要素の項目名を指定します。
 この要素で、棒グラフが分割されます。
 要素名： 凡例に表示する要素名を指定します。
 デフォルトは項目名。

- ・タイプ： グラフのタイプを選択します。
 円／棒／積み上げ棒
- ・サイズ： グラフのサイズを指定します。
 固定、要素項目の合計値で変動からの選択となります。

固定

サイズ	
バーの高さ	40 ピクセル
☐	要素項目の合計値で変動
データ名	
(最大値)	2000 取得

バーの高さは固定（すべて同じ高さ）となります。

バーの高さをピクセル値で指定します。

要素項目の合計値で変動

サイズ	
バーの高さ	40 ピクセル
☒	要素項目の合計値で変動
データ名	
(最大値)	2000 取得

バーの高さを表す項目値（最大）を指定します。
 全指定要素の合計値の最大です。
 左図の場合、全指定要素の合計値が 2000 の時
 40 ピクセル

となります。
 データ名：凡例に表示するタイトルを指定します。
 取得ボタン：全指定要素の実際のデータから最大値を
 取得します。